

卒業まで
使用しますので
必ず保管して
下さい

2023
履修要覧

生活環境学部

生

強く、優しく。
 金城学院大学



はじめに

教務部長

ご入学おめでとうございます。金城学院大学の一員となられた皆様に心からのお祝いを申し上げます。

さて、これまでの学生生活と比べて、大学ではさらに「自立と自律」が求められます。これまではある程度決まった授業時間割があって、それに従って授業を受けていた方が多いと思います。しかし、大学では、必ず受けなければならない必修という科目以外は、自分ですべての授業を自主的に自立して選んでいくこととなります。つまり、それぞれが自分の学びたい学問、興味・関心に従って、自分だけのオリジナルの授業時間割を自分で作っていくのです。その時に必要になってくるのが、「履修要覧」と「シラバス」です。

履修要覧には大学での学びにおける手順やルールが掲載されています。大学では、この履修要覧の内容をみなさんが理解したものととして、様々なことが進んでいきます。ぜひ、しっかりと読み込んで、理解してください。履修要覧は、全学部 of 学生さんにとって必要なことをまとめた「大学編」と、それぞれの学部別に必要なことをまとめた「学部編」から構成されています。大学編には「知らなかった」ではすまされない卒業に関わる重要事項などが満載です。また、学部編には、所属する学部・学科の独自のルールや科目一覧（課程表）、資格に関する情報が掲載されています。**なお、この履修要覧は卒業するまで使用します。**折にふれて見直せるよう、大事に保管してください。

シラバスという言葉も聞き慣れないかもしれません。簡単に言えばシラバスとは授業案内のことで、すべての科目についてシラバスがあります。それぞれの授業に関して、授業を担当する教員名・開講される学年・開講される曜日や時間・授業の概要や到達目標・授業の内容（授業計画）などが記されています。このシラバスを参考にしながら、自分の学びたいことはなんだろう？自分の学びたいことと合っているかな？と考えて、授業を選択していきます。

最初に述べましたように、大学では「自立と自律」が求められます。これからは大人の女性として責任を持って行動することも求められます。つまり、自主的な行動で「自立」し、自分で自分の行動に責任を持って自らを律する「自律」という「自立と自律」が求められるのです。それは社会人としてひとり立ちしていくための準備期間とも言えるでしょう。私たち教職員は全力でそのサポートをしていきたいと思っています。もし、不安なことや疑問に思うことがあったら、ぜひ教職員に勇気を出して質問してみてください。質問する勇気を持つことが社会人になるための第一歩かもしれません。みなさんが金城学院大学で素晴らしい時間を送られますことを心より祈っています。

CONTENTS

は じ め に

【 大 学 編 】

I 履修要項・履修案内

- 1 授業科目について 大学 1
授業科目の区分／授業科目の履修上の区分
- 2 単位制度について 大学 2
- 3 卒業要件について 大学 2
- 4 副専攻（実践ビジネス英語）プログラムについて 大学 3
- 5 履修登録について 大学 4
- 6 履修上の留意事項について 大学 4
- 7 授業について 大学 7
授業時間／授業の開講形態／休講／補講／授業への出席、欠席／
授業への遅刻、早退／受講態度が悪いことによる欠席扱い／
証明書等の取扱いについて（まとめ）
- 8 試験について 大学 12
試験の種類と受験手続（授業期間内試験・試験期間内試験・追試験・再試験）／
受験時の諸注意／時間割／不正行為・不正レポートと罰則／
レポート、卒業論文・卒業制作等の提出
- 9 成績評価と単位認定について 大学 16
- 10 各種の単位認定制度について 大学 18
国内の他の大学又は短期大学における授業科目の履修等／外国の大学又は短期大
学に留学して修得した単位／国内の大学に留学して修得した単位／大学以外の教
育施設等における学修（外国語検定試験等の合格又は成果に係る学修を含む）／
入学前の既修得単位等／単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準

II 学籍上の諸手続き

- 1 学籍異動について 大学 23
休学／復学／退学／再入学／除籍

III 教務事務の取扱い

- 1 事務取扱い時間について 大学 25
- 2 学生ポータルサイト（K-PORT）による伝達・連絡について 大学 25
- 3 諸届、願出について 大学 26
- 4 証明書等の発行について 大学 26

IV 履修規程 大学 27

【 学 部 編 】

I	ポリシー	
1	ディプロマ・ポリシー	学部 1
2	カリキュラム・ポリシー	学部 3
II	卒業要件単位数（詳細）	
1	卒業要件単位数（詳細）	学部 7
III	学科独自の制度	
1	食環境栄養学科 再試験・追試験制度について	学部 8
IV	科目分類番号	
1	科目分類番号について	学部 9
V	共通教育科目等の課程表	
1	共通教育科目等 課程表	学部 10
VI	専門教育科目のカリキュラム・ツリーおよび課程表	
1	カリキュラム・ツリー	学部 20
2	生活マネジメント学科 ファイナンシャルプランナー養成コース 課程表	学部 23
3	生活マネジメント学科 教員・公務員養成コース 課程表	学部 25
4	環境デザイン学科 コース別最低修得単位数	学部 27
5	環境デザイン学科 アパレル・ファッションコース 課程表	学部 28
6	環境デザイン学科 空間デザインコース 課程表	学部 31
7	食環境栄養学科 課程表	学部 34
VII	教免取得に関する教育課程表	
1	中高免教職課程について	学部 36
2	栄養教諭について	学部 48
VIII	各種資格	
1	ファイナンシャル・プランナーについて	学部 53
2	衣料管理士（テキスタイルアドバイザー：TA）2級について	学部 55
3	インテリアプランナーについて	学部 57
4	一級建築士、二級建築士、木造建築士について	学部 58
5	商業施設士について	学部 60
6	管理栄養士について	学部 61
7	食品衛生監視員及び食品衛生管理者について	学部 63

1 授業科目について

〔1〕授業科目の区分

本学における授業科目は、以下の2つに大きく区分されています。

1 共通 教育科目

すべての学生に共通に開設されている授業科目であり、次のように科目区分されています。

I 金城アイデンティティ科目

①キリスト教 ②女性 ③国際理解

II 金城コア科目

④英語教育科目 ⑤外国語教育科目 ⑥キャリア開発教育科目

III 金城展開科目

⑦教養科目 ⑧情報教育科目 ⑨S&E教育科目
⑩学生プロジェクト科目 ⑪海外研修科目
⑫実践ビジネス英語科目

2 専門 教育科目

専門教育課程として各学科ごとに設けられている授業科目です。専門教育課程では、専門性を高めるための学修がより効果的に進められるよう、履修上の各授業科目が体系化ならびにグルーピングされています。(例：基礎科目、展開科目など)

※上記①②以外に、中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状、栄養教諭一種免許状を取得するために必要な「各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等」、外国人留学生または本学が必要と認めた学生のために開設されている「日本語科目」と「日本事情に関する科目」があります。

〔2〕授業科目の履修上の区分

授業科目は、その科目が卒業要件に係る必要の度合から、次のように履修上の区分がされています。

必修科目：必ず履修しなければならない科目

選択必修科目：選択肢の中から所定の科目数、単位数を必ず履修しなければならない科目

選択科目：選択肢の中から希望により選択して履修することができる科目

2 単位制度について

授業科目には、それぞれ単位数が付記されています。それは、大学における各授業科目の学修量が「単位」という尺度で測られているからです。すべての授業科目は、講義、演習、実験、実習および実技のいずれかとして分類されていて、その種類に応じて本学学則において定めた時間を学修し、試験・レポートなどにより合格と判定されたとき、単位の修得が認められます。

この単位を、授業科目区分・分類ごとに定められた数だけ修得することによって、卒業要件を満たすことができます。（詳しくは、「[3 卒業要件について](#)」を参照してください。）

なお、本学においては、90分の授業をもって2時間と計算します。

【単位計算方法・基準】

授業科目の単位数は、次の基準により計算するものとします。

- (1) 講義および演習については、15時間から30時間までの授業をもって1単位とします。
- (2) 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの授業をもって1単位とします。ただし、文学部音楽芸術学科における個人指導による実技の授業については、5時間から8時間の授業をもって1単位とします。
- (3) 卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目など学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、教授会の議を経て、単位数を定めるものとします。

3 卒業要件について

卒業を認められるためには、下記の二つの要件を満たさなければなりません。

- (1) **本学に4年（ただし、薬学科生は6年）以上在学すること**

※休学期間は在学期間に含めません。

※編入学した学生は、本学在学年数に2年（薬学科編入生は3年）を算入することができます。

※在学期間は8年（ただし、薬学科生は12年）を超えることができません。

- (2) **各学科別に示す以下の表において、卒業に必要な単位数以上を修得すること**

学 部	学 科	共通教育 科目	専門教育 科目	自由履修 (後述 参考 参照)	卒業要件 総単位数
文学部	日本語日本文学科	30単位	70単位	28単位	128単位
	英語英米文化学科	30単位	70単位	28単位	128単位
	外国語コミュニケーション学科	22単位	74単位	28単位	124単位
	音楽芸術学科	28単位	70単位	26単位	124単位
生活環境学部	生活マネジメント学科	30単位	70単位	28単位	128単位
	環境デザイン学科	30単位	70単位	28単位	128単位
	食環境栄養学科	30単位	95単位	3単位	128単位
国際情報学部	国際情報学科	30単位	72単位	22単位	124単位
人間科学部	現代子ども教育学科	30単位	70単位	28単位	128単位
	多元心理学科	30単位	72単位	26単位	128単位
	コミュニティ福祉学科	30単位	70単位	28単位	128単位
薬学部	薬 学 科	36単位	151単位	0単位	187単位
看護学部	看 護 学 科	18単位	108単位	0単位	126単位

卒業要件単位の履修方法については、学部編の各学科卒業要件単位数の詳細ならびに共通教育科目等課程表および専門教育科目課程表を参照してください。なお、食環境栄養学科および現代子ども教育学科においては、卒業要件単位数とあわせて卒業要件上の付加条件を満たす必要があります。「[Ⅳ 履修規程（履修規程第15条）](#)」を参照してください。

参考 Reference

自由履修とは…

共通教育科目および専門教育科目の卒業に必要な単位数を修得した上で、さらに単位を修得した場合「自由履修」として卒業要件単位数に加算されます。

自由履修に加算できる単位は、共通教育科目および専門教育科目において卒業に必要な最低修得単位数を超えて修得した単位、教職に関する科目、日本語科目及び日本事情に関する科目、他学部他学科履修科目、単位互換科目の単位等です。

4 副専攻（実践ビジネス英語）プログラムについて

「副専攻（実践ビジネス英語）プログラム」（以下「本プログラム」という。）とは、在籍学科の学位取得を前提に、現代社会のグローバルビジネスの場で活躍できる英語に強い人材を育成することを目的とし、専門分野以外にもう一つの技能を修得しようとするプログラムです。

本プログラムを履修・修了するための条件は次のとおりです。

選抜方法：入学時に実施されるCASEC（英語プレイスメントテスト）のスコアを序列化し、合計560点以上を取得した者から各学科・コース2名または3名を選抜し、本プログラム履修の希望を確認した上で、1年次の5月に決定します。各学年の定員は30名です。

なお、語学を主専攻とする英語英米文化学科および外国語コミュニケーション学科、看護学科の学生は、本プログラムの対象から外れます。

修了条件：以下の共通教育科目Ⅱ 金城コア科目④英語教育科目8単位および、Ⅲ 金城展開科目⑩実践ビジネス英語科目6単位を修得し、4年次の1月末までにTOEIC L&Rで600点以上のスコアを取得することが必要です。この条件を満たした者に修了証を発行します。

テーマ	授業科目	単位	備 考
④ 英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	1	卒業要件上必修
	英語コミュニケーションA(2)	1	卒業要件上必修
	英語コミュニケーションB(1)	1	卒業要件上必修
	英語コミュニケーションB(2)	1	卒業要件上必修
	英語コミュニケーションC(1)	1	卒業要件上必修
	英語コミュニケーションC(2)	1	卒業要件上必修
	英語コミュニケーションD(1)	1	卒業要件上必修
	英語コミュニケーションD(2)	1	卒業要件上必修
⑩ 実践ビジネス英語科目	実践ビジネス英語A	1	1年夏（集中講義＋オンライン英会話）
	実践ビジネス英語B	1	1年春（集中講義＋オンライン英会話）
	実践ビジネス英語C	1	2年夏（集中講義＋オンライン英会話）
	海外ビジネス研修	1	2年春（カナダビクトリア州ロイヤルローズ大学の語学留学）
	実践ビジネス英語D	1	3年夏（集中講義＋オンライン英会話）
	実践ビジネス英語E	1	4年（通年全8回、英文レポート作成）

* 「海外ビジネス研修」を履修するためには、2年前期終了時点で修得単位60単位以上、GPA2.5以上、TOEIC L&Rのスコア550点以上の全ての条件を満たしていなければなりません。

履 修 費：履修費（「海外ビジネス研修」の留学費用等）は大学負担です。ただし、教科書等は履修者の負担となります。

その他、詳細については、選抜者に配付するパンフレットに記載されています。よく読んで間違いないようにしてください。

本プログラムは、言語センターが運営しています。質問等がある場合は、言語センター準備室まで問い合わせてください。

5

履修登録について

履修登録とは、学生各自が、自分の履修すべき授業科目を決定し、所定のルールと手続きにしたがって、学生本人の責任において大学に届け出る行為です。別冊の「履修登録の手引き」にしたがって行ってください。

履修登録していない場合、授業を受講することはできません。また、授業に出席し試験等を受験しても、単位修得の対象になりません。留年、その他の重大な結果につながりますので、十分注意してください。

6

履修上の留意事項について

履修に際して、守らなければならない規則は次のとおりです。

- (1) 開講基準年次にしたがって履修してください。下級年次に配当されている科目を履修することは認められますが、上級年次に配当されている科目は履修できません。

なお、他学科との合併授業の場合で、学科間で開講基準年次が異なるときは、自学科の配当年次が開講基準年次です。

- (2) クラス指定で開講されている科目は、所属のクラスで履修してください。ただし、再履修等の場合は、所属クラスでの履修を原則としますが、所属クラス以外での履修も許可します。

参考 Reference

合併授業

一つの授業を複数の学科で共同開講することがあります。この授業開講形態を合併授業といいます。

参考 Reference

再履修とは…

履修した結果、単位が認定されなかった科目を、次期または次年度以降に再び履修することを、再履修といいます。

再履修は、その科目が卒業要件上の必修科目である場合は、必ず必要となりますが、選択必修科目や選択科目の場合で、その科目の単位数分を、同系列の他の科目の履修によって満たすことができれば、必ず必要ということではありません。

また、再履修は、再履修しようとする科目の開講曜日時限が、履修計画上の時間割において空いているときに限り、可能となります。

(3) CAP制（履修登録できる単位数の上限）は、下表のとおりです。

● 1年次 金城アイデンティティ科目の選択科目と教養科目とを合計した履修登録単位数の上限は、前後期とも各4単位
ただし、薬学部は前後期とも各6単位

学 部	学 科	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
文学部	日本語日本文学科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
	英語英米文化学科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
	外国語コミュニケーション学科	42 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
	音楽芸術学科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
生活環境学部	生活マネジメント学科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
	環境デザイン学科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
	食環境栄養学科	49 単位	56 単位	49 単位	49 単位		
国際情報学部	国際情報学科	42 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
人間科学部	現代子ども教育学科	56 単位	62 単位	54 単位	49 単位		
	多元心理学科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位		
	コミュニティ福祉学科	49 単位	55 単位	49 単位	49 単位		
薬学部	薬 学 科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位
看護学部	看 護 学 科	49 単位	49 単位	49 単位	49 単位		

履修登録できる単位数の上限に含まれない科目、または影響を受けない場合があります。

【履修登録できる単位数の上限に含まれない科目】

- ・⑩学生プロジェクト科目
- ・⑪海外研修科目（海外留学準備講座を除く）
- ・⑫実践ビジネス英語科目の「実践ビジネス英語A」、「実践ビジネス英語B」、「実践ビジネス英語C」、「実践ビジネス英語D」、「実践ビジネス英語E」、「海外ビジネス研修」
- ・2～4年次（薬学科は2～6年次）の各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等（現代子ども教育学科を除く）
- ・「海外英語研修」、「海外中国語研修」、「海外フランス語研修」、「海外ドイツ語研修」、「海外短期研修」、「海洋文化研修」、「国内日本語教育実習」、「海外日本語教育実習」、「環境デザイン特別研修A」、「環境デザイン特別研修B」、「環境デザイン研修A」、「環境デザイン研修B」、「海外キャリアトレーニング⁽²⁾」
- ・再履修科目

【履修登録できる単位数の上限に影響を受けない場合】

- ・編入学生・転学部転学科生の3年次以降の履修登録の場合
- ・各年度末におけるGPAが通算3.4以上の学生の翌年度履修登録の場合

参考 Reference

CAP（キャップ）制（履修登録の上限設定）とは…

文部科学省は、大学設置基準（省令）において、「大学は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1年間または1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるように努めなければならない」としています。このことを受けて本学では、履修規程の第12条において、履修登録単位数の上限を定めています。これにより、無理な履修計画を防ぎ、予習や復習をしっかり行うための時間を確保できます。

(4) 他学部他学科生の履修が不可とある科目については、自学科生のみ履修が可能です。他学部他学科生の履修はできません。（シラバス参照）

参考 Reference

他学部他学科履修とは…

学部学科を超えて、意欲のある学生が、他学部他学科に開設されている授業科目を履修できるようにした制度が他学部他学科履修です。本学の授業科目のうち、専門教育科目の一部については、当該学科以外の学科（他学部を含む）の学生でも履修ができます。なお、この履修により取得した単位は、自由履修の単位にすることができます。

ただし、他学部他学科履修できるのは、2年次からで、1年次においてはできません。また、すべての専門教育科目が他学部他学科履修の対象となっているわけではありません。専門教育科目のうち、以下に示した授業科目は、他学部他学科履修の対象から除外されていますので、履修登録に際しては注意してください。

① 卒業論文、卒業制作等の科目

② その他、当該科目の授業内容の関係から、履修者を自学科の学生に限る必要があると判断された科目

他学部他学科履修のできない授業科目は、シラバスに「他学部他学科履修不可」と表記されています。シラバスは、K-PORTでも確認できますので参照してください。

- (5) 既に単位修得した科目を、再度履修することはできません。
- (6) すべての授業科目について、履修者数に制限があります。抽選等により定員外となった場合は、その科目は履修できませんので、他の授業科目への履修変更等をしてください。

参考 Reference

教育効果を高めるために…

本学では、教育効果を高めるために、講義科目の履修者数の上限を原則120名としています。

- (7) 一部の授業科目については、その科目の履修に際して、予め特定の授業科目を修得していることを条件とすることがあります。また、それ以外にも、履修上の条件の付いた科目があります。（シラバス参照）履修上の条件のある科目については、条件を満たす者のみ履修が可能です。

参考 Reference

履修上の条件とは…

シラバスの履修上の条件欄に、「××（科目名）を履修済みのこと」と付記されている授業科目があります。これは、その科目を履修するには、先に××（科目名）を履修している必要があることを意味します。ただし、「履修上の条件」における「履修済み」には、次の者も条件に適用者として付加し、「履修済み」とみなすものとします。

- ① 先に履修すべき科目の成績が不合格であった者
- ② 先に履修すべき科目を同時に履修する者

- (8) 授業科目の末尾に括弧数字がついている科目は、(1)から順に学修をしていく授業科目であり、数字順に履修をしていかなければなりません。
- (9) 授業科目の末尾にアルファベットがついている科目は、授業内容が異なっていることをあらわすものであり、履修順序の制約はありません。
- (10) 履修者が少ない科目は、大学の定めにしたがい、非開講になる場合があります。非開講になった場合は、履修登録の変更が認められます。

7 授業について

〔1〕 授業時間

授業は、1 時限90分で行われます。

通常授業は、平日は第5限、土曜日は第2限までです。

第6限は授業期間内の補講専用時限です。ただし、土曜日の第6限はありません。



〔2〕授業の開講形態

授業の開講形態は次のとおりです。

通年開講

1年間にわたり継続して授業が行われます。授業は原則として30回行われます。

半期開講

前期または後期の半年間継続して授業が行われます。学期ごとに単位認定され、授業は原則として15回行われます。

$\frac{1}{4}$ 期開講
(週2回授業)

前期または後期のさらに半分（ $\frac{1}{4}$ 期・実授業回数15回）で完結します。16回目（前半に終了する科目は8週目、後半に終了する科目は16週目）に試験を実施することがあります。

$\frac{1}{4}$ 期開講
(週1回授業)

前期または後期のさらに半分（ $\frac{1}{4}$ 期・実授業回数7回）で完結します。8回目（前半に終了する科目は8週目、後半に終了する科目は16週目）に試験を実施することがあります。

集中講義

通年または半期開講が、特別な事情により毎週授業を行えない場合、夏期または冬期の集中講義期間に授業が行われます。

〔3〕休講

授業担当教員のやむをえない事由あるいは暴風警報発令等により、授業を休講にすることがあります。

- ① 予め判明している休講は、事前にK-PORTで発表します。
- ② 休講の発表がない場合で、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当教員から教室に連絡がない場合は、履修支援センターに連絡し、指示を受けてください。
- ③ 暴風警報発令等による休講措置については、次のとおりです。



暴風警報発令等による休講措置

- ①東海地震に関する注意情報もしくは
予知情報（警戒宣言）が発表された時



休講

- ②未明から愛知県西部の尾張東部と尾張西部のいずれかの市町村に暴風警報（暴風特別警報を含む）
または暴風雪警報（暴風雪特別警報を含む）が発令
尾張東部の市町村：名古屋市、瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市、尾張旭市、豊明市、日進市、
長久手市、東郷町
尾張西部の市町村：一宮市、津島市、江南市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、
弥富市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村

- ③未明から名古屋鉄道または名古屋市営交通が運転ストライキ実施中（集改札ストライキを除く）



午前7時の時点で
解除されている

**通常
授業**

午前7時の時点で
解除されていない

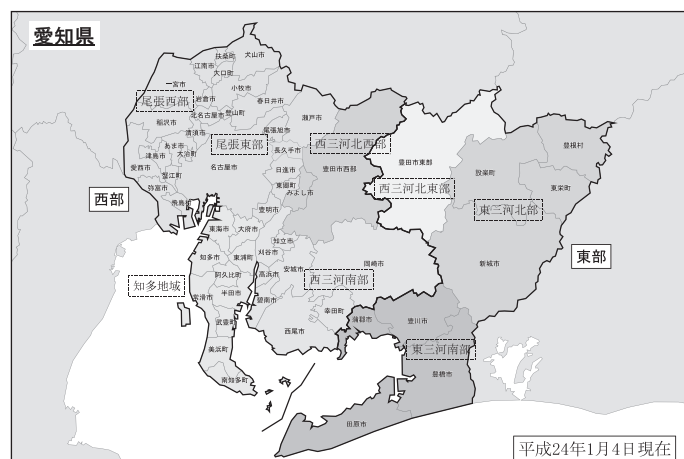
**第1限と第2限の
授業を休講**

午前11時の時点で
解除されていない

**全日
休講**

※事態の発生が、未明から
第1限の授業開始までの
場合を含む。

- 1) 第1限の授業開始以降に、②または③の事態が発生したときは、その状況をみて、学長が全学休講とするか否かを決定し、発表します。
※全学休講の場合は、その内容を大学ホームページで発表するとともに校内放送により通知します。
- 2) 愛知県西部の尾張東部と尾張西部の地域以外に在住する学生で、居住する地域・通学経路で暴風警報（暴風特別警報を含む）または暴風雪警報（暴風雪特別警報を含む）が発令された場合は自宅等で自己防災してください。
居住する地域・通学経路に発令された暴風警報（暴風特別警報を含む）かつ暴風雪警報（暴風雪特別警報を含む）が解除された時点で、授業が行われている場合は、安全等を確認し出校してください。出校できなかった場合は、履修支援センターで必要な手続きをすることにより欠席とはみなしません。



- ④ その他、特別な事由により、学長判断で休講となる場合があります。

〔4〕補講

休講があった場合は、原則として授業が補てんされます。この補てん授業を補講といいます。補講は、授業期間の第5限、土曜日（1～5限）、補講専用時限（第6限）および休暇期間中等に実施されることがあります。その他、暴風警報発令等の理由により全学が休講となった場合には、前・後期にそれぞれ設定されている予備日（履修要覧別冊教務関係事項スケジュール表参照）に補講を行う場合もあります。補講の実施は事前にK-PORTで発表します。また、LMS（ラーニングマネジメントシステム）を利用した補講を行うことがあります。LMSを利用した補講については、授業担当者から案内があります。

〔5〕授業への出席、欠席

① 授業への出席と単位認定について

授業には、原則としてすべて出席する必要があります。実授業回数の3分の1以上欠席した場合、当該科目の成績評価は「失格」となり、単位は認定されません。

② 授業を欠席した場合の例外的取扱いについて

以下の**a****b****c**の理由による場合は、〔5〕①の「欠席」とはみなしません。また、**d****e**の理由による場合は、授業担当者の判断により、〔5〕①の「欠席」とみなさないことがあります。欠席事由が解消した翌日から起算して7日以内に履修支援センターで手続きすることにより、**a****b****c****e**の場合は「欠席理由証明書」を、**d**の場合は「学外実習等出席証明書」を発行します。（集中講義は**c**の場合のみ「欠席理由証明書」を発行します。）

発行された証明書は、すみやかに授業担当者へ提出してください。提出期限は各授業の最終回までです。最終回の授業を例外的取扱い等に該当する理由で欠席した場合の取扱いは、③を参照してください。

a 学校保健安全法施行規則第18条に規定されている感染症（大学10ページ参照）に感染または感染の疑いがある場合

証 明 書 医師による診断書

※ただし、日数は、学校保健安全法施行規則第19条に規定されている「出席停止の期間の基準」とする。

b 忌引きの場合

証 明 書 会葬礼状など

会葬礼状が提出できない場合は履修支援センターに問い合わせてください。

忌引きは二親等までとし、次に示された日数*です。

*葬儀の日を含む連続の日数

配偶者 10日以内

一親等の親族 血族…7日以内
姻族…5日以内

二親等の親族 血族…3日以内
姻族…2日以内

（注）生計をひとつにする姻族は血族に準ずる。

c 居住する地域・通学経路で暴風警報等が発令された場合

証 明 書 不要

d 資格取得に伴う以下の各種学外実習の期間が重なった場合

証 明 書 不要*

博物館実習、早期英語教育実習、ソーシャルワーク実習、保育実習（保育所・施設いずれも事前事後指導を含む）、心理実習、教育実習（小・中・高・栄養は教員採用試験を含む）、幼稚園教育実習の事前事後指導、介護等体験、臨地実習

*実習の種類によっては証明書が必要です。K-PORTで詳細を確認してください。

e その他教務部長が特別に認めた場合

証 明 書 理由書、主催団体等の証明書など

例：国民体育大会および選考基準がそれに準ずる全国大会に出場する場合

日本音楽コンクールおよびそれに準ずるコンクールに出場する場合

何らかの事件の証人として出廷を依頼された場合

骨髄移植のボランティアドナーとして入院を依頼された場合

事件等にまきこまれ、警察等に緊急で連絡をしなければならない場合

③ 最終回の授業を欠席した場合の取扱いについて

最終回の授業を例外的取扱い等に該当する理由で欠席し、①～③の提出物（その他は対象外）を授業担当者に渡すことのできない場合、以下の通り取り扱います。

ただし、試験期間内試験（16週目の試験）があり、直接授業担当者に提出することができる場合には、各自で提出してください。やむを得ない事情等により、期限までに手続きが困難な場合には、事前に履修支援センターへ相談してください。

手続きに必要な書類や注意事項等は〔8〕証明書等の取扱いについて（まとめ）に掲載しています。

①欠席理由証明書、学外実習等出席証明書

最終回の授業を「授業を欠席した場合の例外的取扱いについて」に該当する理由で欠席した場合は、履修支援センターに「欠席理由証明書」、「学外実習等出席証明書」を提出してください。履修支援センターが授業担当者に送付します。手続き期限は、試験期間最終日までです。

②レポート、課題等

最終回の授業を「授業を欠席した場合の例外的取扱いについて」または就職試験、通学経路での公共交通機関の事故（追試験の⑤または⑥）に該当する理由で欠席したため、授業内でのレポート、課題等の提出ができなかった場合は、履修支援センターにレポート、課題等を提出してください。履修支援センターが授業担当者に送付します。手続き期限は、試験期間最終日までです。

③遅延証明書

最終回の授業を通学経路での公共交通機関の遅延等により欠席した場合は、履修支援センターに「遅延証明書」を提出してください。履修支援センターが授業担当者に送付します。手続き期限は、試験期間最終日までです。

〔6〕授業への遅刻、早退

授業への30分以上の遅刻は、遅刻とはみなさず欠席となります。ただし、通学経路での公共交通機関の遅延等により、遅延証明書が提出された場合を除きます。遅延証明書は直接授業担当者に提出してください。遅刻は2回をもって1回の欠席となります。早退についても遅刻と同様の扱いとします。

〔7〕受講態度が悪いことによる欠席扱い

授業中に次のような行為を行い、担当教員から注意を受け、さらにその上で教室からの退出を求められた学生は欠席扱いとなります。

① 授業に関係のない私語をした場合

（授業に関係するものであっても私語は避けてください。担当教員の言葉が聞き取れない、説明の内容が理解できない、板書の文字が読めないといった場合には、挙手して発言を求めるようにしてください。）

② 携帯電話やスマートフォンでの通話や、メール、SNS等を使用した場合

（携帯電話やスマートフォンの電源は必ず切っておいてください。ただし、担当教員からの許可もしくは指示により携帯電話やスマートフォンを使用する場合を除きます。）

③ 授業と関わりのない作業等を行った場合

【学校保健安全法施行規則第18条に規定されている感染症】

学校保健安全法施行規則により出席停止となる病名は次のとおりです。医師の診察を受け伝染の恐れがないと診断されてから登校してください。登校には、病名と出席停止期間が記載された診断書が必要です。診断書は、履修支援センターへ提出してください。

	病 名
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MARSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症、新感染症
第二種	インフルエンザ、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風疹（三日はしか）、水痘（みずぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核、髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎

〔8〕証明書等の取扱いについて（まとめ）

授業を例外的取扱いにより欠席した場合の証明書（大学9ページ ② 授業を欠席した場合の例外的取扱いについて）

注意：再発行はできません。発行後はすみやかに授業担当者に提出してください。

発行期間内に手続きができない場合は、期限内に履修支援センターに申し出てください。

欠席理由 証明書	発 行	窓 口：履修支援センター 期 間：欠席事由が解消した翌日から起算して7日以内。 条 件：大学9ページ ② a b c e の理由 必要書類：欠席事由により異なります。
	提 出	提出先：各授業担当者 期 限：最終回の授業まで
	取扱い	a b c は欠席とみなさない。e は授業担当者の判断による。
学外実習等 出席証明書	発 行	窓 口：履修支援センター 期 間：欠席事由が解消した翌日から起算して7日以内。 条 件：大学9ページ ② d の実習
	提 出	提出先：各授業担当者 期 限：最終回の授業まで
	取扱い	授業担当者の判断による。

授業に公共交通機関の遅延により遅刻した場合の証明書（大学10ページ〔6〕 授業への遅刻、早退）

注意：通学経路での遅延等に限ります。

遅延証明書	発 行	窓 口：各公共交通機関 期 間：各公共交通機関により異なります。
	提 出	提出先：各授業担当者 期 限：最終回の授業まで（原則は当日授業または次回授業まで。）
	取扱い	遅刻とはみなさない。（遅延時間によっては欠席とはみなさない。）

最終回の授業を例外的取扱い等により欠席した場合に提出できる証明書、レポート、課題等

（大学10ページ ③ 最終回の授業を欠席した場合の取扱いについて）

注意：授業担当者に提出できる場合は、各自で提出してください。下表のもの以外は受取れません。

試験等が実施されていた場合、課題等が課されることがあります。その場合はK-PORTで連絡します。

欠席理由 証明書	発 行	期 間：欠席事由が解消した翌日から起算して7日以内。ただし、試験期間最終日まで。
学外実習等 出席証明書	提 出	提出先：履修支援センター 期 限：各期の試験最終日まで
遅延証明書	提 出	提出先：履修支援センター 期 限：各期の試験最終日まで
レポート 課題等	条 件	大学10ページ ③ または大学12ページ「追試験」bまたはfに該当し、提出日が最終回の授業のもの。
	必要書類	「欠席理由証明書」、「学外実習等出席証明書」、「遅延証明書」または追試験手続き書類。
	提 出	提出先：履修支援センター 期 限：各期の試験最終日まで
	注 意	最終回の授業より前に提出機会があったにもかかわらず、提出しなかった場合は受取れません。

8 試験について

試験方法には、筆記試験のほか、プレゼンテーション、レポート提出、論文提出、作品提出、実技、実験、実習などがあります。

〔1〕試験の種類と受験手続



授業期間内試験とは、通常授業期間中に実施される試験です。

試験の詳細は、授業担当者から指示があります。

原則として追試験（③ 追試験を参照）の対象にはなりませんので、各教員の指示に従ってください。薬学科生に対して実施される中間試験については、学部編を参照してください。



試験期間内試験とは、試験期間中（16週目）に実施される試験です。

試験の詳細は、事前にK-PORTで発表します。

追試験（③ 追試験を参照）の対象になります。薬学科生に対して15週目に実施される期末試験については、試験期間内試験に準じます。詳細は学部編を参照してください。



追試験とは、以下a～hの理由によって、試験期間内試験および薬学部期末試験を受験できなかった学生で、所定の期日までに必要な手続きを行い、教務部長が認めた場合に実施される試験です。詳細はK-PORTで確認してください。なお、追試験料は無料です。

- a 資格取得に伴う以下の各種学外実習の期間が重なった場合 **証明書 不要**
博物館実習、早期英語教育実習、ソーシャルワーク実習、保育実習（保育所・施設いずれも事前事後指導を含む）、心理実習、教育実習、幼稚園教育実習の事前事後指導、介護等体験、臨地実習

※ただし、保育実習および幼稚園教育実習の事前事後指導で試験を欠席する場合は、現代子ども教育学科が発行する「実習に関わる授業欠席の確認」を提出すること。

- b 教員採用試験、保育士試験、図書館司書講習、就職試験が重なった場合 **証明書 受験先の証明書または受験票（受講許可証）の写し**

- c 文化・スポーツおよび社会的活動の全国大会以上出場、もしくは、そのための公的機関が実施する強化合宿等の日程が重なった場合 **証明書 当該大会等を主催する公的機関の証明書**

- d 居住する地域・通学経路で暴風警報等が発令された場合 **証明書 不要**

- e 病気・ケガの場合 **証明書 医師による診断書または保健センター利用証明書**

- f 通学経路での公共交通機関の事故（自家用車による通学での事故等は認められない）の場合 **証明書 遅延証明書、警察による事故証明など**

- g 忌引きの場合 **証明書 会葬礼状など**
会葬礼状が提出できない場合は履修支援センターに問い合わせてください。
忌引きは二親等までとし、次に示された日数*です。
*葬儀の日を含む連続の日数

配偶者 10日以内

一親等の親族

血族…7日以内
姻族…5日以内

二親等の親族

血族…3日以内
姻族…2日以内

（注）生計をひとつにする姻族は血族に準ずる。

- h その他正当と認められる理由の場合 **証明書 保証人連署の理由書など**
事前に履修支援センターに問い合わせてください。



再試験

再試験とは、以下 **a b c** の場合に実施される試験です。受験の手続きは **c** の場合は不要ですが、**a b** の場合は必要です。再試験結果の成績評価は「C」または「F」となります。なお、再試験料は1科目につき3,000円です。受験の手続き（試験料納入方法を含む）については、K-PORTで発表します。

a
手続必要

最終学年で、卒業要件単位の不足が2科目以内（卒業論文・卒業制作等は除く）の学生に対して実施される場合の試験（卒業再試験）。ただし、卒業要件不足科目は、当該年度に履修し、成績が不合格（成績評価F）であった科目に限られます。

b
手続必要

共通教育科目英語教育科目の「英語コミュニケーションA(1)(2)」(薬学科生のみ)の成績と、現代子ども教育学科が定めた専門教育科目の成績が不合格（成績評価F）であった学生に対して実施される場合の試験。現代子ども教育学科の再試験の詳細については、学部編を参照してください。

c
手続不要

食環境栄養学科、薬学科、看護学科が定めた専門教育科目の成績が不合格（成績評価F）であった学生に対して実施される場合の試験。詳細については、学部編を参照してください。



- ① 1/4 期開講科目の規定授業回数後の試験の詳細は、試験期間内試験に準じます。
- ② 集中講義の試験は、16回目に実施することがあります。
- ③ 試験教室は、授業の教室と異なる場合があります。
- ④ 追試験及び再試験を欠席した場合の追試験は実施しません。
ただし、食環境栄養学科、現代子ども教育学科、薬学科、看護学科が定めた試験制度については、学部編を参照してください。

〔2〕受験時の諸注意

次の受験時の諸注意は必ず守ってください。なお、まぎらわしい行為は不正行為とみなされる場合があるので、受験の際は、他から疑問をいだかれるような行為はとらないようにしてください。

【試験期間内試験】

- ① 学生証を必ず携帯し、試験中は写真の面を上にして机の上に提示し、試験監督者が確認しやすいように置くこと。
- ② 学生証を忘れた、または紛失した場合は、受験前に履修支援センターへ願い出て、受験許可証を発行してから受験すること。なお、受験許可証は、発行日のみ有効です。
- ③ スマートフォン等の通信可能な端末は、電源を切ってカバンに入れること。時計はアラーム音を切ること。試験中に鳴った場合は、退室を命じられます。
- ④ 試験教室では、「座席表」に指定された席で受験すること。万一、自分の学籍番号が「座席表」にない時は、試験監督者にその旨を申し出て受験し、終了後に履修支援センターへ申し出ること。
- ⑤ 机には、学生証、鉛筆類、消しゴム、鉛筆削り、時計（ただし、計算機能や翻訳機能つきの時計を除く）、めがね、持込み許可物件以外のものは置かないこと。なお、必要なものがある場合には、事前に試験監督者に許可を得ること。
- ⑥ 机の中には何も入れないこと。試験に不要な物は、カバン等に入れて、椅子の下に置くこと。
- ⑦ 試験教室においては、常に試験監督者の指示に従うこと。指示に従わない場合は、退室を命じられます。

【授業期間内試験】

原則として試験期間内試験の内容に準じますが、詳細は授業担当者の判断に依ります。授業担当者の指示に従ってください。

〔3〕 時間割

【試験期間内試験】

	第1限	第2限	第3限	第4限	第5限
入室時刻	9:10	10:55	13:20	15:05	16:45
試験開始時刻	9:20	11:05	13:30	15:15	16:55
遅刻限度時刻	9:40	11:25	13:50	15:35	17:15
試験終了時刻	10:20	12:05	14:30	16:15	17:55

- ① 試験時間割は、授業時間割に準じます。
- ② 試験時間は原則60分です。
- ③ 入室時刻までに着席してください。
- ④ 遅刻限度時刻以降の入室は認められません。

【授業期間内試験】

授業時間内に行われます。詳細は授業担当者の指示に従ってください。

〔4〕 不正行為・不正レポートと罰則



成績評価につながる全ての試験は、評価の割合にかかわらず、静粛かつ公正に行われるべきと考えます。不正行為を行った者を、学則第46条に基づき、訓告、停学、退学のいずれかの懲戒に付します。同時に、その学期の全科目の成績評価を「失格」とします。

① 不正行為について

試験中に不正行為を行ったと認められた学生は、直ちに受験を停止し、試験監督者の指示に従わなければなりません。

以下の場合、不正行為にあたります。

- a) 他人の答案用紙をのぞいたり、他人と答案用紙を交換した場合
- b) 他人と話をした場合
- c) 当該試験科目に関係したものであるか否かを問わず、不正行為物件（カンニングペーパー、スマートフォン等の通信可能な端末、デジタルオーディオプレーヤー等の不正行為に使用できる全ての用具をいう）を所持していた場合
- d) 本人が書いたか否かを問わず、机上等に当該試験科目の内容が書いてある場合
- e) 代理受験を行ったり、依頼をした場合
- f) 持ち込みが許可されている物の貸借をしていた場合
- g) その他、試験監督者が不正行為と認めた場合

2 不正レポートについて

書籍、論文、新聞、ホームページ、他の学生が書いたレポート等に記載されたものを、出典を明らかにせずに用いる等、剽窃（ひょうせつ）した箇所があるレポートは不正レポートとみなし、提出者の当該科目の成績評価を「失格」とします。

なお、他人のレポートを丸写ししたり、他人にレポート作成を依頼するなど、悪質な不正レポートと認められる場合は、不正行為とみなします。

※不正レポートとみなされないための注意

自分の意見を述べるために、必要な範囲で他の著作物から引用する場合は、引用箇所を「」で囲むなどして明示するとともに、出典を明らかにする必要があります。以下に引用の仕方の一例を記します。このような形で記述すれば、不正レポートとみなされることはありません。なお、専門分野によって表記の方法が異なるため、当該科目の担当教員の指示に従ってください。

《引用の仕方の例》

（例）金城花子（2008）は、「……」と述べている。一方、金城すみれ（2009）は「……」と述べている。

引用文献

1）金城花子（2008）、書名、〇〇出版社、pp.100-112

2）金城すみれ（2009）、サイト名、<http://www.kinjo-u.ac.jp/kyoumu-sample.html>

（最終アクセス日 2009/07/10）

（注）引用文献は文末に示すことが一般的です。

〔5〕レポート、卒業論文・卒業制作等の提出

1 レポートの提出について

- レポートには、表紙をつけ、右の見本のように各項目名を記載してください。
- レポートは、インク、ボールペン、パソコンを用いて作成してください。
- レポートは、指定された提出先に期限を守って提出してください。
- レポートは、ラーニングマネジメントシステムmanabaによる提出とします。以下の事項に注意してください。

- ・レポートをmanabaにアップロードしただけでは提出はできていません。必ず提出（ボタン）を押してください。
- ・一度提出したレポートは、修正や再提出ができない場合があります。

※manabaの操作方法等については、manabaログイン後に画面の下部に表示される「マニュアル」ボタンよりマニュアルをダウンロードして確認してください。

- 紙面による提出の指示がある場合は、ステープラやひもなどで綴じてから提出してください。

見本 A 4 判（例）

年度、学期、履修クラス
科目名、担当教員名

レポート題目
（必要に応じて副題目）

所属学科、学年、組、学籍番号
氏名（必要に応じてローマ字名も）

2 卒業論文・卒業制作等の提出について

卒業論文・卒業制作等は、指定された期間に履修支援センターへ提出してください。（なお、学科が別に定める場合は、この限りではありません。）郵送によるものは受理しませんので注意してください。

その他提出に係る詳細は、所属の学科が決定し、掲示などで通知されます。

9

成績評価と単位認定について

履修した授業科目は、通年科目の場合は年間の成績で単位認定され、半期科目の場合は半年間の成績で単位認定されます。

いったん認定された単位の取消しおよび成績評価の変更はできません。

また、本学では成績評価の客観性と厳格性の確保および学生の学修意欲の向上を目的として、GPA制度を導入しています。GPA（Grade Point Average/成績平均点数）とは、成績評価に対してそれぞれGP（Grade Point）を定め、1単位あたりの成績平均点数を示したものです。

GPAは、成績単位修得通知表に記載されるとともに、一部選考資料としても利用されます。

GPAの計算式は次のとおりです。なお、GPAの計算式においては、F・失の履修登録単位数も分母に加算されますので、それらが多いとGPAは低くなります。

$$GPA = \frac{4 \times A \text{の単位数} + 3 \times A \text{の単位数} + 2 \times B \text{の単位数} + 1 \times C \text{の単位数}}{A \cdot A \cdot B \cdot C \cdot F \cdot \text{失の履修登録単位数合計}}$$

※次の3科目はGPAの対象とならないGPA除外科目です。

【共通教育科目「キャリア開発G(2)」、食環境栄養学科「臨地実習」、薬学科「実務実習」】

(1) 成績評価と合否の別および単位認定の可否については次のとおりです。

合格

単位認定可

成績評価等	GP	成績評価の内容
A A	4	90点～100点
A	3	80点～90点未満
B	2	70点～80点未満
C	1	60点～70点未満、再試験による合格
検	対象外	検定試験等の合格又は成果に係る学修
他又は教他	対象外	大学以外の教育施設等における学修、海外研修等
換	対象外	他の大学又は短期大学において修得した単位
留又は教留	対象外	国内外の大学又は短期大学に留学して修得した単位
既又は教既	対象外	入学前の既修得単位
編又は教編	対象外	編入学前の既修得単位
再又は教再	対象外	再入学前の既修得単位
転又は教転	対象外	転学部転学科前の既修得単位

「教」の文字が付く成績評価等は、教職課程の科目に使用することができます。

外国の大学等での学修による単位認定の場合、教職課程の科目に使用することはできません。

不合格

単位認定不可

成績評価等	GP	成績評価の内容
F	0	60点未満
失	0	実授業回数の3分の1以上欠席した場合等 不正行為を摘発された場合

保留

単位認定保留

成績評価等	GP	成績評価の内容
保	0	授業料等の学納金が未納の場合等

注意 Attention

- ① 試験を欠席した場合でも試験以外の学修成果により単位認定されることがあります。
- ② 正当な理由で試験を欠席した場合でも、いったん成績が出る場合があります。その場合のGP（GPA）は一時的に低くなります。ただし、追試験を受験し、成績評価が出た段階でGP（GPA）は更新されます。

- (2) 成績の結果発表（成績単位修得通知表発行日）は、在学生オリエンテーション時に行います。日程は、履修要覧別冊の教務関係事項スケジュール表を参照してください。
- (3) 成績問い合わせは、原則として、成績単位修得通知表の発行日より1週間以内（最終日が休日の場合、その翌日）に、履修支援センターで受け付けます。後期の在学生オリエンテーションを行わない学科についても同様です。卒業予定者発表日に成績が開示される4年生または6年生の成績問い合わせは、K-PORTで別途案内します。

注意 Attention

成績単位修得状況は、学生個人だけでなく、保証人へも保証人ポータルサイトでお知らせします。ただし、保証人ポータルサイト上の「成績単位修得通知表」は、成績問い合わせの対象にはなりませんので、注意してください。

10

各種の単位認定制度について

学則等に基づく単位認定制度の対象となり得るものには、次の〔１〕～〔５〕に示すものがあります。いずれの場合も、認定された単位は卒業要件単位として認められます。

ただし、教育職員免許状申請上の単位としては認められないことが多いので、教職課程履修者は注意が必要です（詳細については履修支援センターで確認のこと）。また、卒業上の履修計画の観点からすると、これらの単位認定制度の適用を受けようとする学生は、所属学科の教員と十分相談する必要があります。

なお、単位認定を希望する学生は、本学所定の単位認定申請書と必要関係書類を履修支援センターへ提出し、申請する必要があります。ただし、履修中の科目や休学期間中の単位認定は行いません。また、卒業年次生の単位認定は、受付期間が設けられています。３月卒業予定者は２月２０日（薬学部生は２月５日）まで、前期末卒業予定者は６月３０日までです。最終日が土、日の場合は次の月曜まで受け付けます。

本学において修得したとみなす認定単位数の範囲は、下表のとおりです。

内 容	認定単位数の範囲	
	項目別	合計
国内の他の大学又は短期大学における授業科目の履修等	60単位以内	60単位以内
外国の大学又は短期大学に留学して修得した単位	60単位以内	
国内の大学に留学して修得した単位	60単位以内	
大学以外の教育施設等における学修 （外国語検定試験等の合格又は成果に係る学修を含む）	60単位以内	
入学前の既修得単位等	60単位以内	

〔１〕国内の他の大学又は短期大学における授業科目の履修等

本学学則第15条により、教育上有益と認められるときは、国内の他の大学又は短期大学において履修し修得した授業科目の単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得した単位とみなすことがあります。

本学が現在、単位互換協定を締結している他の大学又は短期大学は、愛知学長懇話会のもとで包括協定を締結している愛知県下の本学を除く全ての国公私立大学と、京都にある同志社女子大学です。

〔２〕外国の大学又は短期大学に留学して修得した単位

本学学則第15条2により、教育上有益と認めるときは、留学先で修得した単位を60単位を超えない範囲で、本学において修得した単位とみなすことがあります。

本学の学生として海外留学する場合、本学に在学したまま留学する在学留学と、本学を休学して留学する休学留学が考えられます。いずれの場合も、単位認定制度の適用の対象となる点では同じです。しかし、留学期間が在学年数に算入されるか否か、本学の留学生奨学金受給申請資格が有るか否か、といった点において差異があります。

本学では、国際交流センターにおいて、在学留学としての海外留学プログラムを実施しています。この海外留学プログラムは、本学の学生海外留学規程に基づくものです。学生海外留学規程に基づく留学には、本学と国際交流協定を締結している海外の大学に留学する「交換留学」と「派遣留学」、ならびに、留学先の大学又は短期大学を学生自身が選定して留学する「認定留学」の３種類があります。募集および選考は国際交流センターが行いますので、留学による単位認定を予定している学生は同センターへ問い合わせてください。

〔3〕国内の大学に留学して修得した単位

外国の大学等への留学と同様に、教育上有益と認めるときは、国内の大学に留学して修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学において修得した単位とみなすことがあります。

本学が現在、国内の留学先として協定を締結している大学は、京都にある同志社女子大学です。

参考 Reference

単位互換協定に基づく他大学での履修とは…

単位互換協定とは、他の大学または短期大学において履修し修得した授業科目の単位を、本学において修得した単位とみなすことが、本学にとっても教育上有益と認められるときに、相手大学等と締結する大学間の協議書です。したがって、単位互換協定を締結している大学で修得した単位については、本学において修得した単位とみなし、単位認定されます。

本学は現在、次の大学等と単位互換協定を締結しています。

- ① **国際交流協定大学**
協定校については国際交流センターで確認してください。
海外の大学への留学に関しては、その留学が、本学の学生海外留学規程に基づく留学と認められれば、留学先の大学が協定大学であるか否かに拘わらず、留学先の大学において修得した単位については、協定大学における修得単位と同様に単位認定されます。
- ② **愛知学長懇話会のもとでの包括協定大学（愛知県下の本学を除く全ての大学）**
- ③ **同志社女子大学（京都）**

〔4〕大学以外の教育施設等における学修（外国語検定試験等の合格又は成果に係る学修を含む）

教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修（記載省略）を、60単位を超えない範囲で、本学において修得した単位とみなすことがあります。

これらの学修のうち、外国語検定試験等の合格又は成果に係る学修については、後述の別表に記載したとおりです。外国語検定科目に単位認定された場合は、認定された外国語検定の各科目に対応する同一番号の当該外国語科目の学修は済んだものとみなされます。なお、本学内で実施している「TOEIC L&R IP（主催／言語センター）」と「TOEFL（主催／国際交流センター）」も単位認定の対象となりますので利用してください。

〔5〕入学前の既修得単位等

教育上有益と認めるときは、本学に入学する前に大学又は短期大学において履修し修得した単位（科目等履修生として修得したものを含む。）や、入学前に行った大学以外の教育施設における学修を、60単位を超えない範囲で、本学において修得した単位とみなすことがあります。

ただし、編入学した学生の入学以前の既修得単位の認定は、72単位（薬学部は110単位）以内となります。また、現代子ども教育学科への編入生で、保育士資格を取得しようとする者の単位認定数の上限は、指定保育士養成施設の指定及び運営の基準を準用します。

参考 Reference

一括認定とは・・・

〔1〕～〔5〕による単位認定には、特定の科目として認定する方法と、複数の科目を一括して認定する方法（一括認定）があります。

一括認定は、「○○一括認定◆◆」（例：キリスト教学一括認定4、自由履修一括認定10など）と表記されます。

○○には該当する卒業要件が、◆◆には単位数が入ります。

例にある「キリスト教学一括認定4」の場合、「キリスト教学(1)(2)」の代わりに「①キリスト教」の必修4単位としてカウントすることができます。

ただし、「キリスト教学一括認定4」と「キリスト教学(1)(2)」は別科目と考えますので、「キリスト教学(1)(2)」を履修することもできます。その場合、単位修得した分が自由履修としてカウントされます。

なお、専門教育科目の一括認定は、学科により○○の範囲が異なります。どの区分として認定されるのかをよく確認し、間違いのないように履修計画をたててください。

別表（単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準）

- 注意１：英語英米文化学科及び看護学科の学生は、「英語」に関する単位認定はできません。
- 注意２：外国語コミュニケーション学科の「中国語」「フランス語」「ドイツ語」に関する認定基準は異なります。詳細は学部編を参照してください。
- 注意３：環境デザイン学科の学生は「色彩検定」に関する単位認定はできません。
- 注意４：国際情報学科の「英語」に関する認定基準は異なります。詳細は学部編を参照してください。
- 注意５：認定授業科目を複数の検定試験等で認定する場合は、成績区分の上位の検定試験等で認定されます。
- 注意６：教育職員免許状取得予定の場合、教職課程に係る科目を単位認定することはできません。
- 注意７：TOEIC L&R、L&R IP等については、オンライン受験の場合、単位認定ができない場合があります。事前にお問い合わせください。

試験の種類		成績区分	認定授業科目	認定単位数
実用英語技能検定試験 (英検)		準１級	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｄ）	６単位
		１級	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）	８単位
TOEFL ITP		511～550点	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ又はＤ）	６単位
		551点以上	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）	８単位
TOEFL iBT		65～79点	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ又はＤ）	６単位
		80点以上	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）	８単位
TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R) TOEIC Listening & Reading Test IP (TOEIC L&R IP)		651～750点	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ）	４単位
		751～899点	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｄ）	６単位
		900点以上	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）	８単位
国際連合公用語・英語検定 試験（国連英検）		Ｂ級	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｄ）	６単位
		Ａ級	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）	８単位
ケンブリッジ大学英語能力 検定試験		CAE（１級）	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｄ）	６単位
		CPE（特級）	外国語検定（英語コミュニケーションＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ）	８単位
ドイツ語技能検定試験		３級	外国語検定（ドイツ語１、２）	２単位
		２級	外国語検定（ドイツ語１、２、ドイツ語会話１、２）	４単位
		準１級	外国語検定（ドイツ語１、２、３、４）	６単位
			外国語検定（ドイツ語会話１、２）	
		１級	外国語検定（ドイツ語１、２、３、４） 外国語検定（ドイツ語会話１、２、３、４）	８単位
実用フランス語技能検定試験		３級	外国語検定（フランス語１、２）	２単位
		準２級	外国語検定（フランス語１、２、フランス語会話１）	３単位
		２級	外国語検定（フランス語１、２、フランス語会話１、２）	４単位
		準１級	外国語検定（フランス語１、２、３、４） 外国語検定（フランス語会話１、２）	６単位
			外国語検定（フランス語１、２、３、４） 外国語検定（フランス語会話１、２、３、４）	
フランス語 資格試験	(DELF)	Ａ１	外国語検定（フランス語１、２）	２単位
		Ａ２	外国語検定（フランス語１、２、フランス語会話１）	３単位
		Ｂ１	外国語検定（フランス語１、２、フランス語会話１、２）	４単位
		Ｂ２	外国語検定（フランス語１、２、３、４） 外国語検定（フランス語会話１、２）	６単位
	(DALF)	Ｃ１	外国語検定（フランス語１、２、３、４） 外国語検定（フランス語会話１、２、３、４）	８単位

試験の種類	成績区分	認定授業科目		認定単位数
中国語検定試験	3級	外国語検定（中国語 1、2）		2単位
	2級	外国語検定（中国語 1、2、中国語会話 1、2）		4単位
	準1級	外国語検定（中国語 1、2、3、4、中国語会話 1、2）		6単位
	1級	外国語検定（中国語 1、2、3、4） 外国語検定（中国語会話 1、2、3、4）		8単位
スペイン語技能検定試験	4級	外国語検定（スペイン語 1、2）		2単位
	3級	外国語検定（スペイン語 1、2、スペイン語会話 1、2）		4単位
	2級	外国語検定（スペイン語 1、2、3、4） 外国語検定（スペイン語会話 1、2）		6単位
	1級	外国語検定（スペイン語 1、2、3、4） 外国語検定（スペイン語会話 1、2、3、4）		8単位
韓国語能力試験	3級	外国語検定（韓国・朝鮮語 1、2）		2単位
	4級	外国語検定（韓国・朝鮮語 1、2、韓国・朝鮮語会話 1、2）		4単位
	5級	外国語検定（韓国・朝鮮語 1、2、3、4） 外国語検定（韓国・朝鮮語会話 1、2）		6単位
	6級	外国語検定（韓国・朝鮮語 1、2、3、4） 外国語検定（韓国・朝鮮語会話 1、2、3、4）		8単位
ハングル能力検定試験	準2級	外国語検定（韓国・朝鮮語 1、2）		2単位
	2級	外国語検定（韓国・朝鮮語 1、2、韓国・朝鮮語会話 1、2）		4単位
	1級	外国語検定（韓国・朝鮮語 1、2、3、4） 外国語検定（韓国・朝鮮語会話 1、2、3、4）		8単位
通関士試験	合格	通関業務研究		3単位
総合旅行業務取扱管理者試験	合格	旅行業務研究		3単位
二級建築士	合格	空間デザイン基礎製図 空間デザイン基礎実習 環境デザイン学科展開科目の空間デザイン系科目 の必修科目から1科目2単位		6単位
ITパスポート試験	合格	生活マネジメント 学科 ※	現代社会と情報 現代社会とAI 情報通信ネットワーク論	4単位 (左記の内 2科目)
		国際情報学科 ※	情報システム論 情報技術論 情報ネットワーク論 プログラミングA	4単位 (左記の内 2科目)
基本情報技術者試験	合格	生活マネジメント 学科 ※	現代社会と情報 現代社会とAI 情報通信ネットワーク論	6単位
		国際情報学科 ※	情報システム論 情報技術論 情報ネットワーク論 プログラミングA プログラミングB プログラミングC	6単位 (左記の内 3科目)
色彩検定	2級	カラーコーディネート論		2単位
	1級			
世界遺産検定	2級	世界遺産研究A		2単位
	1級	世界遺産研究A		4単位
	マイスター	世界遺産研究B		

※付記：1. 指定学科の学生は、他学科の授業科目は認定されません。

2. 指定学科以外の学生は、2学科にわたる授業科目は認定されません。

試験の種類	成績区分	認定授業科目	認定単位数
CGエンジニア検定 画像処理エンジニア検定 CGクリエイター検定 Webデザイナー検定 マルチメディア検定	ベーシック	イラストレーション技術 3D-CG技術 Web デザイン技術A Web デザイン技術B	2単位 ※ (左記の内1科目)
	エキスパート	CG論 マルチメディア論 CM制作 デジタルコンテンツ制作技術	4単位 ※ (左記の内2科目)
簿記検定試験（日商簿記） ※日本商工会議所主催の簿記検定以外は、単位認定の対象になりません。	2級	簿記・会計(1)	2単位
	1級	簿記・会計(1) 簿記・会計(2)	4単位
貿易実務検定	A級	貿易実務研究	2単位
	B級		
情報セキュリティマネジメント試験	合格	情報倫理論 情報処理論 マルチメディア論	6単位

※付記：ベーシック・エキスパート合わせて、4単位を超えて単位認定することはできません。



外国語検定（英語コミュニケーション、〇〇語、〇〇語会話）について

例えば、「英語コミュニケーションA(1)(2)」が卒業要件上必修科目と設定されている学科に所属している学生が「外国語検定（英語コミュニケーションA）」を単位認定された場合、「英語コミュニケーションA(1)(2)」の単位を修得しなくても、当該科目の卒業要件を充たしたとみなされます。

ただし、「英語コミュニケーションA(1)(2)」と「外国語検定（英語コミュニケーションA）」は別科目です。「外国語検定（英語コミュニケーションA）」を単位認定された場合でも「英語コミュニケーションA(1)(2)」を履修することができますし、「英語コミュニケーションA(1)(2)」を修得した後に「外国語検定（英語コミュニケーションA）」を認定することもできます。両方の科目を単位修得、単位認定された場合には、「外国語検定（英語コミュニケーションA）」は自由履修の単位としてみなされます。英語以外の外国語教育科目についても同様です。

外国人留学生に適用

試験の種類	成績区分	認定授業科目	認定単位数
日本語能力試験	N 1	日本語211 日本語212 日本語213 日本語214 日本語215 日本語221 日本語222 日本語223 日本語224 日本語225	10単位

1 学籍異動について

学生の身分に関する異動（学籍異動）には、休学、復学、退学、再入学、除籍があり、事情および必要に応じて願い出ることができます。いずれの場合にも、教授会の承認が必要となるので、事前にアドバイザー教員等とよく相談して進めるようにしてください。



(1) 休学

病気またはその他のやむをえない理由により、修学困難な期間が2カ月以上となるような場合は、休学を願い出ることができます。休学期間は半期または1年間です。休学を願い出の場合は、保証人連署の上で、本学所定の休学願を提出してください。休学願の提出期限は、授業開始11週間以内です。

参考 Reference

◆休学に関する参考・注意

- ① 入学初年次の前期については、その理由が病気又は留学の場合を除き休学は許可されません。
- ② 休学期間中は、授業料等の学納金に代えて在籍料を納付してください。授業開始8週間以内に休学を願い出た場合の在籍料は、半期50,000円です。また、授業開始8週間を経た後に休学を願い出た場合の当該学期の在籍料は、授業料の半額相当額です。
- ③ 休学の理由が病気の場合は、医師の診断書を添えてください。
- ④ 休学は、1年以上にわたることができません。ただし、特別な事情がある場合は、引き続き許可されることがあります。
- ⑤ 休学期間は、通算して4年（薬学科は6年）を超えることはできません。
- ⑥ 休学期間は、在学期間に含まれません。

(2) 復学

休学が終了した場合（休学期間中に休学の理由が解消した場合を含む）は、保証人連署の上で、本学所定の復学願を提出してください。

参考 Reference

◆復学に関する参考・注意

病気による休学の場合は、復学可能であることを証明する医師の診断書を添えてください。

(3) 退学

病気またはその他のやむをえない理由により退学を願い出る場合は、保証人連署の上で、本学所定の退学願を提出してください。

参考 Reference

◆退学に関する参考・注意

- ① 納付済みの授業料等の学納金は、事情の如何にかかわらず返却されませんので、注意してください。
- ② 退学年月日は、原則として授業料等納入期の終了の日となります。ただし、授業料等納入済みの学期の途中で退学する場合は、この限りではありません。

(4) 再入学

いったん本学を退学したものの、再び本学での修学を希望する場合は、再入学を願い出ることができます。再入学を願い出る場合は、保証人連署の上で、本学所定の再入学願を履修支援センターに提出してください。再入学についての詳細は履修支援センターに問い合わせてください。

(5) 除籍

次のいずれかに該当した者は、除籍することがあります。

- ① 在学期間が8年（ただし、薬学科生は12年）を超えた者
- ② 通算して4年間（ただし、薬学科生は6年間）休学したにもかかわらず、なお復学できない者
- ③ 授業料等の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- ④ 長期間にわたって行方不明の者
- ⑤ 在学中に死亡した者

参考 Reference

留学の場合は…

本学学生留学規程に基づく留学（交換留学、派遣留学、認定留学、国内留学）が許可された学生の留学期間中の学籍上の身分は「留学」として取り扱われます。

ただし、休学して留学する場合の学籍上の身分は、「留学」ではなく「休学」です。

留年とは…

本学における教育課程は、4年間（薬学科は6年間）の在学期間で修了するようになっています。在学期間は最長8年（薬学科は12年）と決められていますが、4年（薬学科は6年）を超えて在学する場合、学籍上「留年」として取り扱われます。

また、薬学科、看護学科には進級制限という制度があり、進級ができない場合も学籍上「留年」として取り扱われます。（記録や証明書等の発行書類には「留年」は記載されません。）

1

事務取扱い時間について

事務の取り扱い時間は、次のとおりです。必ず時間を守ってください。
電話・メールでの問い合わせは原則として受け付けていません。



午前9時より午後4時45分

土曜日

大学の
休業日

原則として取り扱いはしません

2

学生ポータルサイト (K-PORT) による伝達・連絡について

履修支援センターからの通知・連絡は、原則、K-PORTによって行いますので、**毎日必ず確認してください**。K-PORTへは大学ホームページ (<http://www.kinjo-u.ac.jp/>) のメニュー「在学生の方」からアクセスしてください。K-PORTでは個人に届くお知らせと、K-PORT内のLinkに掲載することでみなさんに情報をお知らせします。全体に関わる内容について（試験や在学生オリエンテーション等）はLinkに掲載します。イベントによって、イベント名のLinkがあるものとLink履修支援に掲載するものがあります。適宜、各Linkを確認してください。

また、K-PORTには連絡機能以外にも教務関係の重要な機能があります。主な機能については下記を参照してください。

● K-PORTでの連絡事項

【個人に届くお知らせ】

- ・履修科目の休講、補講、教室変更等
- ・個人向けのお知らせや呼び出し等

※個人に届くお知らせは転送設定をすることで登録したアドレスにメールが届きます。

【Link履修支援に掲載されるお知らせ等】

- ・授業に関わるお知らせ
- ・年度初めの行事予定について
- ・在学生オリエンテーションについて
- ・卒業論文、卒業制作について
- ・各種印刷物データ（履修要覧、履修要覧別冊）
- ・集中講義日程
- 等

【その他Linkに掲載されるお知らせ】

- ・試験関係
- ・施設配置図
- ・履修者数が上限に達した科目の抽選結果
- ・卒業予定者へのお知らせ
- ・卒業予定者発表
- ・進級予定者発表
- 等

● K-PORTの機能等

- ・履修登録
- ・シラバス確認
- ・成績確認
- ・時間割確認
- ・休講・補講確認
- ・時間割・教室利用検索
- ・連絡事項確認
- ・各種Link
- ・アンケート
- 等

※暴風警報発令等による休講措置など全学生に向けた重要事項は大学ホームページでお知らせします。

参考 Reference

大学からの連絡ツール／K-PORTの機能について

K-PORT以外のツールでも重要なお知らせをすることがあります。大学からの情報提供やK-PORTの機能についての詳細は、本学発行の学生ハンドブック「Printemps（プランタン）」を参照してください。

注意 Attention

K-PORTに掲載された内容についての質問等は窓口で受け付けます。電話、メールでの問い合わせには応じませんのでご注意ください。K-PORTで不具合が発生した場合、大学ホームページでお知らせします。K-PORT及び大学ホームページ「在学生の方」を確認しなかったことによる不利益や公示されたことに対する責任を免れることはできませんので、必ず確認してください。

3 諸届、願出について

諸届、願出等の提出期限が決められているものは、必ず期限内に提出しなければなりません。

注意 Attention

提出の遅れたものについては、履修支援センターは一切受理しませんので、注意してください。

4 証明書等の発行について

欠席理由証明書、学外実習等出席証明書を除く証明書等の申込・発行については、「Printemps」を参照してください。

「Printemps」記載の証明書に係る窓口（申込み・受取り）は学生生活支援センターです。

金城学院大学 履修規程

（根拠）

第1条 この規程は、金城学院大学学則第13条に定めるところに従い、授業科目の履修方法を定める。
（授業科目の履修上の区分等）

第2条 共通教育科目を、履修上の区分として、別記1に示す領域にしたがったテーマ又は科目群に分ける。

2 専門教育科目を、履修上の区分として、共通科目、基礎科目、展開科目、演習科目、卒業論文及び資格関連科目に分ける。ただし、学科により、この区分が異なることがある。

3 学科により、専門教育科目に履修上のコースを置くことがある。

（共通教育科目の履修方法）

第3条 共通教育科目の卒業要件単位の修得方法は、別記2に示すとおりとする。

（専門教育科目の履修方法）

第4条 専門教育科目の卒業要件単位の修得方法は、当該学科が専門教育課程表において示すところによる。

（自由履修）

第5条 自由履修とは、卒業要件総単位数と、共通教育科目及び専門教育科目における卒業要件上の必要最低修得単位数の合計との差を充足する履修形態をいう。

2 自由履修に充当できる単位は、次の各号にかかげる科目の単位とする。

- (1) 共通教育科目において卒業要件上の必要最低修得単位数を超えて修得した単位
- (2) 専門教育科目において卒業要件上の必要最低修得単位数を超えて修得した単位
- (3) 各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等の単位
- (4) 日本語科目及び日本事情に関する科目の単位

（各種資格に係る授業科目の履修方法）

第6条 各種資格取得のために必要な授業科目及び単位の修得方法は、当該資格課程を設置する学科が、当該取得資格の課程表において示すところによる。ただし、教員の免許状授与の所要資格を得るために必要な授業科目及び単位の修得方法は、金城学院大学（以下「本学」という。）が示す教職課程履修に係る教育課程表に基づく。

（副専攻）

第7条 金城学院大学学則第12条の2第2項の規定に基づき、副専攻（実践ビジネス英語）プログラムを置く。

2 副専攻（実践ビジネス英語）プログラムの修了要件については、別に定める。

（履修者数による閉講）

第8条 開講した授業科目でも、履修者数によっては閉講することがある。

（他学部他学科履修）

第9条 2年次以上の学生は、他の学部学科が開講する専門教育科目の授業科目を履修することができる。ただし、他学部他学科履修の対象外授業科目を除く。

（本学における履修とみなす学修の成果に係る外部の公的試験）

第10条 金城学院大学学則第16条の規定に基づき、本学における授業科目の履修とみなし単位を認定する大学以外の教育施設等における学修のうち、学修の成果を単位認定の対象とする外部の公的試験は、別記3に示すとおりとする。

(履修登録に関する基本原則)

第11条 履修登録とは、学生自身が履修すべき授業科目を所定のルールと手続きにしたがって、履修登録期間に届け出る行為をいう。ただし、履修登録期間以外に届け出る授業科目については、別に定める。

2 履修未登録の授業科目は履修できない。また、履修登録の内容に誤りがあった授業科目に係る成績及び単位は認定されない。

3 履修登録期限後の履修登録内容の変更は、取り消しを含め原則としてこれを認めない。

(履修登録単位数の上限)

第12条 1年次における履修登録単位数の上限を原則49単位とする。ただし、通常授業期間外に実施する実習・研修・体験等を主とした科目で別に定める科目は、履修上の上限単位に含めない。また、共通教育科目におけるⅠ 金城アイデンティティ科目の選択科目とⅢ 金城展開科目の⑦教養科目とを合計した履修登録単位数の上限は、前後期とも各4単位とする。

2 2～4年次（薬学科は2～6年次）における履修登録単位数の上限を原則49単位とする。ただし、次の各号に掲げる科目は、履修上の上限単位に含めない。

(1) 各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等

(2) 再履修科目

(3) 通常授業期間外に実施する実習・研修・体験等を主とした科目で別に定める科目

3 第1項、第2項の定めにかかわらず、学科の事情により、上限単位数及び履修上の上限単位に含めない科目を変更することがある。

4 編入学生・転学部転学科生に対しては、3年次以降の履修登録単位数の上限は設定しない。

5 各年度末におけるGPAが通算3.4以上の学生に対しては、翌年度の履修登録単位数の上限は設定しない。

(履修制限)

第13条 一部の授業科目については、その内容又は授業教室の都合等の理由により、履修者数を制限することがある。

2 あらかじめ特定の授業科目を修得していることを必要とする授業科目については、その特定授業科目が未履修の学生の履修を制限することがある。

(履修禁止授業科目)

第14条 共通教育科目及び各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等の一部の授業科目については、特定学科の学生の履修を認めないことがある。また、専門教育科目の一部の授業科目については、当該学科の事情により他の学部学科又は特定学科の学生の履修を認めないことがある。

2 開講が上級年次に配当されている授業科目の履修は、これを認めない。なお、他学科等と合同で開講される授業科目についての配当基準年次は、当該学生が所属する学科が配当した開講年次とする。

3 既修得授業科目の再履修を認めない。また、同一名称授業科目又は同一授業内容授業科目の重複履修を認めない。

4 同一名称授業科目が自学科で開講されている場合は、他学科開講の同一名称授業科目の履修を認めない。

(卒業要件上の履修付加条件)

第15条 生活環境学部食環境栄養学科を卒業するためには、管理栄養士受験資格を得るために必要な授業科目及び単位を修得することを原則とする。

2 人間科学部現代子ども教育学科を卒業するためには、幼稚園教諭一種免許状または小学校教諭一種免許状授与の所要資格を得るために必要な授業科目及び単位を修得することを原則とする。

(進級制限)

第15条の2 進級制限を設けることがある。進級制限に関する基準は、進級制限を行う学部がこれを定める。

(外国人留学生に関する履修方法の特例)

第16条 外国人留学生に関する履修方法の特例は次のとおりとする。

- (1) 外国人留学生が修得した日本語科目の単位は、共通教育科目における英語教育科目又は外国語教育科目の単位とすることができる。
- (2) 外国人留学生が修得した日本事情に関する科目の単位は、共通教育科目における教養科目の単位とすることができる。

(履修細則)

第17条 この規程に定めるもののほか、授業科目の履修方法に係る細則は、これを別に定める。

(規程の改廃)

第18条 この規程の改廃は、大学評議会の審議及び議決に基づき、これを行う。

附 則 (2022年2月9日大学評議会)

この規程は、2022年4月1日から施行する。ただし、第12条については、2022年度入学者から適用し、2021年度以前の入学者の取扱いは、これを従前のとおりとする。

別記 1 共通教育科目の履修上の区分

領 域	テ ー マ
Ⅰ 金城アイデンティティ科目	①キリスト教
	②女性
	③国際理解
Ⅱ 金城コア科目	④英語教育科目
	⑤外国語教育科目
	⑥キャリア開発教育科目
Ⅲ 金城展開科目	⑦教養科目
	⑧情報教育科目
	⑨S & E 教育科目
	⑩学生プロジェクト科目
	⑪海外研修科目
	⑫実践ビジネス英語科目

別記 2 共通教育科目の卒業要件単位数及び履修方法

文学部日本語日本文化学科、生活環境学部生活マネジメント学科、生活環境学部環境デザイン学科、
国際情報学部国際情報学科グローバルスタディーズコース、
国際情報学部国際情報学科メディアスタディーズコース、
人間科学部現代子ども教育学科、人間科学部多元心理学科、人間科学部コミュニティ福祉学科

	テーマ	単位数	履 修 方 法
必修科目	①キリスト教	4	「キリスト教学(1)、(2)」の2科目を履修
	④英語教育科目	8	「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」の8科目を履修
	⑥キャリア開発教育科目	4	「キャリア開発A、B」、「女性みらい」の3科目を履修
	⑧情報教育科目	2	「情報リテラシー」を履修
	⑨S & E 教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」を履修
	計	19	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	2	「キリスト教学(1)、(2)」を除く
	⑦教養科目	4	
	⑨S & E 教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く
	計	7	
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	4	「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く
	④英語教育科目		「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」を除く
	⑤外国語教育科目		
	⑥キャリア開発教育科目		「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く
	⑦教養科目		選択必修Aでの履修科目を除く
	⑧情報教育科目		「情報リテラシー」を除く
	⑨S & E 教育科目		「スポーツ・アンド・エクササイズH」
	⑩学生プロジェクト科目		
	⑪海外研修科目		
	選択必修計	11	
	合 計	30	

文学部英語英米文化学科

	テーマ	単位数	履 修 方 法
必修科目	①キリスト教	4	「キリスト教学(1)、(2)」の2科目を履修
	⑥キャリア開発教育科目	4	「キャリア開発A、B」、「女性みらい」の3科目を履修
	⑧情報教育科目	2	「情報リテラシー」を履修
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」を履修
	計	11	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	2	「キリスト教学(1)、(2)」を除く
	⑤外国語教育科目	8	一言語選択
	⑦教養科目	4	
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く
	計	15	
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	4	「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く
	⑤外国語教育科目		選択必修Aでの履修科目を除く
	⑥キャリア開発教育科目		「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く
	⑦教養科目		選択必修Aでの履修科目を除く
	⑧情報教育科目		「情報リテラシー」を除く
	⑨S & E教育科目		「スポーツ・アンド・エクササイズH」
	⑩学生プロジェクト科目		
	⑪海外研修科目単位数		
	選択必修計	19	
	合 計	30	

文学部外国語コミュニケーション学科

	テーマ	単位数	履 修 方 法
必修科目	①キリスト教	4	「キリスト教学(1)、(2)」の2科目を履修
	⑥キャリア開発教育科目	4	「キャリア開発A、B」、「女性みらい」の3科目を履修
	⑧情報教育科目	2	「情報リテラシー」を履修
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」を履修
	計	11	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	2	「キリスト教学(1)、(2)」を除く
	⑦教養科目	4	
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く
	計	7	
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	4	「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く
	⑤外国語教育科目		ドイツ語(1)～(4)、ドイツ語会話(1)～(4)、フランス語(1)～(4)、フランス語会話(1)～(4)、中国語(1)～(4)、中国語会話(1)～(4)を除く
	⑥キャリア開発教育科目		「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く
	⑦教養科目		選択必修Aでの履修科目を除く
	⑧情報教育科目		「情報リテラシー」を除く
	⑨S & E教育科目		「スポーツ・アンド・エクササイズH」
	⑩学生プロジェクト科目		
	選択必修計	11	
	合 計	22	

文学部音楽芸術学科

	テーマ	単位数	履 修 方 法
必修科目	①キリスト教	4	「キリスト教学(1)、(2)」の2科目を履修
	④英語教育科目	8	「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」の8科目を履修
	⑥キャリア開発教育科目	4	「キャリア開発A、B」、「女性みらい」の3科目を履修
	⑧情報教育科目	2	「情報リテラシー」を履修
	⑨S & E 教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」を履修
	計	19	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	2	「キリスト教学(1)、(2)」を除く
	⑦教養科目	4	
	⑨S & E 教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く
	計	7	
	①キリスト教 ②女性 ③国際理解 ④英語教育科目 ⑤外国語教育科目 ⑥キャリア開発教育科目 ⑦教養科目 ⑧情報教育科目 ⑨S & E 教育科目 ⑩学生プロジェクト科目 ⑪海外研修科目単位数	2	「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く 「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」を除く 「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く 選択必修Aでの履修科目を除く 「情報リテラシー」を除く 「スポーツ・アンド・エクササイズH」
選択必修計		9	
合 計		28	

生活環境学部食環境栄養学科

	テーマ	単位数	履 修 方 法
必修科目	①キリスト教	4	「キリスト教学(1)、(2)」の2科目を履修
	④英語教育科目	8	「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」の8科目を履修
	⑥キャリア開発教育科目	2	「キャリア開発B」、「女性みらい」の2科目を履修
	⑧情報教育科目	2	「情報リテラシー」を履修
	⑨S & E 教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」を履修
	計	17	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	2	「キリスト教学(1)、(2)」を除く
	⑦教養科目	4	
	⑨S & E 教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く
	計	7	
	①キリスト教 ②女性 ③国際理解 ④英語教育科目 ⑤外国語教育科目 ⑥キャリア開発教育科目 ⑦教養科目 ⑧情報教育科目 ⑨S & E 教育科目 ⑩学生プロジェクト科目 ⑪海外研修科目単位数	6	「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く 「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」を除く 「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く 選択必修Aでの履修科目を除く 「情報リテラシー」を除く 「スポーツ・アンド・エクササイズH」
選択必修計		13	
合 計		30	

薬学部薬学科

	テーマ	単位数	履 修 方 法
必修科目	①キリスト教	4	「キリスト教学(1)、(2)」の2科目を履修
	④英語教育科目	8	「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」の8科目を履修
	⑥キャリア開発教育科目	1	「女性みらい」を履修
	⑦教養科目	6	「倫理学A」、「心理学A」、「法学」の3科目を履修
	⑧情報教育科目	4	「情報リテラシー」、「IT活用H」の2科目を履修
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」を履修
	計	24	
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	2	「キリスト教学(1)、(2)」を除く
	⑦教養科目	4	「倫理学A」、「心理学A」、「法学」を除く
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く
	計	7	
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	5	「キリスト教学(1)、(2)」、選択必修Aでの履修科目を除く
	④英語教育科目		「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」を除く
	⑤外国語教育科目		
	⑥キャリア開発教育科目		「キャリア開発A、B」、「女性みらい」を除く
	⑦教養科目		「倫理学A」、「心理学A」、「法学」、選択必修Aでの履修科目を除く
	⑧情報教育科目		「情報リテラシー」、「IT活用H」を除く
	⑨S & E教育科目		「スポーツ・アンド・エクササイズH」
	⑩学生プロジェクト科目		
	⑪海外研修科目単位数		
	選択必修計	12	
合 計		36	

看護学部看護学科

	テーマ	単位数	履 修 方 法
必修科目	①キリスト教	4	「キリスト教学(1)、(2)」の2科目を履修
	④英語教育科目	2	「英語コミュニケーションA(1)、(2)」の2科目を履修
	⑥キャリア開発教育科目	3	「キャリア開発A」、「女性みらい」の2科目を履修
	⑦教養科目	2	「統計科学」を履修
	⑧情報教育科目	2	「情報リテラシー」を履修
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」を履修
	計	14	
選択必修A	③国際理解	2	「多文化共生社会」もしくは「異文化コミュニケーション」を履修
	⑨S & E教育科目	1	「スポーツ・アンド・エクササイズ講義」、「スポーツ・アンド・エクササイズH」を除く
	計	3	
選択必修B	①キリスト教	1	「キリスト教学(1)、(2)」を除く
	②女性		
	③国際理解		選択必修Aでの履修科目を除く
	④英語教育科目		「英語コミュニケーションA(1)～D(2)」を除く
	⑤外国語教育科目		
	⑥キャリア開発教育科目		「キャリア開発A、B、G(1)、(2)」、「女性みらい」を除く
	⑦教養科目		「統計科学」を除く
	⑧情報教育科目		「情報リテラシー」を除く
	⑨S & E教育科目		「スポーツ・アンド・エクササイズH」
	⑩学生プロジェクト科目		
	⑪海外研修科目		
選択必修計		4	
合 計		18	

別記3 学修の成果を単位認定の対象とする外部の公的試験

実用英語技能検定試験（英検）	二級建築士
TOEFL	基本情報技術者試験
TOEIC L&R	色彩検定
国際連合公用語・英語検定試験（国連英検）	マルチメディア検定
ケンブリッジ大学英語能力検定試験	CGエンジニア検定
ドイツ語技能検定試験	CGクリエイター検定
実用フランス語技能検定試験	画像処理エンジニア検定
フランス語資格試験（DELF、DALF）	Webデザイナー検定
中国語検定試験	簿記検定試験
スペイン語技能検定試験	貿易実務検定
韓国語能力試験	日本語能力試験
ハングル能力検定試験	ITパスポート試験
通関士試験	世界遺産検定
総合旅行業務取扱管理者試験	情報セキュリティマネジメント試験

1 ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシーとは金城学院大学の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学修成果の目標となるものです。

〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 情報を適正に収集・分析し、色々な角度から論理的に考えることで問題を発見し、解決を図ることができる。
- (3) 日本語をはじめ外国語や種々の表現方法を修得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観により、隣人のため社会のために主体的に行動し、貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

〔2〕生活環境学部生活マネジメント学科

生活マネジメント学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、消費生活・家族福祉・情報活用に関する専門的知識・技能を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と消費生活・家族福祉・情報活用に関する深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 消費生活・家族福祉・情報活用についての情報を適正に収集・分析し、自らの生活や社会において活用するために、さまざまな角度から論理的に考えることで問題を発見し、解決を図ることができる。
- (3) 消費生活・家族福祉・情報活用に関する諸課題について、他者の立場や見解を理解・尊重するとともに、科学的な基盤に立ちながら自らの考えを適切に表現し伝えることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働し、真に豊かな生活の実現という目標を目指して行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観により、隣人のため社会のために主体的に行動し、生活者の視点から社会に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、消費生活・家族福祉・情報活用に関する新たな課題に取り組むことができる。

〔3〕生活環境学部環境デザイン学科

環境デザイン学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、生活環境（衣環境や住環境）に関する専門的知識・技能・デザイン力を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と、衣環境もしくは住環境に関する深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 情報を適正に収集・分析し、さまざまな角度から論理的に考えることで問題を発見し、その問題の構造を学問的に究明し、問題解決を図るための具体的方策を提案することができる。
- (3) 異なった立場の人々の意見を傾聴・理解し、調整しながら、問題解決へと向かうことができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観、加えてそれぞれの分野における職業倫理に基づき、隣人のため社会のために主体的に行動し、貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・デザイン力・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

〔4〕生活環境学部食環境栄養学科

食環境栄養学科では、大学のディプロマ・ポリシーに基づき、食と健康に関する専門的知識・技能を修得し、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる学生に学位を授与します。

1. 知識・理解

- (1) 多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と食と健康に関する深い専門的知識を身につけている。

2. 汎用的技能

- (2) 食と健康の問題に取り組む基礎能力を身につけ、情報を適正に取り扱い、さまざまな角度から問題点を論理的に考えて解決を図ることができる。
- (3) 他者の立場や見解を理解・尊重し、科学的な基盤に立ちながら、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。

3. 態度・志向性

- (4) 自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
- (5) 福音主義キリスト教に基づいた倫理観により、隣人のため社会のために主体的に行動し、公衆栄養に携わることによって社会に貢献することができる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

- (6) これまでに修得した知識・技能・態度等を総合的に活用して、新たな課題に取り組むことができる。

2 カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・ポリシーとはディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針です。

〔1〕金城学院大学

金城学院大学は、福音主義のキリスト教に基づき、学校教育法にのっとり、女性に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、もって真理と正義を愛し、世界の平和と人類の福祉に貢献する人物を養成することを目的としています。教育スローガン「強く、優しく。」は、主体性を持ってものごとを成し遂げ、学んだ広い知識を人生の場で生かせる「強さ」、まわりの人々の気持ちを理解し、協働していく「優しさ」を兼ね備えることを意味します。

本学では、上記の建学の精神を踏まえた教育目標の実現を目指し、学生が卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実験、実習および実技を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・技能、汎用的技能・能力、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。共通教育科目は、建学の精神に基づく「金城アイデンティティ科目」、本学の教育の核である英語教育及び外国語教育、キャリア教育からなる「金城コア科目」、幅広い教養を身につける「金城展開科目」の下、授業を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、学科の専門性を踏まえた種々の表現方法のスキル向上、多角的に考える力の向上を図ります。

- (3) 専門教育科目では、学生が専門分野の知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。専門分野の体系性に基づき、適切な内容の授業を編成します。
- (4) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に卒業研究等を実施します。

2. 教育方法

- (5) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (6) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (7) 実験・実習および実技科目においては、知識や技能を身につけ、思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (8) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (9) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

3. 評価

- (10) 本学では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を

確実に身につけられるように、大学レベル、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。

- (11) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、達成すべき質的水準及び具体的な実施方法などに関する学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を別に定めます。

〔2〕生活環境学部生活マネジメント学科

生活マネジメント学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目およびその他必要とする科目を順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・技能、汎用的技能・能力、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。共通教育科目は、建学の精神に基づく「金城アイデンティティ科目」、本学の教育の核である英語教育および外国語教育、キャリア教育からなる「金城コア科目」、幅広い教養を身につける「金城展開科目」の下、授業を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、洞察力・論理的思考力・批判的思考力・多角的に考える力、さらにプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など大学生として必要な基本的能力の向上を図ります。また学科の専門性を踏まえたレポート作成の勉学を通して授業態度と自己学修の方法を修得します。

- (3) 専門教育科目では、学生が消費生活・家族福祉・情報活用に関する専門分野の知識・技能を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。
- (4) 専門分野の体系に基づき、「基礎科目」、「展開科目」を設置して、生活の課題解決に必要な専門知識・技能を修得する内容の授業を編成します。また学生が身につけた知識・技術を活用し実践力を修得するために各学年に研究演習科目を設置します。
- (5) 学科の専門性を生かした資格と職業の履修モデルとして、「ファイナンシャルプランナー養成コース」と「教員・公務員養成コース」の2コースを設置し、それぞれに「コース必修科目」、「コース選択科目」、また「コース共通科目」を編成します。
- (6) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に卒業研究を実施します。

2. 教育方法

- (7) 講義科目においては履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (8) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (9) 実習科目においては、知識や技能を身につけ、思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (10) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (11) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

3. 評価

- (12) 本学では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を確実に身につけられるように、大学レベル、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。
- (13) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、達成すべき質的水準および具体的な実施方法などに関する学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を別に定めます。

〔3〕生活環境学部環境デザイン学科

環境デザイン学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目およびその他必要とする科目を、順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系的性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について次のように定めます。

1. 教育内容

(1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・理解、汎用的技能、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。具体的には「金城アイデンティティ科目」、「金城コア科目」、「金城展開科目」の区分に基づいた科目を編成します。

(2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。

共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。

専門教育科目における初年次教育では、学科での学びに対する動機づけを図る科目、大学での学びのための基礎力を身につける演習、デザイン基礎力を身につける実習・演習を設け、専門的知識と技能およびデザイン力を身につける環境デザイン学科独特の学びへの理解を深め、円滑な移行を図ります。

(3) 専門教育科目では、学生が生活者の視点で豊かな生活環境（衣環境や住環境）とは何かについて分析・考察し、学問的に究明するための知識・技能・デザイン力・態度を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。

(4) 生活環境学（衣環境や住環境）の体系的に基づき、「学科基礎科目」「展開科目」を設置して、それぞれの専門分野で幅広く活用できる応用的な知識・技能・デザイン力を修得できるよう授業を編成します。

(5) 多様な文化、異なった立場の隣人や社会のために貢献できるようインクルーシブデザインの考え方を取り入れます。また「研修科目」を編成し、多様な文化、環境に根ざした国内外の優れたデザイン作品、その周辺環境や人々に触れ、豊かな生活環境について理解を深めるための機会を設けます。

(6) 専門的な知識や技能を活用しながら、社会で活躍できる人材を育成するために、資格取得を支援する科目を設置します。

(7) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように、卒業年次に卒業研究に関する科目を設置します。その成果は、発表会・展示会を通して、学内外の人々に発信します。

2. 教育方法

(8) 講義科目においては、履修者上限人数を原則120名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。必修・コース必修・資格必修の実験・実習科目では、それぞれ適正な人数で授業を行います。

(9) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。

(10) 実験・実習科目においては、知識や技能、また科目によってはさらにデザイン力を身につけ、思考力と実践力を養うプログラムを編成して実施します。

(11) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。

(12) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

3. 評価

(13) 本学では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を確実に身につけられるように、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。

(14) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するために、達成すべき質的水準および具体的な実施方法などに関する学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を別に定め、多面的な評価を行います。

〔4〕生活環境学部食環境栄養学科

食環境栄養学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるように、共通教育科目、専門教育科目およびその他必要とする科目を順次性を考慮して体系的に配置し、講義、演習、実験・実習を適切に組み合わせたカリキュラムを編成します。課程表の他に、カリキュラムの体系性を示すカリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー、科目間の関連や科目内容のレベルを表現する科目分類番号制を採用し、カリキュラムの構造を分かりやすく示します。

教育内容、教育方法、評価について以下のように定めます。

1. 教育内容

- (1) 共通教育科目では、学生が福音主義のキリスト教に基づき、豊かな人間性を支える知識・技能、汎用的技能、態度・志向性の基礎を身につけられるようにします。共通教育科目は、建学の精神に基づく「金城アイデンティティ科目」、本学の教育の核である英語教育および外国語教育、キャリア教育からなる「金城コア科目」、幅広い教養を身につける「金城展開科目」の下、授業を編成します。
- (2) 初年次教育では、学生が効果的に大学で学修し順調な学生生活を送るために、高校から大学の学びに円滑に移行できるようにします。
共通教育科目における初年次教育では、学部学科の枠を超えて学問や大学教育全般に対する動機づけを図ります。
専門教育科目における初年次教育では、高校から大学への橋渡しとなる「基礎科目」「演習科目」を編成し、基本的知識の修得および協調性・プレゼンテーション能力・論理的思考力の向上を図ります。
- (3) 専門教育科目では、学生が食と健康の知識・技能・態度を身につけることを通じて、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を獲得できるようにします。
- (4) 専門分野の体系性に基づき、「基礎科目」「展開科目」を設置して、管理栄養士として社会で幅広く活用できる応用的な知識を修得できるよう授業を編成します。
- (5) 学生が食と健康を総合的に管理する能力を身につけるために「専門基礎分野科目」と「専門分野科目」を系統立てて設置し、講義科目から実験・実習科目へと科目の内容を発展させて実践的な教育を行います。
- (6) 学生が健康の維持・増進や疾病予防の現代的課題を科学的に究明するように、様々な課題に取り組む「研究演習系科目群」を編成します。
- (7) 学生が専門教育科目を中心とする教育内容を総合化し活用できるように卒業年次に卒業研究等を実施します。

2. 教育方法

- (8) 講義科目、特に基礎科目および展開科目においては、履修者上限人数を原則40名とし、アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (9) 演習科目においては、少人数できめ細やかな指導を実践し、ディープ・アクティブ・ラーニング等を取り入れた教育方法を実施します。
- (10) 実験・実習科目においては知識や技能を身につけ、思考力を養うプログラムを編成して実施します。
- (11) すべての授業科目において授業時間外学修を課し、学生の学修成果を高めるようなフィードバックに努めます。
- (12) アドバイザー制度により、学生情報を活用しながらアドバイザー教員が学生一人ひとりと面談し、学修支援をはじめ学生生活全般に関する助言を行います。

3. 評価

- (13) 本学科では、学生がディプロマ・ポリシーに掲げられた資質・能力およびこれらの総合的な活用力を確実に身につけられるように、学科レベル、学生レベルで評価を実施します。
- (14) 学修成果の評価の公平性と透明性を確保するため、達成すべき質的水準および具体的な実施方法などに関する学修成果の評価方針（アセスメント・ポリシー）を別に定めます。

1 卒業要件単位数（詳細）

			生活マネジメント		環境デザイン		食環境 栄養
			ファイナンシャル プランナー 養成コース	教員・公務員 養成コース	アパレル・ ファッション コース	空間デザイン コース	
卒業要件			128	128	128	128	128
共通教育科目			30	30	30	30	30
必修	①キリスト教	キリスト教学(1)	2	2	2	2	2
		キリスト教学(2)	2	2	2	2	2
	④英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションA(2)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションB(1)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションB(2)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションC(1)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションC(2)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションD(1)	1	1	1	1	1
		英語コミュニケーションD(2)	1	1	1	1	1
	⑥キャリア開発教育科目	キャリア開発A	2	2	2	2	—
		キャリア開発B	1	1	1	1	1
		女性みらい	1	1	1	1	1
	⑧情報教育科目	情報リテラシー	2	2	2	2	2
	⑨S＆E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズ講義	1	1	1	1	1
選択必修A	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	①～③の3テーマから1科目選択 (キリスト教学(1)、キリスト教学(2)を除く)	2	2	2	2	2
	⑦教養科目		4	4	4	4	4
	⑨S＆E教育科目から1科目選択（スポーツ・アンド・エクササイズ講義、 スポーツ・アンド・エクササイズHを除く）		1	1	1	1	1
選択必修B	①キリスト教 ②女性 ③国際理解	(キリスト教学(1)、キリスト教学(2)、選択 必修Aでの履修科目を除く)	4	4	4	4	6
	④英語教育科目（英語コミュニケーションA～Dを除く）						
	⑤外国語教育科目						
	⑥キャリア開発教育科目 （キャリア開発A、キャリア開発B、女性みらいを除く）						
	⑦教養科目（選択必修Aでの履修科目を除く）						
	⑧情報教育科目（情報リテラシーを除く）						
	⑨S＆E教育科目（スポーツ・アンド・エクササイズH）						
	⑩学生プロジェクト科目						
	⑪海外研修科目						
専門教育科目			70	70	70	70	95
学科基礎科目			30	30	19	7	10
展開科目			34	34	41	39	82
研究演習科目			5	5	4	4	3
自由選択（上記以外の専門教育科目）			1	1	6	20	—
自由履修			28	28	28	28	3

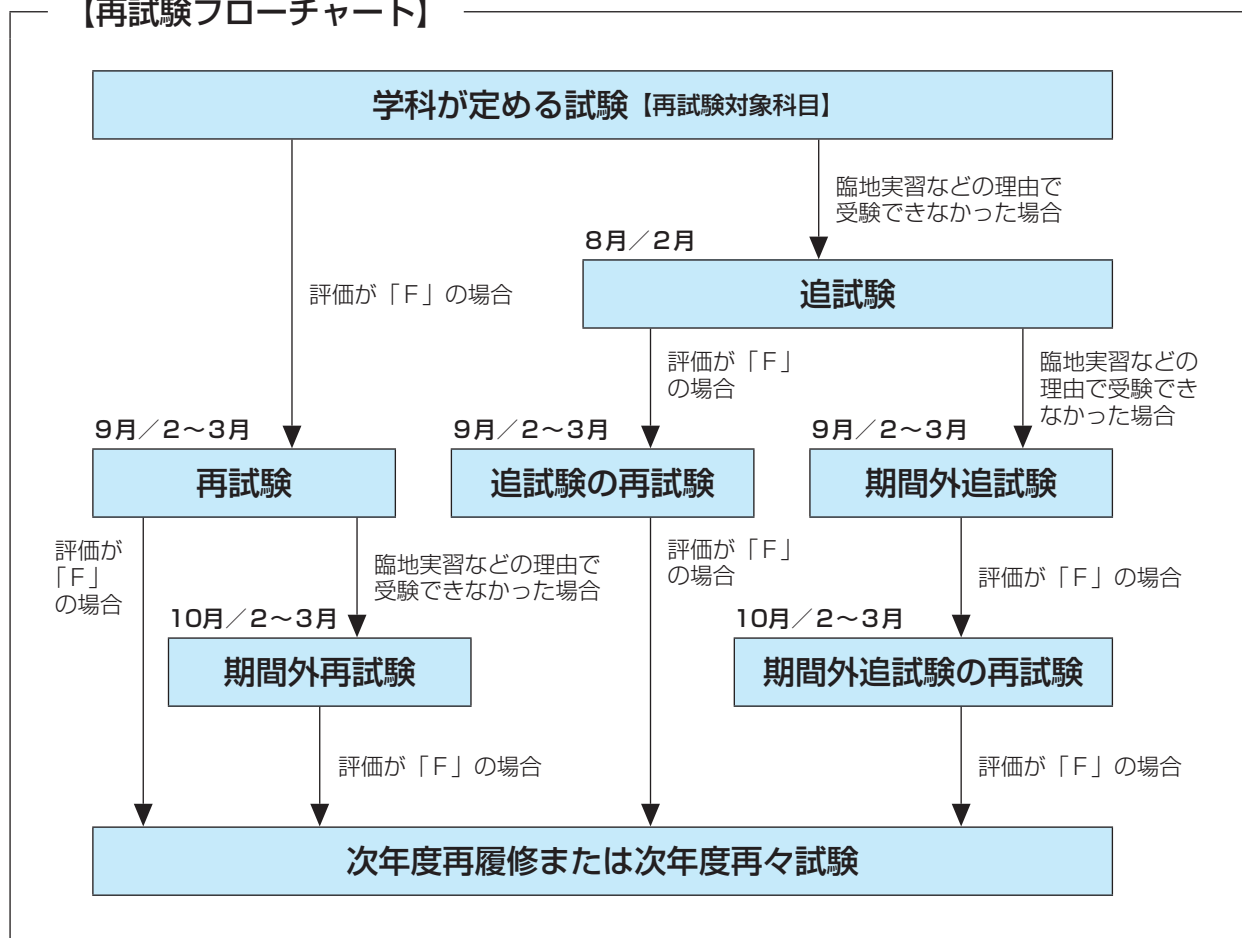
1 食環境栄養学科 再試験・追試験制度について

食環境栄養学科では、管理栄養士課程に関わる必修科目（対象科目は、履修要覧P. 学部61を参照。ただし「栄養総合演習」と「臨地実習」を除く）について、学科が定める試験で評価が「F」の学生を対象に、再試験を実施します。また追試験においても、同様に再試験を実施します。

再試験等の日程は教務関係事項スケジュール表（履修要覧別冊）で確認してください。

また、「管理栄養士特論A」と「管理栄養士特論B」は、管理栄養士課程に関わる必修科目ではありませんが、再試験を実施します。詳細については、授業内で案内します。

【再試験フローチャート】



★再試験対象者・再試験時間割：K-PORTで発表

★再試験の評価が「F」の場合：次年度再履修（次年度の再履修が不可能な場合、再試験に対する再試験（再々試験）の受験を認める。）

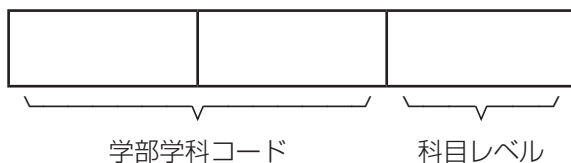
★再試験（追試験の再試験、期間外追試験、期間外再試験を含む）受験のための手続き（試験料納入方法を含む）：K-PORTで通知

★再試験料：3,000円／1科目

★卒業年度に限り、前期再試験の評価で「F」であった科目：4年次対象再試験制度の対象（4年次対象再試験についてはP. 大学13参照）

1 科目分類番号について

科目分類番号は数字3桁でカリキュラムにおける当該科目の位置づけを示したものです。履修の際の参考にしてください。



学部学科コード

共通教育：10

生活環境学部共通：30

生活マネジメント学科：33

環境デザイン学科：34

食環境栄養学科：35

科目レベル

入門：1 科目内容レベルが導入もしくは入門に位置づけられる科目

基礎：2 主に基礎として学ぶべき科目等

発展：3 応用や発展の内容を含む科目等

※科目分類番号と開講基準年次は違います。例えば3桁目のレベルが3に設定されていても、開講基準年次が1年次に設定されていれば1年生でも履修できます。反対にレベルが1や2に設定されていても開講基準年次が3年次になっていれば1・2年生は履修することができません。

1 共通教育科目等 課程表

科目名の★は必修、■は選択必修

科目区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
I 金城アイデンティティ科目	①キリスト教	キリスト教 学 (1) ★	101	2			
		キリスト教 学 (2) ★	101	2			
		キリスト教 学 (3) ■	102		2		
		キリスト教 学 (4) ■	102		2		
		聖書の読み方 ■	101	2			
		現代世界とキリスト教 ■	101	2			
		医療とキリスト教精神 ■	101	2			
		福祉とキリスト教 ■	101	2			
		キリスト教文化学入門 ■	101	2			
		いのち・こころ ■	101	2			
	②女性	聖書の女性観 ■	101	2			
		歴史の中の女性 ■	101	2			
		世界の女性問題 ■	101	2			
		福祉と女性 ■	101	2			
		女性と文学 ■	101	2			
		男女共同参画社会生活マネジメント学科は履修不可 ■	101	2			
		性差の科学 ■	101	2			
	③国際理解	世界の多様な文化 ■	101	2			
		世界の社会問題 ■	101	2			
		多文化共生社会 ■	101	2			
		Topics in Comparative Culture ■	101	2			
		Topics in Contemporary Japan ■	101	2			
		異文化コミュニケーション ■	101	2			

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
II 金城コア科目	④ 英語教育科目	英語コミュニケーションA (1) ★ Speaking・Writing	101	1			
		英語コミュニケーションA (2) ★ Speaking・Writing	101	1			
		英語コミュニケーションB (1) ★ CALL・Reading	101	1			
		英語コミュニケーションB (2) ★ CALL・Reading	101	1			
		英語コミュニケーションC (1) ★ Speaking・Presentation	102		1		
		英語コミュニケーションC (2) ★ Speaking・Presentation	102		1		
		英語コミュニケーションD (1) ★ Reading・Listening	102		1		
		英語コミュニケーションD (2) ★ Reading・Listening	102		1		
		英語コミュニケーションE (1) ■ Integrated English (総合英語)	103		1		
		英語コミュニケーションE (2) ■ Integrated English (総合英語)	103		1		
		英語コミュニケーションF ■ 検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1		
		英語コミュニケーションG ■ 検定試験対策 (TOEIC L&R 対策)	103		1		
	⑤ 外国語教育科目	ド イ ツ 語 (1) ■ 初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		ド イ ツ 語 (2) ■ 初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		ド イ ツ 語 (3) ■ 初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
		ド イ ツ 語 (4) ■ 初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
		ド イ ツ 語 会 話 (1) ■ 初級1 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	101	1			
		ド イ ツ 語 会 話 (2) ■ 初級2 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	101	1			
		ド イ ツ 語 会 話 (3) ■ 初級3 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	102		1		
		ド イ ツ 語 会 話 (4) ■ 初級4 (主としてドイツ語を用いる会話の授業)	102		1		
		フ ラ ン ス 語 (1) ■ 初級1 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		フ ラ ン ス 語 (2) ■ 初級2 (主として日本語による文法・読解の授業)	101	1			
		フ ラ ン ス 語 (3) ■ 初級3 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		
		フ ラ ン ス 語 (4) ■ 初級4 (主として日本語による文法・読解の授業)	102		1		

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅱ 金城コア科目	⑤外国語教育科目	フ ラ ン ス 語 会 話 (1) ■	初級1（主としてフランス語を用いる会話の授業）	101	1		
		フ ラ ン ス 語 会 話 (2) ■	初級2（主としてフランス語を用いる会話の授業）	101	1		
		フ ラ ン ス 語 会 話 (3) ■	初級3（主としてフランス語を用いる会話の授業）	102		1	
		フ ラ ン ス 語 会 話 (4) ■	初級4（主としてフランス語を用いる会話の授業）	102		1	
		ス ペ イ ン 語 (1) ■	初級1（主として日本語による文法・読解の授業）	101	1		
		ス ペ イ ン 語 (2) ■	初級2（主として日本語による文法・読解の授業）	101	1		
		ス ペ イ ン 語 (3) ■	初級3（主として日本語による文法・読解の授業）	102		1	
		ス ペ イ ン 語 (4) ■	初級4（主として日本語による文法・読解の授業）	102		1	
		ス ペ イ ン 語 会 話 (1) ■	初級1（主としてスペイン語を用いる会話の授業）	101	1		
		ス ペ イ ン 語 会 話 (2) ■	初級2（主としてスペイン語を用いる会話の授業）	101	1		
		ス ペ イ ン 語 会 話 (3) ■	初級3（主としてスペイン語を用いる会話の授業）	102		1	
		ス ペ イ ン 語 会 話 (4) ■	初級4（主としてスペイン語を用いる会話の授業）	102		1	
		中 国 語 (1) ■	初級1（主として日本語による文法・読解の授業）	101	1		
		中 国 語 (2) ■	初級2（主として日本語による文法・読解の授業）	101	1		
		中 国 語 (3) ■	初級3（主として日本語による文法・読解の授業）	102		1	
		中 国 語 (4) ■	初級4（主として日本語による文法・読解の授業）	102		1	
		中 国 語 会 話 (1) ■	初級1（主として中国語を用いる会話の授業）	101	1		
		中 国 語 会 話 (2) ■	初級2（主として中国語を用いる会話の授業）	101	1		
		中 国 語 会 話 (3) ■	初級3（主として中国語を用いる会話の授業）	102		1	
		中 国 語 会 話 (4) ■	初級4（主として中国語を用いる会話の授業）	102		1	
		韓 国 ・ 朝 鮮 語 (1) ■	初級1（主として日本語による文法・読解の授業）	101	1		
		韓 国 ・ 朝 鮮 語 (2) ■	初級2（主として日本語による文法・読解の授業）	101	1		
		韓 国 ・ 朝 鮮 語 (3) ■	初級3（主として日本語による文法・読解の授業）	102		1	
		韓 国 ・ 朝 鮮 語 (4) ■	初級4（主として日本語による文法・読解の授業）	102		1	

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅱ 金城コア科目	⑤外国語教育科目	韓 国 ・ 朝 鮮 語 会 話 (1) ■	初級1（主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業）	101	1		
		韓 国 ・ 朝 鮮 語 会 話 (2) ■	初級2（主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業）	101	1		
		韓 国 ・ 朝 鮮 語 会 話 (3) ■	初級3（主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業）	102		1	
		韓 国 ・ 朝 鮮 語 会 話 (4) ■	初級4（主として韓国・朝鮮語を用いる会話の授業）	102		1	
	⑥キャリア開発教育科目	キ ャ リ ア 開 発 A ★ 食環境栄養学科は履修不可	キャリア開発の意義と方法	101	2		
		キ ャ リ ア 開 発 B ★	マナー&コミュニケーション	101	1		
		キ ャ リ ア 開 発 C ■	自分らしい生き方を設計する	102		2	
		キ ャ リ ア 開 発 D ■	いきいき働く女性たち	102		2	
		キ ャ リ ア 開 発 E ■	企業のトップに学ぶキャリアの本当の意味	103		2	
		キ ャ リ ア 開 発 F ■	将来の仕事を考える	103		2	
		キ ャ リ ア 開 発 G (1) ■	インターンシップ準備	102		2	
		キ ャ リ ア 開 発 G (2) ■	インターンシップ	103		2	
		女 性 み ら い ★	女性の心身の健康	101	1		
	Ⅲ 金城展開科目	文 学 A ■	日本文学論	101	2		
		文 学 B ■	西洋文学論	101	2		
		文 学 C ■	文学とキリスト教	101	2		
		史 学 A ■	日本史入門	101	2		
		史 学 B ■	西洋史入門	101	2		
		史 学 C ■	現代世界の形成	101	2		
		哲 学 A ■	東洋哲学	101	2		
		哲 学 B ■	西洋哲学	101	2		
		倫 理 学 A ■	倫理学入門	101	2		
		倫 理 学 B ■	いのちの倫理	101	2		
	⑦教養科目						

大学編

履修
案内・
要項

大学編

学
籍
上
の
諸
手
続
き

大学編

教
務
事
務
の
取
扱
い

大学編

履
修
規
程

学部編

ポ
リ
シ
ー

学部編

卒
業
要
件
（
詳
細
）
単
位
数

学部編

学
科
独
自
の
制
度

学部編

科
目
分
類
番
号

学部編

共
通
教
育
科
目
の
課
程
表

学部編

専
門
教
育
科
目
の
カリ
キュ
ラム
シ
リ
ー
ズ
お
よ
び
課
程
表

学部編

教
育
課
程
表
関
連
取
得
に
関
する

学部編

各
種
資
格

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑦教養科目	地 域 研 究 A ■	日本文化論	101	2		
		地 域 研 究 B ■	英語圏の生活と文化	101	2		
		地 域 研 究 C ■	ヨーロッパの生活と文化	101	2		
		地 域 研 究 D ■	アジアの生活と文化	101	2		
		地 理 ■	日本地理	101	2		
		文 化 人 類 学 ■	文化人類学入門	101	2		
		宗 教 学 ■	キリスト教と日本	101	2		
		日 本 語 学 ■	日本語学入門	101	2		
		日 本 語 表 現 ■	実践日本語	101	2		
		ロジカルシンキング ■	ロジカルシンキング入門	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 A ■	西洋音楽史入門	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 B ■	西洋音楽鑑賞入門	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 C ■	音楽とキリスト教	101	2		
		芸 術 ・ 音 楽 D ■	ハンドベル入門	101	1		
		芸 術 ・ 美 術 A ■	日本美術史	101	2		
		芸 術 ・ 美 術 B ■	西洋美術史	101	2		
		芸 術 ・ 美 術 C ■	美術とキリスト教	101	2		
		法 学 ■ 生活マネジメント学科は履修不可	法学入門	101	2		
		日 本 国 憲 法 ■	日本国憲法の理解	101	2		
		政 治 学 ■	政治と行政	101	2		
		平 和 学 ■	平和学入門	101	2		
		経 済 学 ■	経済学入門	101	2		
		経 営 学 A ■	経営学入門	101	2		
		経 営 学 B ■	マーケティング入門	101	2		

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑦教養科目	社 会 学 A ■	社会学入門	101	2		
		社 会 学 B ■	消費社会論	101	2		
		名 古 屋 学 ■	名古屋の魅力	101	2		
		心 理 学 A ■	社会心理学	101	2		
		心 理 学 B ■	発達心理学	101	2		
		心 理 学 C ■	臨床心理学	101	2		
		生 活 科 学 A ■	生活と科学	101	2		
		生 活 科 学 B ■	健康とサプリメント	101	2		
		生 活 科 学 C ■	化粧品学入門	101	2		
		衣 生 活 学 A ■ 生活環境学部は履修不可	生活と衣服	101	2		
		衣 生 活 学 B ■ 環境デザイン学科は履修不可	生活とテキスタイル	101	2		
		食 生 活 学 ■ 食環境栄養学科は履修不可	食品栄養学	101	2		
		住 生 活 学 ■	生活と住まい	101	2		
		健 康 科 学 ■	健康科学入門	101	2		
		生 物 学 A ■	生物学入門	101	2		
		生 物 学 B ■	生命科学入門	101	2		
		環 境 学 ■	環境学入門	101	2		
		数 学 ■	数学入門	101	2		
		統 計 科 学 ■ 生活マネジメント学科は履修不可	統計学入門	101	2		
		情 報 学 ■	情報学入門	101	2		
		薬 学 ■	女性のための薬学入門	101	2		
		教 職 入 門 ■	教職の意義と役割	101	2		
		学 校 と 教 育 の 歴 史 ■	教育の歴史と思想	101	2		
		発 達 と 学 習 ■	子どもの発達と学習過程	101	2		

※「大学での学び」は高大接続連携授業において履修する科目であり、入学後の履修はできません。

※「スポーツ・アンド・エクササイズH」の修得単位は、選択必修Aには含まれません。

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑦教養科目	教 育 相 談 ■	学校における心のケア	101	2		
		大 学 で の 学 び ■ ※履修不可	高大接続連携授業	—	1		
	⑧情報教育科目	情 報 リ テ ラ シ ー ★	コンピュータ力を身につける	101	2		
		I T 活 用 A ■	3次元コンピュータ・グラフィックス	102	2		
		I T 活 用 B ■	動画作成編集	102	2		
		I T 活 用 C ■	プログラミング入門	102	2		
		I T 活 用 D ■	Web ページデザイン	102	2		
		I T 活 用 E ■ 生活マネジメント学科は履修不可	コンピュータ統計入門	102	2		
		I T 活 用 F ■	デスクトップ・パブリッシング	102	2		
		I T 活 用 G ■	コンピュータ・デザイン	102	2		
		I T 活 用 H ■ 生活環境学部は履修不可	コンピュータと薬学	102	2		
	⑨S&E教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA ■	テニスとゴルフ	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズB ■	バドミントンとライトスポーツ	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズC ■	卓球とフィットネスA（ヨガ・太極拳など）	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズD ■	フィットネスB（体力トレーニング・ストレッチなど） と卓球	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズE ■	ゴルフとバドミントン	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズF ■	ライトスポーツとテニス	101	1		
		スポーツ・アンド・エクササイズG ■	ライトスポーツ	101		1	
		スポーツ・アンド・エクササイズH ■	ヘルシーエクササイズ	102		1	
		スポーツ・アンド・エクササイズ講義 ★	スポーツと健康	102		1	

※修得単位について…実践ビジネス英語A～E、海外ビジネス研修の修得単位については、自由履修の単位に含まれます。

科目 区分	授 業 科 目	副 題 ・ 内 容	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
Ⅲ 金城展開科目	⑩学生プロジェクト科目	キャリアプロジェクト ■	社会に参加する	103	2		
		里 山 プ ロ ジ ェ ク ト ■	里山から見る日本の姿	103	2		
		K I D Sセンタープロジェクト ■	K I D Sセンター活動に参加する	103	2		
		ボランティアプロジェクト ■	ボランティアを实践する	103	2		
		訪問演奏プロジェクト ■	慰問演奏を行おう	103	2		
	⑪海外研修科目	海 外 研 修 A ■	北米	103	2		
		海 外 研 修 B ■	イギリス	103	2		
		海 外 研 修 C ■	オーストラリア	103	2		
		海 外 研 修 D ■	中国	103	2		
		海 外 研 修 E ■	その他の地域	103	2		
		海 外 留 学 準 備 講 座 ■	留学への心構えや留学先の文化・社会的背景を学ぶ	101	1		
	⑫実践ビジネス英語科目	実 践 ビ ジ ネ ス 英 語 A 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 550以上を目指す	103	1		
		実 践 ビ ジ ネ ス 英 語 B 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 600以上を目指す	103	1		
		実 践 ビ ジ ネ ス 英 語 C 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 650以上を目指す	103		1	
		実 践 ビ ジ ネ ス 英 語 D 選抜者以外は履修不可	TOEIC L&R 700以上を目指す	103			1
		実 践 ビ ジ ネ ス 英 語 E 選抜者以外は履修不可	英語のレポート作成方法を学ぶ	103			1
		海 外 ビ ジ ネ ス 研 修 選抜者以外は履修不可	カナダでビジネスコミュニケーションを学ぶ	103	1		

各教科の指導法・教育の基礎的理解に関する科目等（中・高・栄養免許）

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
国 語 科 指 導 法 A	102		4		
国 語 科 指 導 法 B	102		2		
国 語 科 指 導 法 C	102		2		
社会科・地理歴史科指導法A	102		2		
社会科・地理歴史科指導法B	102		2		
社会科・公民科指導法A	102		2		
社会科・公民科指導法B	102		2		
理 科 指 導 法 A	102		4		
理 科 指 導 法 B	102		2		
理 科 指 導 法 C	102		2		
音 楽 科 指 導 法 A	102		4		
音 楽 科 指 導 法 B	102			2	
音 楽 科 指 導 法 C	102			2	
家 庭 科 指 導 法 A	102		4		
家 庭 科 指 導 法 B	102			2	
家 庭 科 指 導 法 C	102			2	
英 語 科 指 導 法 A	102		4		
英 語 科 指 導 法 B	102			2	
英 語 科 指 導 法 C	102			2	
書 道 科 指 導 法	102		4		
情 報 科 指 導 法	102		4		
福 祉 科 指 導 法	102		4		

授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
学 校 と 教 育 の 歴 史	101	2			
教 職 入 門	101	2			
教 育 社 会 学	102		2		
発 達 と 学 習	101	2			
特別支援教育の理論と方法	102		2		
教 育 課 程 論	102			2	
道 徳 教 育 の 理 論 と 方 法	102			2	
総合的な学習の時間の指導法	102		2		
特 別 活 動 の 指 導 法	102			2	
教 育 の 方 法 及 び 情 報 通 信 技 術 の 活 用	102		2		
生 徒 ・ 進 路 指 導 と キャリア教育の理論と方法	102			2	
教 育 相 談	101	2			
教 育 実 習 A	103				5
教 育 実 習 B	103				3
教 職 実 践 演 習（中高）	103				2
教 職 実 践 演 習（栄養教諭）	103				2

日本語科目・日本事情に関する科目

外国人留学生以外で履修を希望する場合は、
国際交流センターに問い合わせてください。

科目 区分	授 業 科 目	科目分類 番号	単位数
日本語科目	日 本 語 2 1 1	102	1
	日 本 語 2 1 2	102	1
	日 本 語 2 1 3	102	1
	日 本 語 2 1 4	102	1
	日 本 語 2 1 5	102	1
	日 本 語 2 2 1	102	1
	日 本 語 2 2 2	102	1
	日 本 語 2 2 3	102	1
	日 本 語 2 2 4	102	1
	日 本 語 2 2 5	102	1
	日 本 語 3 1 1	103	1
	日 本 語 3 1 2	103	1
	日 本 語 3 1 3	103	1
	日 本 語 3 1 4	103	1
	日 本 語 3 1 5	103	1
	日 本 語 3 2 1	103	1
	日 本 語 3 2 2	103	1
	日 本 語 3 2 3	103	1
	日 本 語 3 2 4	103	1
	日 本 語 3 2 5	103	1
	日 本 語 4 1 1	103	1
	日 本 語 4 1 2	103	1
	日 本 語 4 2 1	103	1
	日 本 語 4 2 2	103	1

科目 区分	授 業 科 目	科目分類 番号	単位数
日本事情に関する科目	日 本 事 情 A	102	2
	日 本 事 情 B	102	2
	日 本 事 情 C	102	2
	日 本 事 情 D	102	2
	インディペンデント・スタディ	103	2

1 カリキュラム・ツリー

カリキュラム・ツリーとは、専門教育科目のカリキュラムにおいて、学生が卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性を系統図的に可視化したものです。カリキュラムの年次進行、授業科目間のつながりなど、カリキュラムの体系性が一望できるようになっています。

生活マネジメント学科

青字は必修科目

			1 年	2 年	3 年	4 年
学科基礎科目			生活経済学 ⁽¹⁾ 生活と法律 ⁽¹⁾ 生活統計学 ⁽¹⁾ 情報処理演習 ⁽¹⁾ 生活マネジメント基礎A 生活マネジメント基礎B	生活経営学 消費者政策論 家族関係学 ⁽¹⁾ 情報処理論 情報処理演習 ⁽²⁾ 生活設計論	消費者教育論 生活情報論 家族福祉学 生活情報システム論 生活調査法 ⁽¹⁾	
展開科目	生活環境学 基礎科目			衣生活概論 住居学概論（製図を含む） 保育学（実習及び家庭看護を含む）	食物学（栄養学・食品学を含む） 家庭電気・機械 被服製作実習 調理実習	
	コース 共通科目		消費生活比較論 法律学概論 プログラミング基礎 ジェンダーと生活	簿記基礎 簿記応用 インターネットビジネス プログラミング応用 生活統計学 ⁽²⁾ ライフコース論 生活と法律 ⁽²⁾ 経済学概論 都市計画学	インクルーシブデザイン論 家族法 情報倫理論 インターネットプログラミング 情報通信ネットワーク論 マルチメディア表現技術 モデル化とシミュレーション 消費者教育実践論 障害者教育論 国際社会と法 現代社会とA I	
			衣生活マネジメント論 住生活マネジメント論 食生活マネジメント論			
	養成 コース展開科目	コース 基礎科目＊		生活経済学 ⁽²⁾	消費者運動論 商法概論	
		コース 選択科目	消費者商品学 消費者心理学	ファイナンシャルプランニングA～D 消費マーケティング論 消費生活コンサルティング論	ビジネス法務 消費者法 消費財流通論 建築法規 金融商品学 生活リスクマネジメント論	
	養成 教員・公務員 コース展開科目	コース 基礎科目＊		男女共同参画社会論	データベース技術 生活調査法 ⁽²⁾	
		コース 選択科目	共生社会論 政治学概論	家族心理学 介護福祉論 刑法 情報職業論	現代社会と情報 家族関係学 ⁽²⁾ 公的扶助論 行政法	
			公務員基礎A～D			
研究演習科目			入門演習	基本演習 ⁽¹⁾	基本演習 ⁽²⁾	専門演習 卒業論文

* 各コースの必修科目

環境デザイン学科

青字は学科必修科目

			1 年	2 年	3 年	4 年	
学科 基礎科目			プロジェクト入門 デザイン基礎実習(1) デザイン基礎実習(2) カラーコーディネート演習 インクルーシブデザイン論 衣生活概論 空間デザイン概論	造形デザイン実習 A 造形デザイン実習 B 造形デザイン実習 C 人間工学 インクルーシブデザイン演習	インクルーシブデザイン特論 居住福祉論 消費マーケティング論 消費者心理学 消費財流通論 インターネットビジネス		
展開科目	基礎科目	生活環境学		現代家族論（家族関係学を含む） 住居学概論（製図を含む） 保育学（実習及び家庭看護を含む）	生活経営学（家庭経済学を含む） 食物学（栄養学・食品学を含む） 家庭電気・機械 被服製作実習 調理実習		
		アパレル系科目	講義科目	ファッションデザイン論 テキスタイル材料学(1) アパレル構成学	服飾文化史 A テキスタイル材料学(2) 洗浄科学 染色加工学 着心地の科学 ファッションビジネス アパレル生産システム	服飾文化史 B 市場調査法 消費科学	ファッション心理学
	実験・実習・演習科目		人体とパターンメイキング ファッション造形実習(1) ファッションビジネスの世界	ファッションカラーコーディネート ファッションデザイン画(1) テキスタイル材料学実験 環境生理学実験 ファッション造形実習(2) ファッション造形実習(3) アパレル企画実習 バーチャルファッションコーディネート コンピュータパターンメイキング	ファッションデザイン画(2) コンピュータテキスタイルデザイン テキスタイル実習 A テキスタイル実習 B 洗浄・染色加工実験 応用パターンメイキング ファッション造形実習(4) アパレル生産システム実習 インテリアコーディネート実習 ファッションリテール実習 アパレル品質管理演習	ドレーピングの基礎	
	空間デザイン系科目		講義科目	住居計画 インテリアデザイン史 近代建築史 建築一般構造 建築構造力学基礎	インテリアデザイン論 建築計画学 都市計画学 空間デザイン特論 西洋建築史 環境工学(1) 建築構造力学(1) 建築構造力学(2)	住生活論 都市設計論 建築プロデュース論 造園学 日本建築史 環境工学(2) 建築設備 建築材料学 建築法規	建築施工
			実験・実習・演習科目	設計製図入門 空間デザイン基礎実習	空間 C A D 実習（基礎） 空間デザイン実習(1) 空間デザイン実習(2)	建築構造力学演習 建築構造設計演習 建築材料学実験 空間 C A D 実習（3 D） 建築測量 空間デザイン実習 A 空間デザイン実習 B インテリアデザイン実習 インテリアプロジェクト実習 まちづくりプロジェクト実習	デジタルファブリケーション演習 建築プロジェクト実習
	研究演習科目				環境デザイン演習(1)	環境デザイン演習(2) 環境デザイン演習(3) 卒業論文・制作	
研修科目		環境デザイン特別研修 A・B 環境デザイン研修 A・B					

* 各コースの必修科目については、課程表で確認してください。

食環境栄養学科

青字は必修科目

		1 年	2 年	3 年	4 年	
学科基礎科目		基礎化学 食環境論 基礎有機化学	分析化学	医療統計学 情報処理	管理栄養士特論A・B 管理栄養士特論C・D 栄養教育実習（事前事後指導を含む）	
展開科目	生活環境学 基礎科目		衣生活概論 住居学概論（製図を含む）	家庭電気・機械 被服製作実習	生活経営学（家庭経済学を含む）	
			保育学（実習及び家庭看護を含む）			
		現代家族論（家族関係学を含む）				
	専門基礎分野	社会・環境 と健康	公衆衛生学 ⁽¹⁾⁽²⁾	社会保健学		
		人体の 構造と 機能及び 疾病の 成り立ち	解剖生理学 ⁽¹⁾ 生化学 ⁽¹⁾	病原微生物学 解剖生理学実験 ⁽¹⁾ 病理学総論 生化学 ⁽²⁾ 生化学実験 ⁽¹⁾	解剖生理学 ⁽²⁾ 解剖生理学実験 ⁽²⁾ 病理学各論 生化学実験 ⁽²⁾	
		食べ物と 健康	食品学 ⁽¹⁾⁽²⁾ 食品学実験 ⁽¹⁾ 調理学 調理学実習 ⁽¹⁾⁽²⁾	食品学実験 ⁽²⁾ 調理学実習 ⁽³⁾	食品衛生学 食品衛生学実験	食品機能学
	専門分野	基礎 栄養学	基礎栄養学 栄養学実習			
		応用 栄養学		応用栄養学総論 母子栄養学 加齢栄養学	応用栄養学実習	
		栄養 教育学		栄養教育原論	栄養教育各論 栄養教育論実習 栄養カウンセリング論 栄養カウンセリング実習	
		臨床 栄養学		栄養アセスメント論 臨床栄養管理論 疾病別栄養管理論 疾病別栄養管理実習	臨床栄養学 臨床栄養学実習	臨床栄養学特論
		公衆 栄養学		公衆栄養学 ⁽¹⁾	公衆栄養学 ⁽²⁾	公衆栄養学実習
		給食経営 管理論		給食経営管理論	フードマネージメント論 給食経営管理実習	
					学校の食指導法 食教育指導法	
	社会環境系 科目			食システム論		
				子どもの発達と生活環境		
				社会心理学概論 臨床心理学概論		
		総合演習			栄養総合演習	
	臨地実習			臨地実習		
研究演習科目		食環境学演習 ⁽¹⁾		食環境学演習 ⁽²⁾	食環境学演習 ⁽³⁾ 卒業論文	

生活マネジメント学科

2 ファイナンシャルプランナー養成コース 課程表

生活マネジメント学科の学生は、ファイナンシャルプランナー養成コース、教員・公務員養成コースのいずれかの履修コースを選択し、それぞれのコースの履修方法に従って授業科目を履修します。1年次4月には、希望調査を行います。2年次4月より正式にコースに分かれます。

科目の★印は必修、◎はコース必修、○は選択必修

学科基礎科目					
学科基礎科目 30単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
生 活 経 営 学 ★	332		2		
生 活 経 済 学 (1) ★	331	2			
消 費 者 教 育 論 ★	333			2	
生 活 情 報 論 ★	332			2	
消 費 者 政 策 論 ★	332		2		
生 活 と 法 律 (1) ★	331	2			
家 族 関 係 学 (1) ★	332		2		
家 族 福 祉 学 ★	333			2	
生 活 統 計 学 (1) ★	331	2			
情 報 処 理 論 ★	332		2		
生 活 情 報 シ ス テ ム 論 ★	332			2	
情 報 処 理 演 習 (1) ★	331	1			
情 報 処 理 演 習 (2) ★	332		1		
生 活 設 計 論 ★	332		2		
生 活 調 査 法 (1) ★	332			2	
生活マネジメント基礎 A ★	331	1			
生活マネジメント基礎 B ★	331	1			

展開科目							
展開科目 合計34単位 (コース基礎科目 6単位必修) (コース共通科目 14単位選択必修) (コース選択科目 14単位選択必修) + 全ての専門教育科目から1単位選択必修							
授 業 科 目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
生活環境学基礎科目	衣 生 活 概 論		332		2		
	食物学(栄養学・食品学を含む)		332			2	
	住居学概論(製図を含む)		332		2		
	保育学(実習及び家庭看護を含む)		332		2		
	家 庭 電 気 ・ 機 械		332			2	
	被 服 製 作 実 習		332			2	
	調 理 実 習		332			2	
コース共通科目	消 費 生 活 比 較 論 ○		332	2			
	簿 記 基 礎 ○		332		2		
	簿 記 応 用 ○		333		2		
	インターネットビジネス ○		332		2		
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 ○		332		2		
	生 活 統 計 学 (2) ○		332		2		
	ラ イ フ コ ー ス 論 ○		332		2		
	インクルーシブデザイン論 ○		332			2	
	生 活 と 法 律 (2) ○		332		2		
	家 族 法 ○		332			2	
	法 律 学 概 論 ○		331	2			
	経 済 学 概 論 ○		332		2		
	情 報 倫 理 論 ○		332			2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 ○		332	2			

展開科目								
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数					
			1年	2年	3年	4年		
コース共通科目	インターネットプログラミング	○	333			2		
	情報通信ネットワーク論	○	332			2		
	マルチメディア表現技術	○	333			2		
	モデル化とシミュレーション	○	333			2		
	衣生活マネジメント論	○	331	2				
	住生活マネジメント論	○	331	2				
	食生活マネジメント論	○	331	2				
	都 市 計 画 学	○	332		2			
	消 費 者 教 育 実 践 論	○	333			2		
	ジェンダーと生活	○	331	2				
	障 害 者 教 育 論	○	332			2		
	国 際 社 会 と 法	○	332			2		
	現 代 社 会 と A I	○	332			2		
ファイナンシャルプランナー養成コース展開科目	養成コース基礎科目	生活経済学 (2)	◎	332		2		
		消費者運動論	◎	332			2	
		商 法 概 論	◎	332			2	
	ファイナンシャルプランナー養成コース選択科目	ファイナンシャルプランニングA	○	333		2		
		ファイナンシャルプランニングB	○	333		2		
		ファイナンシャルプランニングC	○	333		2		
		ファイナンシャルプランニングD	○	333		2		
		ビジネス法務	○	332			2	
		消費マーケティング論	○	332		2		
		消費者商品学	○	331	2			
		消費者法	○	332			2	
		消費者心理学	○	331	2			
		消費財流通論	○	332			2	
		建築法規	○	332			2	
		金融商品学	○	333			2	
		生活リスクマネジメント論	○	333			2	
消費生活コンサルティング論	○	332		2				

展開科目						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
教員・公務員養成コース展開科目	教員・公務員養成コース基礎科目	男女共同参画社会論	332		2	
		データベース技術	332			2
		生活調査法 (2)	332			2
	教員・公務員養成コース選択科目	共生社会論	331	2		
		現代社会と情報	332			2
		家族関係学 (2)	333			2
		公的扶助論	332			2
		家族心理学	332		2	
		介護福祉論	332		2	
		行政法	332			2
		刑法	332		2	
		政治学概論	332	2		
		情報職業論	332		2	
		公務員基礎 A	333			2
		公務員基礎 B	333			2
		公務員基礎 C	333			2
		公務員基礎 D	333			2

研究演習科目						
研究演習科目 5単位必修						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
入 門 演 習 ★		331	1			
基 本 演 習 (1) ★		332		1		
基 本 演 習 (2) ★		332			1	
専 門 演 習 ★		333				2
卒 業 論 文		333				4

生活マネジメント学科

3 教員・公務員養成コース 課程表

生活マネジメント学科の学生は、ファイナンシャルプランナー養成コース、教員・公務員養成コースのいずれかの履修コースを選択し、それぞれのコースの履修方法に従って授業科目を履修します。1年次4月には、希望調査を行います。2年次4月より正式にコースに分かれます。

科目の★印は必修、◎はコース必修、○は選択必修

学科基礎科目					
学科基礎科目 30単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
生 活 経 営 学 ★	332		2		
生 活 経 済 学 (1) ★	331	2			
消 費 者 教 育 論 ★	333			2	
生 活 情 報 論 ★	332			2	
消 費 者 政 策 論 ★	332		2		
生 活 と 法 律 (1) ★	331	2			
家 族 関 係 学 (1) ★	332		2		
家 族 福 祉 学 ★	333			2	
生 活 統 計 学 (1) ★	331	2			
情 報 処 理 論 ★	332		2		
生 活 情 報 シ ス テ ム 論 ★	332			2	
情 報 処 理 演 習 (1) ★	331	1			
情 報 処 理 演 習 (2) ★	332		1		
生 活 設 計 論 ★	332		2		
生 活 調 査 法 (1) ★	332			2	
生活マネジメント基礎 A ★	331	1			
生活マネジメント基礎 B ★	331	1			

展開科目							
展開科目 合計34単位 (コース基礎科目 6単位必修) (コース共通科目 14単位選択必修) (コース選択科目 14単位選択必修) + 全ての専門教育科目から1単位選択必修							
授 業 科 目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数 1年2年3年4年			
生活環境学基礎科目	衣 生 活 概 論		332		2		
	食物学(栄養学・食品学を含む)		332			2	
	住居学概論(製図を含む)		332		2		
	保育学(実習及び家庭看護を含む)		332		2		
	家 庭 電 気 ・ 機 械		332			2	
	被 服 製 作 実 習		332			2	
	調 理 実 習		332			2	
コース共通科目	消 費 生 活 比 較 論 ○		332	2			
	簿 記 基 礎 ○		332		2		
	簿 記 応 用 ○		333		2		
	インターネットビジネス ○		332		2		
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 応 用 ○		332		2		
	生 活 統 計 学 (2) ○		332		2		
	ラ イ フ コ ー ス 論 ○		332		2		
	インクルーシブデザイン論 ○		332			2	
	生 活 と 法 律 (2) ○		332		2		
	家 族 法 ○		332			2	
	法 律 学 概 論 ○		331	2			
	経 済 学 概 論 ○		332		2		
	情 報 倫 理 論 ○		332			2	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 基 礎 ○		332	2			

展開科目						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
コース共通科目	インターネットプログラミング	○ 333			2	
	情報通信ネットワーク論	○ 332			2	
	マルチメディア表現技術	○ 333			2	
	モデル化とシミュレーション	○ 333			2	
	衣生活マネジメント論	○ 331	2			
	住生活マネジメント論	○ 331	2			
	食生活マネジメント論	○ 331	2			
	都 市 計 画 学	○ 332		2		
	消 費 者 教 育 実 践 論	○ 333			2	
	ジェンダーと生活	○ 331	2			
	障 害 者 教 育 論	○ 332			2	
	国 際 社 会 と 法	○ 332			2	
	現 代 社 会 と A I	○ 332			2	
ファイナンシャルプランナー養成コース展開科目	ファイナンシャルプランナー養成コース基礎科目	生活経済学 (2)	332		2	
		消費者運動論	332		2	
		商 法 概 論	332		2	
	ファイナンシャルプランナー養成コース選択科目	ファイナンシャルプランニングA	333	2		
		ファイナンシャルプランニングB	333	2		
		ファイナンシャルプランニングC	333	2		
		ファイナンシャルプランニングD	333	2		
		ビ ジ ネ ス 法 務	332		2	
		消費マーケティング論	332	2		
		消 費 者 商 品 学	331	2		
		消 費 者 法	332		2	
		消 費 者 心 理 学	331	2		
		消 費 財 流 通 論	332		2	
		建 築 法 規	332		2	
		金 融 商 品 学	333		2	
		生活リスクマネジメント論	333		2	
		消費生活コンサルティング論	332	2		

展開科目						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
教員・公務員養成コース展開科目	教員・公務員養成コース基礎科目	男女共同参画社会論	○ 332		2	
		データベース技術	○ 332		2	
		生活調査法 (2)	○ 332		2	
	教員・公務員養成コース選択科目	共生社会論	○ 331	2		
		現代社会と情報	○ 332		2	
		家族関係学 (2)	○ 333		2	
		公 的 扶 助 論	○ 332		2	
		家族心理学	○ 332	2		
		介護福祉論	○ 332	2		
		行 政 法	○ 332		2	
		刑 法	○ 332	2		
		政治学概論	○ 332	2		
		情報職業論	○ 332	2		
		公務員基礎 A	○ 333		2	
		公務員基礎 B	○ 333		2	
		公務員基礎 C	○ 333		2	
		公務員基礎 D	○ 333		2	

研究演習科目						
研究演習科目 5単位必修						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
入 門 演 習 ★		331	1			
基 本 演 習 (1) ★		332		1		
基 本 演 習 (2) ★		332			1	
専 門 演 習 ★		333				2
卒 業 論 文		333				4

4 環境デザイン学科 コース別最低修得単位数

×印の科目は、他コースの学生を優先するため、×印コースの学生は履修できない場合があります。

環境デザイン学科の学生は、アパレル・ファッションコース、空間デザインコースのいずれかの履修コースを選択し、それぞれのコースの履修方法に従って授業科目を履修します。1年次4月には、仮コース分けを行います。2年次4月より正式にコースに分かれます。

コース別最低修得単位数

アパレル・ファッションコース		空間デザインコース	
学科基礎科目	19単位	学科基礎科目	7単位
必修	13単位	必修	7単位
選択必修	6単位		
展開科目	41単位	展開科目	39単位
必修	23単位	必修	39単位
選択必修	18単位		
研究演習科目	4単位	研究演習科目	4単位
必修	4単位	必修	4単位
上記以外の専門教育科目	6単位	上記以外の専門教育科目	20単位
※ 選択必修	6単位	※ 選択必修	20単位
自由履修	28単位	自由履修	28単位
計	98単位	計	98単位

※ 上記以外の専門教育科目

選択必修は、選択必修科目☆から履修すること

環境デザイン学科

5 アパレル・ファッションコース 課程表

科目名の★印は必修、☆は選択必修、×印は他コース優先科目

学科基礎科目						
学科基礎科目 合計19単位 必修 13単位 選択必修 6単位						
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数 1年2年3年4年				
プロジェクト入門 ★	341	1				
デザイン基礎実習(1) ★	341	2				
デザイン基礎実習(2) ★	342	2				
造形デザイン実習 A	342		1			
造形デザイン実習 B	342		1			
造形デザイン実習 C	343		1			
カラーコーディネート演習 ★	342	1				
人 間 工 学 ☆	342		2			
インクルーシブデザイン論 ★	342	2				
インクルーシブデザイン演習 ★	343		1			
インクルーシブデザイン特論 ★	343			2		
居 住 福 祉 論 ☆	343			2		
衣 生 活 概 論 ★	302	2				
空 間 デ ザ イ ン 概 論 ☆	341	2				
消 費 マ ー ケ テ ィ ン グ 論 ☆	303			2		
消 費 者 心 理 学 ☆	303			2		
消 費 財 流 通 論 ☆	303			2		
インターネットビジネス ☆	303			2		

展開科目						
展開科目 合計41単位 必修 23単位 選択必修 18単位 + 全ての専門教育科目から6単位選択必修						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数 1年	2年	3年	4年
生活環境学基礎科目	現代家族論（家族関係学を含む）	302		2		
	生活経営学（家庭経済学を含む）	302			2	
	食物学（栄養学・食品学を含む）	302			2	
	住居学概論（製図を含む）	302		2		
	保育学（実習及び家庭看護を含む）	302		2		
	家 庭 電 気 ・ 機 械	302			2	
	被 服 製 作 実 習 ×	302			2	
	調 理 実 習	302			2	
アパレル系科目	服 飾 文 化 史 A ★	342		2		
	服 飾 文 化 史 B ☆	343			2	
	ファッションカラーコーディネート ★	342		1		
	ファッションデザイン論 ★	342	2			
	ファッションデザイン画 (1) ★	342		1		
	ファッションデザイン画 (2) ☆	343			1	
	コンピュータテキスタイルデザイン ☆	342			1	
	テ キ ス タ イ ル 実 習 A ☆	343			1	
	テ キ ス タ イ ル 実 習 B ☆	343			1	
	テ キ ス タ イ ル 材 料 学 (1) ★	342	2			
	テ キ ス タ イ ル 材 料 学 (2) ★	342		2		
	テキスタイル材料学実験 ☆	343		2		
	洗 浄 科 学 ☆	342		2		
	染 色 加 工 学 ★	342		2		
	洗 浄 ・ 染 色 加 工 実 験 ☆	343			2	
	着 心 地 の 科 学 ★	342		2		

展開科目						
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
アパレル系科目	環 境 生 理 学 実 験 ☆	342	2			
	フ ァ ャ ッ シ ョ ン 心 理 学 ☆	342			2	
	ア パ レ ル 構 成 学 ★	342	2			
	人体とパターンメイキング ★	342	2			
	応用パターンメイキング ☆	343		1		
	ド レ ー ピ ン グ の 基 礎 ☆	342			1	
	ファッション造形実習 (1) ★	341	1			
	ファッション造形実習 (2) ★	342	1			
	ファッション造形実習 (3) ☆	342	1			
	ファッション造形実習 (4) ☆	343		2		
	ファッションビジネスの世界 ★	341	1			
	ファッションビジネス ★	342	2			
	市 場 調 査 法 ☆	343		2		
	ア パ レ ル 企 画 実 習 ☆	343	2			
	バーチャルファッションコーディネート ☆	343	1			
	コンピュータパターンメイキング ☆	343	1			
	アパレル生産システム ☆	343	2			
	アパレル生産システム実習 ☆	343		2		
	インテリアコーディネート実習 ☆	342		1		
	ファッションリテール実習 ☆	343		1		
	消 費 科 学 ☆	343		2		
	アパレル品質管理演習 ☆	343		1		
空間デザイン系科目	インテリアデザイン論 ☆	342	2			
	住 居 計 画	342	2			
	住 生 活 論	343		2		
	建 築 計 画 学 ☆	342	2			
	都 市 計 画 学	342	2			
	都 市 設 計 論	343		2		
	空 間 デ ザ イ ン 特 論	342	2			
	建 築 プ ロ デ ュ ー ス 論	343		2		
	造 園 学	343		2		

展開科目						
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
空間デザイン系科目	インテリアデザイン史 ☆	342	2			
	近 代 建 築 史	342	2			
	西 洋 建 築 史	343	2			
	日 本 建 築 史	343		2		
	環 境 工 学 (1) ☆	342	2			
	環 境 工 学 (2) ☆	343		2		
	建 築 設 備	343		2		
	建 築 一 般 構 造	342	2			
	建 築 構 造 力 学 基 礎	342	2			
	建 築 構 造 力 学 (1)	342	2			
	建 築 構 造 力 学 (2)	342	2			
	建 築 構 造 力 学 演 習 ×	343		1		
	建 築 構 造 設 計 演 習 ×	343		1		
	建 築 材 料 学	343		2		
	建 築 材 料 学 実 験 ×	343		2		
	空間 C A D 実 習 (基 礎) ×	342	1			
	空間 C A D 実 習 (3 D) ×	343		2		
	建 築 法 規	343		2		
	建 築 施 工	343		2		
	建 築 測 量 ×	343		1		
	デジタルファブリケーション演習 ×	343			1	
	設 計 製 図 入 門 ×	341	2			
	空間デザイン基礎実習 ×	342	2			
	空間デザイン実習 (1) ×	342	2			
	空間デザイン実習 (2) ×	342	2			
	空間デザイン実習 A ×	343		2		
	空間デザイン実習 B ×	343		2		
	インテリアデザイン実習 ×	343		2		
	インテリアプロジェクト実習	343		2		
	まちづくりプロジェクト実習 ×	343		2		
	建 築 プ ロ ジ ェ ク ト 実 習 ×	343			2	

研究演習科目					
研究演習科目　４単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
環 境 デ ザ イン 演 習 (1) ★	343			1	
環 境 デ ザ イン 演 習 (2) ★	343				1
環 境 デ ザ イン 演 習 (3) ★	343				2
卒 業 論 文 ・ 制 作	343				6

研修科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
環 境 デ ザ イン 特 別 研 修 A	342	2			
環 境 デ ザ イン 特 別 研 修 B	342	2			
環 境 デ ザ イン 研 修 A	342	1			
環 境 デ ザ イン 研 修 B	342	1			

環境デザイン学科

6 空間デザインコース 課程表

科目名の★印は必修、☆は選択必修、×印は他コース優先科目

学科基礎科目						
学科基礎科目合計 7単位必修						
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数				
		1年	2年	3年	4年	
プ ロ ジ ェ ク ト 入 門 ★	341	1				
デ ザ イン 基 礎 実 習 (1) ★	341	2				
デ ザ イン 基 礎 実 習 (2) ★	342	2				
造 形 デ ザ イン 実 習 A ☆	342		1			
造 形 デ ザ イン 実 習 B ☆	342		1			
造 形 デ ザ イン 実 習 C ☆	343		1			
カ ラ ー コ ー デ ィ ネ ー ト 演 習 ☆	342	1				
人 間 工 学 ☆	342		2			
イ ン ク ル ー シ ブ デ ザ イン 論 ☆	342	2				
イ ン ク ル ー シ ブ デ ザ イン 演 習 ☆	343		1			
イ ン ク ル ー シ ブ デ ザ イン 特 論 ☆	343			2		
居 住 福 祉 論 ☆	343			2		
衣 生 活 概 論 ☆	302	2				
空 間 デ ザ イン 概 論 ★	341	2				
消 費 マ ー ケ テ ィ ン グ 論	303			2		
消 費 者 心 理 学	303			2		
消 費 財 流 通 論	303			2		
イ ン タ ー ネ ッ ト ビ ジ ネ ス	303			2		

展開科目						
展開科目 39単位必修 ＋ 全ての専門教育科目から20単位選択必修						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数 1年2年3年4年			
生活環境学基礎科目	現代家族論（家族関係学を含む）	302		2		
	生活経営学（家庭経済学を含む）	302			2	
	食物学（栄養学・食品学を含む）	302			2	
	住居学概論（製図を含む） ×	302		2		
	保育学（実習及び家庭看護を含む）	302		2		
	家 庭 電 気 ・ 機 械	302			2	
	被 服 製 作 実 習	302			2	
	調 理 実 習	302			2	
アパレル系科目	服 飾 文 化 史 A	342		2		
	服 飾 文 化 史 B	343			2	
	ファッションカラーコーディネート	342		1		
	ファッションデザイン論	342	2			
	ファッションデザイン画（1） ×	342		1		
	ファッションデザイン画（2） ×	343			1	
	コンピュータテキスタイルデザイン	342			1	
	テ キ ス タ イ ル 実 習 A ×	343			1	
	テ キ ス タ イ ル 実 習 B ×	343			1	
	テ キ ス タ イ ル 材 料 学（1）	342	2			
	テ キ ス タ イ ル 材 料 学（2）	342		2		
	テ キ ス タ イ ル 材 料 学 実 験 ×	343		2		
	洗 淨 科 学	342		2		
	染 色 加 工 学	342		2		
	洗 淨 ・ 染 色 加 工 実 験 ×	343			2	
着 心 地 の 科 学	342		2			

展開科目						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
アパレル系科目	環 境 生 理 学 実 験	342		2		
	フ ァ ャ ッ シ ョ ン 心 理 学	342				2
	ア パ レ ル 構 成 学	342	2			
	人体とパターンメイキング	342	2			
	応用パターンメイキング ×	343			1	
	ド レ ー ピ ン グ の 基 礎 ×	342				1
	ファッション造形実習 (1)	341	1			
	ファッション造形実習 (2)	342		1		
	ファッション造形実習 (3) ×	342		1		
	ファッション造形実習 (4) ×	343			2	
	ファッションビジネスの世界	341	1			
	ファッションビジネス	342		2		
	市 場 調 査 法	343			2	
	ア パ レ ル 企 画 実 習 ×	343		2		
	バーチャルファッションコーディネート	343		1		
	コンピュータパターンメイキング	343		1		
	アパレル生産システム	343		2		
	アパレル生産システム実習 ×	343			2	
	インテリアコーディネート実習 ×	342			1	
	ファッションリテール実習 ×	343			1	
空間デザイン系科目	消 費 科 学	343			2	
	アパレル品質管理演習 ×	343			1	
	インテリアデザイン論 ☆	342		2		
	住 居 計 画 ☆	342	2			
	住 生 活 論 ☆	343			2	
	建 築 計 画 学 ☆	342		2		
	都 市 計 画 学 ☆	342		2		
	都 市 設 計 論 ☆	343			2	
	空 間 デ ザ イ ン 特 論 ☆	342		2		
空間デザイン系科目	建 築 プ ロ デ ュ ー ス 論 ☆	343			2	
	造 園 学 ☆	343			2	

展開科目						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
空間デザイン系科目	インテリアデザイン史 ☆	342	2			
	近 代 建 築 史 ☆	342	2			
	西 洋 建 築 史 ☆	343		2		
	日 本 建 築 史 ☆	343			2	
	環 境 工 学 (1) ☆	342		2		
	環 境 工 学 (2) ☆	343			2	
	建 築 設 備 ☆	343			2	
	建 築 一 般 構 造 ☆	342	2			
	建 築 構 造 力 学 基 礎 ☆	342	2			
	建 築 構 造 力 学 (1) ☆	342		2		
	建 築 構 造 力 学 (2) ☆	342		2		
	建 築 構 造 力 学 演 習 ☆	343			1	
	建 築 構 造 設 計 演 習 ☆	343			1	
	建 築 材 料 学 ☆	343			2	
	建 築 材 料 学 実 験 ☆	343			2	
	空間 C A D 実 習 (基 礎) ☆	342		1		
	空間 C A D 実 習 (3 D) ☆	343			2	
	建 築 法 規 ☆	343			2	
	建 築 施 工 ☆	343				2
	建 築 測 量 ☆	343			1	
空間デザイン系科目	デジタルファブリケーション演習 ☆	343				1
	設 計 製 図 入 門 ☆	341	2			
	空間デザイン基礎実習 ☆	342	2			
	空間デザイン実習 (1) ☆	342		2		
	空間デザイン実習 (2) ☆	342		2		
	空間デザイン実習 A ☆	343			2	
	空間デザイン実習 B ☆	343			2	
	インテリアデザイン実習 ☆	343			2	
	インテリアプロジェクト実習 ☆	343			2	
空間デザイン系科目	まちづくりプロジェクト実習 ☆	343			2	
	建築プロジェクト実習 ☆	343				2

研究演習科目					
研究演習科目 4単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
環 境 デ ザ イ ン 演 習 (1) ★	343			1	
環 境 デ ザ イ ン 演 習 (2) ★	343				1
環 境 デ ザ イ ン 演 習 (3) ★	343				2
卒 業 論 文 ・ 制 作	343				6

研修科目					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
環 境 デ ザ イ ン 特 別 研 修 A	342	2			
環 境 デ ザ イ ン 特 別 研 修 B	342	2			
環 境 デ ザ イ ン 研 修 A	342	1			
環 境 デ ザ イ ン 研 修 B	342	1			

大学編

履修
案内
・
要項

大学編

学
籍
上
の
諸
手
続
き

大学編

教
務
事
務
の
取
扱
い

大学編

履
修
規
程

学部編

ポ
リ
シ
ー

学部編

卒
業
要
件
単
位
数
(
詳
細
)

学部編

学
科
独
自
の
制
度

学部編

科
目
分
類
番
号

学部編

共
通
教
育
科
目
等
の
課
程
表

学部編

専
門
教
育
科
目
の
カリ
キュ
ラム
シ
ー
リ
ー
および
課
程
表

学部編

教
育
課
程
表
関
する
教
免
取
得
に
関
する

学部編

各
種
資
格

7 食環境栄養学科 課程表

科目名の★印は必修、☆は選択必修

学科基礎科目					
学科基礎科目 8単位必修+2単位選択必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数 1年 2年 3年 4年			
基 礎 化 学 ★	352	2			
基 礎 有 機 化 学 ☆	351	2			
分 析 化 学 ☆	351	2			
食 環 境 論 ★	352	2			
医 療 統 計 学	351		2		
情 報 処 理	351		1		
栄養教育実習（事前事後指導を含む）	351				2
管 理 栄 養 士 特 論 A ★	352				2
管 理 栄 養 士 特 論 B ★	352				2
管 理 栄 養 士 特 論 C	351				2
管 理 栄 養 士 特 論 D	351				2

展開科目					
展開科目 82単位必修					
授 業 科 目	科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数 1年 2年 3年 4年			
生活環境学基礎科目	現代家族論（家族関係学を含む）	351		2	
	生活経営学（家庭経済学を含む）	351			2
	衣 生 活 概 論	351	2		
	住居学概論（製図を含む）	351	2		
	保育学（実習及び家庭看護を含む）	351		2	
	家 庭 電 気 ・ 機 械	351		2	
	被 服 製 作 実 習	351		2	
専門基礎分野	社 会 保 健 学 ★	353		2	
	公 衆 衛 生 学 (1) ★	353	2		
	公 衆 衛 生 学 (2) ★	353	2		
	病 原 微 生 物 学 ★	353	2		
	解 剖 生 理 学 (1) ★	353	2		
	解 剖 生 理 学 (2) ★	353		2	
	解 剖 生 理 学 実 験 (1) ★	353		1	
	解 剖 生 理 学 実 験 (2) ★	353		1	
	病 理 学 総 論 ★	353	2		
	病 理 学 各 論 ★	353		2	
	生 化 学 (1) ★	353	2		
	生 化 学 (2) ★	353	2		
	生 化 学 実 験 (1) ★	353		1	
	生 化 学 実 験 (2) ★	353		1	
	食 品 学 (1) ★	353	2		
	食 品 学 (2) ★	353	2		
	食 品 学 実 験 (1) ★	353	1		
	食 品 学 実 験 (2) ★	353		1	
	食 品 衛 生 学 ★	353		2	

展開科目						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
専門基礎分野	食 品 衛 生 学 実 験 ★	353			1	
	調 理 学 ★	353	2			
	調 理 学 実 習 (1) ★	353	1			
	調 理 学 実 習 (2) ★	353	1			
	調 理 学 実 習 (3) ★	353		1		
	食 品 機 能 学	353				2
専門分野	基 礎 栄 養 学 ★	353	2			
	栄 養 学 実 習 ★	353	1			
	応 用 栄 養 学 総 論 ★	353		2		
	母 子 栄 養 学 ★	353		2		
	加 齢 栄 養 学 ★	353		2		
	応 用 栄 養 学 実 習 ★	353			1	
	栄 養 教 育 原 論 ★	353		2		
	栄 養 教 育 各 論 ★	353			2	
	栄 養 教 育 論 実 習 ★	353			1	
	栄 養 カ ウ ン セ リ ン グ 論 ★	353			2	
	栄 養 カ ウ ン セ リ ン グ 実 習 ★	353			1	
	臨 床 栄 養 学 ★	353			2	
	栄 養 ア セ ス メ ン ト 論 ★	353		2		
	臨 床 栄 養 管 理 論 ★	353		2		
	疾 病 別 栄 養 管 理 論 ★	353		2		
	疾 病 別 栄 養 管 理 実 習 ★	353		1		
	臨 床 栄 養 学 実 習 ★	353			1	
	臨 床 栄 養 学 特 論	353				2
	公 衆 栄 養 学 (1) ★	353		2		
	公 衆 栄 養 学 (2) ★	353			2	
	公 衆 栄 養 学 実 習 ★	353				1
給 食 経 営 管 理 論 ★	353		2			
フ ー ド マ ネ ー ジ メ ン ト 論 ★	353			2		

展開科目						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
専門分野	給 食 経 営 管 理 実 習 ★	353			1	
	学 校 の 食 指 導 法	351			2	
	食 教 育 指 導 法	351			2	
社会環境系科目群	食 シ ス テ ム 論	351			2	
	子どもの発達と生活環境	351				2
	社 会 心 理 学 概 論	351			2	
	臨 床 心 理 学 概 論	351			2	
総合演習	栄 養 総 合 演 習 ★	353			2	
臨地実習	臨 地 実 習 ★	353				4

研究演習系科目群						
研究演習系科目群 3単位必修						
授 業 科 目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
食 環 境 学 演 習 (1) ★		353	1			
食 環 境 学 演 習 (2) ★		352			1	
食 環 境 学 演 習 (3) ★		352				1
卒 業 論 文		351				8

1 中高免教職課程について

〔1〕教職課程とは？

中学校や高校で授業を行うためには教員免許状が必要です。その取得のために必要な科目を開講し、教職課程を設けています。教育職員免許法や教育職員免許法施行規則等に定められた単位を修得することで、卒業時に教員免許状を取得できます。

教職に関心がある学生は、1年次から「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」を履修してください。教職課程の申し込みは2年生の夏、教育実習の申し込みは3年生（薬学部は5年生）の春に行います。自信を持って教えられるように、教科と教職の両方の専門性を伸ばす努力をしてください。

本学の中高免教職課程を履修することにより授与される免許状の種類等は、次の通りです。私たち、中高免教職課程担当教員、職員は金城学院大学卒業生が一人でも多く、教育現場の教壇に立つことを願っています。

学 部	学 科		免許状の種類	免許教科
文学部	日本語日本文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語 国 語 書 道
	英語英米文化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	外国語コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	音楽芸術学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽 音 楽
生活環境学部	生活マネジメント学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭 情 報
	環境デザイン学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
	食環境栄養学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
国際情報学部	国際情報 学科	グローバル スタディーズコース	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 地理歴史 公 民
		メディアスタディーズコース	高等学校教諭一種免許状	情 報
人間科学部	現代子ども教育学科		中学校教諭一種免許状	英 語
	多元心理学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
	コミュニティ福祉学科		高等学校教諭一種免許状	福 祉
薬学部	薬学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理 科 理 科

〔2〕教職課程の履修に必要な単位

教育職員免許状を取得するためには、基礎資格として学士の資格を有することが必要です。つまり、所定の単位を修得して本学を卒業することが前提となります。

その上で、教職課程の履修には教育職員免許法施行規則に定める、次の4種類の科目の修得が必要です。最低修得単位数は教育職員免許法施行規則に定められた最低修得単位数であり、本学で修得しなければならない単位数については後掲の表を参照してください。

施行規則に定める科目区分等	最低修得単位数	
	中一種	高一種
①教科及び教科の指導法に関する科目	28	24
②教育の基礎的理解に関する科目等	27	23
③大学が独自に設定する科目	4	12
④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8	8
合 計	67	67

①教科及び教科の指導法に関する科目

生活マネジメント学科

○中一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	28	生活経済学(1)	1年	2	生活と法律(1)	1年	2
			生活経営学	2年	2	消費者法	3年	2
			家族関係学(1)	2年	2			
			消費者政策論	2年	2			
			生活設計論	2年	2			
			消費者教育論	3年	2			
			生活情報論	3年	2			
			家族福祉学	3年	2			
	被服学（被服製作実習を含む。）		衣生活概論	2年	2			
			被服製作実習	3年	2			
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		食物学（栄養学・食品学を含む）	3年	2			
			調理実習	3年	2			
	住居学		住居学概論（製図を含む）	2年	2			
	保育学（実習を含む。）		保育学（実習及び家庭看護を含む）	2年	2			
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		家庭科指導法A	2年	4				
		家庭科指導法B	3年	2				
		家庭科指導法C	3年	2				

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い中一種においては8単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

生活マネジメント学科

○高一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	24	生活経済学(1)	1年	2	生活と法律(1)	1年	2
			生活経営学	2年	2	消費者法	3年	2
			家族関係学(1)	2年	2			
			消費者政策論	2年	2			
			生活設計論	2年	2			
			消費者教育論	3年	2			
			生活情報論	3年	2			
			家族福祉学	3年	2			
	被服学（被服製作実習を含む。）		衣生活概論	2年	2			
			被服製作実習	3年	2			
			食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	食物学（栄養学・食品学を含む）	3年	2		
	調理実習			3年	2			
	住居学（製図を含む。）		住居学概論（製図を含む）	2年	2			
			保育学（実習及び家庭看護を含む。）	2年	2			
	家庭電気・家庭機械・情報処理		家庭電気・機械	3年	2			
	情報処理演習(1)	1年	1					
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）			家庭科指導法A	2年	4	家庭科指導法B	3年	2
						家庭科指導法C	3年	2

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

生活マネジメント学科

○高一種免「情報」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	情報社会・情報倫理	24	現代社会と情報	3年	2	現代社会とAⅠ	3年	2
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）		情報倫理論	3年	2			
			情報処理論	2年	2	プログラミング基礎	1年	2
			情報処理演習(1)	1年	1	プログラミング応用	2年	2
			情報処理演習(2)	2年	1			
	情報システム（実習を含む。）		生活情報システム論	3年	2			
			データベース技術	3年	2			
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）		情報通信ネットワーク論	3年	2			
			インターネットプログラミング	3年	2			
	マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）		マルチメディア表現技術	3年	2	*CG論	3年	2
モデル化とシミュレーション		3年	2					
	情報と職業		情報職業論	2年	2	インターネットビジネス	2年	2
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）			情報科指導法	2年	4			

備考1：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

備考2：*は国際情報学科 開設科目

環境デザイン学科 アパレル・ファッションコース

○中一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	28	生活経営学（家庭経済学を含む）	3年	2			
			現代家族論（家庭関係学を含む）	2年	2			
	被服学（被服製作実習を含む。）		アパレル構成学	1年	2	衣生活概論	1年	2
			着心地の科学	2年	2	被服製作実習	3年	2
			ファッション造形実習(1)	1年	1			
			ファッション造形実習(2)	2年	1			
			テキスタイル材料学(1)	1年	2	市場調査法	3年	2
			テキスタイル材料学(2)	2年	2	洗浄科学	2年	2
					染色加工学	2年	2	
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		食物学（栄養学・食品学を含む）	3年	2			
			調理実習	3年	2			
	住居学		住居学概論（製図を含む）	2年	2	住居計画	1年	2
						建築計画学	2年	2
						居住福祉論	3年	2
						インテリアデザイン論	2年	2
					近代建築史	1年	2	
				設計製図入門	1年	2		
			空間デザイン基礎実習	1年	2			
各教科の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）		保育学（実習及び家庭看護を含む）	2年	2				
		家庭科指導法A	2年	4				
		家庭科指導法B	3年	2				
		家庭科指導法C	3年	2				

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い中一種においては8単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

環境デザイン学科 アパレル・ファッションコース

○高一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位	
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	24	生活経営学（家庭経済学を含む）	3年	2				
			現代家族論（家庭関係学を含む）	2年	2				
	被服学（被服製作実習を含む。）		アパレル構成学	1年	2	衣生活概論	1年	2	
			着心地の科学	2年	2	被服製作実習	3年	2	
			ファッション造形実習 ⁽¹⁾	1年	1				
			ファッション造形実習 ⁽²⁾	2年	1				
			テキスタイル材料学 ⁽¹⁾	1年	2	市場調査法	3年	2	
			テキスタイル材料学 ⁽²⁾	2年	2	洗浄科学	2年	2	
							染色加工学	2年	2
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）			食物学（栄養学・食品学を含む）	3年	2			
				調理実習	3年	2			
	住居学（製図を含む。）		住居学概論（製図を含む）	2年	2	住居計画	1年	2	
						建築計画学	2年	2	
						居住福祉論	3年	2	
						インテリアデザイン論	2年	2	
				近代建築史	1年	2			
				設計製図入門	1年	2			
					空間デザイン基礎実習	1年	2		
保育学（実習を含む。）		保育学（実習及び家庭看護を含む）	2年	2					
家庭電気・機械及び情報処理		家庭電気・機械	3年	2	空間CAD実習（基礎）	2年	1		
		コンピュータテキスタイルデザイン	3年	1					
		バーチャルファッションコーディネート	2年	1					
各教科の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）			家庭科指導法A	2年	4	家庭科指導法B	3年	2	
						家庭科指導法C	3年	2	

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

環境デザイン学科 空間デザインコース

○中一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	28	生活経営学（家庭経済学を含む）	3年	2			
			現代家族論（家庭関係学を含む）	2年	2			
	被服学（被服製作実習を含む。）		衣生活概論	1年	2	アパレル構成学	1年	2
			被服製作実習	3年	2	着心地の科学	2年	2
						テキスタイル材料学(1)	1年	2
						テキスタイル材料学(2)	2年	2
						市場調査法	3年	2
						洗浄科学	2年	2
						染色加工学	2年	2
						ファッション造形実習(1)	1年	1
					ファッション造形実習(2)	2年	1	
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		食物学（栄養学・食品学を含む）	3年	2			
			調理実習	3年	2			
	住居学		住居計画	1年	2	住居学概論（製図を含む）	2年	2
			インテリアデザイン論	2年	2	建築計画学	2年	2
			設計製図入門	1年	2	居住福祉論	3年	2
						近代建築史	1年	2
						空間デザイン基礎実習	1年	2
保育学（実習を含む。）	保育学（実習及び家庭看護を含む）	2年	2					
各教科の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）	家庭科指導法A	2年	4					
	家庭科指導法B	3年	2					
	家庭科指導法C	3年	2					

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い中一種においては8単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

環境デザイン学科 空間デザインコース

○高一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	24	生活経営学（家庭経済学を含む）	3年	2			
			現代家族論（家庭関係学を含む）	2年	2			
	被服学（被服製作実習を含む。）		衣生活概論	1年	2	アパレル構成学	1年	2
			被服製作実習	3年	2	着心地の科学	2年	2
					テキスタイル材料学(1)	1年	2	
					テキスタイル材料学(2)	2年	2	
					市場調査法	3年	2	
					洗浄科学	2年	2	
					染色加工学	2年	2	
					ファッション造形実習(1)	1年	1	
				ファッション造形実習(2)	2年	1		
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		食物学（栄養学・食品学を含む）	3年	2			
			調理実習	3年	2			
	住居学（製図を含む。）		住居計画	1年	2	住居学概論（製図を含む）	2年	2
			インテリアデザイン論	2年	2	建築計画学	2年	2
			設計製図入門	1年	2	居住福祉論	3年	2
			近代建築史	1年	2			
		空間デザイン基礎実習	1年	2				
保育学（実習を含む。）	保育学（実習及び家庭看護を含む）	2年	2					
家庭電気・機械及び情報処理	家庭電気・機械	3年	2	コンピュータテキスタイルデザイン	3年	1		
	空間CAD実習（基礎）	2年	1	バーチャルファッションコーディネート	2年	1		
各教科の指導法 （情報機器及び教材の活用を含む。）			家庭科指導法A	2年	4	家庭科指導法B	3年	2
						家庭科指導法C	3年	2

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

食環境栄養学科

○中一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	28	生活経営学（家庭経済学を含む）	4年	2			
			現代家族論（家族関係学を含む）	2～4年	2			
	被服学（被服製作実習を含む。）		被服製作実習	3年	2			
			衣生活概論	2年	2			
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		基礎栄養学	1年	2			
			応用栄養学総論	2年	2			
			食品学 ⁽¹⁾	1年	2			
			食品学 ⁽²⁾	1年	2			
			調理学	1年	2			
			調理学実習 ⁽¹⁾	1年	1			
			調理学実習 ⁽²⁾	1年	1			
			食環境論	1年	2			
			食品衛生学	3年	2			
	住居学		住居学概論（製図を含む）	2年	2			
	保育学（実習を含む。）		保育学（実習及び家庭看護を含む）	2・3年	2			
	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）		家庭科指導法A	2年	4			
家庭科指導法B		3年	2					
家庭科指導法C		3年	2					

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い中一種においては8単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

食環境栄養学科

○高一種免「家庭」

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	必修科目	学年	単位	選択科目	学年	単位
教科に関する専門的事項	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	24	生活経営学（家庭経済学を含む）	4年	2			
			現代家族論（家族関係学を含む）	2～4年	2			
	被服学（被服製作実習を含む。）		被服製作実習	3年	2			
			衣生活概論	2年	2			
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）		基礎栄養学	1年	2			
			応用栄養学総論	2年	2			
			食品学 ⁽¹⁾	1年	2			
			食品学 ⁽²⁾	1年	2			
			調理学	1年	2			
			調理学実習 ⁽¹⁾	1年	1			
			調理学実習 ⁽²⁾	1年	1			
			食環境論	1年	2			
			食品衛生学	3年	2			
	住居学（製図を含む。）		住居学概論（製図を含む）	2年	2			
	保育学（実習及び家庭看護を含む。）		保育学（実習及び家庭看護を含む）	2・3年	2			
	家庭電気・家庭機械・情報処理		家庭電気・機械	3年	2			
情報処理		3年	1					
各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）			家庭科指導法A	2年	4	家庭科指導法B	3年	2
						家庭科指導法C	3年	2

備考：取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を履修方法に従い高一種においては4単位を履修しておくこと。
後述の〔3〕を参照してください。

②教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	学校と教育の歴史	2				必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学		2			必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達と学習	2				必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の理論と方法		2			必修
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論			2		必修
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と方法			2		中免のみ必修。 高免においては選択。
	総合的な学習の時間の指導法（中免） 総合的な探求の時間の指導法（高免）		総合的な学習の時間の指導法		2			必修
	特別活動の指導法		特別活動の指導法			2		必修
	教育の方法及び技術 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		教育の方法及び情報通信技術の活用		2			必修
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		生徒・進路指導とキャリア教育の理論と方法			2		必修
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2				必修
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習A				5	教育実習Aは中免のみ必修。 高免は教育実習A、Bのいずれか1科目必修。 いずれも事前事後指導1単位を含む。
			教育実習B				3	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中高）				2	必修

備考1：教育実習以前に、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目を履修しておくこと。

備考2：後述の〔3〕を参照してください。

③大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目区分	単位数		1年	2年	3年	4年	
大学が独自に設定する科目	中 4 高12	道徳教育の理論と方法			2		備考2
		情報教育論		2			

備考1：教育職員免許法施行規則で定められた、免許状取得に必要な最低取得単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することができます。ただし、他の免許教科のために設けられている「教科及び教科の指導法に関する科目」または「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することはできません。

備考2：「道徳教育の理論と方法」は、高一種においては選択。中一種においては、「大学が独自に設定する科目」の単位として使用することはできません。

④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	2				必修
体育	2	スポーツ・アンド・エクササイズ講義		1			必修 これら 7科目より 1科目 選択必修
		スポーツ・アンド・エクササイズA	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズB	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズC	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズD	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズE	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズF	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズG	1				
外国語 コミュニケーション	2	英語コミュニケーションA(1)	1				必修
		英語コミュニケーションA(2)	1				
数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	情報リテラシー	2				必修

〔3〕教育実習

教職に関する科目の一つである教育実習は、教育現場における体験を通じて、教育についての深い理解と強い熱意をつちかい、真によき教育者としての素地をつくることを目的として行われます。実習生は、実際に教壇に立つとともに、生徒へのさまざまな指導、学級の経営と管理、校務などの実習を行います。

教育実習に関しては、次の点に注意してください。

- (1) 中学校免許取得のためには、「教育実習A」5単位（実習は原則として3週間4単位と事前・事後指導1単位）、高等学校免許取得のためには、「教育実習B」3単位（実習2週間2単位と事前・事後指導1単位）または「教育実習A」5単位のいずれかの履修が必要です。
- (2) 教育実習は、原則として中学校または高等学校、あるいはその両方です。いずれの場合も中学校・高等学校のすべての免許取得のための教育実習として有効です。
- (3) 複数の教科の免許を取得しようとする場合にも、実習はいずれかの教科で1回行えば十分です。
- (4) 教育実習は、実習校の協力を得て行われるものです。実習生は、実習校に迷惑をかけることのないよう、しっかりした決意と十分な配慮をもって取り組まなくてはなりません。
- (5) 教育実習に先立って、教育実習申込みオリエンテーションを行います。このオリエンテーションで教育実習についての認識を深め、慎重に検討した上で教育実習を希望する者は、所定の期間内に必要な書類を添えて履修支援センターに申し込んでください。ただし、下記「3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件」の①を満たさない者は教育実習申込みを行うことはできません。
- (6) 教育実習期間の前後に数回の事前・事後指導を行います。また、教育実習後には、所定のレポートを提出しなければなりません。教育実習の履修には、事前指導・事後指導への出席とレポートの提出も含まれます。
- (7) 教育実習は教員を志す者にのみ認められます。教育実習を希望する者は、教員採用試験（愛知県・名古屋市など）を受験することを原則とします。実際に、中学校・高等学校が実施する事前指導で、教員採用試験を受けない学生は実習をとりやめるように言われたケースがあります。また、採用試験に欠席した学生が出た場合、教育委員会から、電話やFAXで欠席した理由の説明を求められることがありますので必ず受験してください。さらに、教育実習や教員採用試験の時期は企業などへの就職活動の時期と重なりますが、企業などへの就職活動についての配慮はいっさい認められません。実習先の先生や生徒に迷惑をかけることが無いよう、教育実習を最優先させてください。
- (8) 教育実習の際に必要な知識を習得しておくために、教育実習の履修以前に、「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目をすべて履修していなければなりません。また、取得希望する免許教科の「〇〇科指導法」を、中一種においては8単位、高一種においては4単位を履修していなければなりません。なお、教育実習への準備を十分に行うために高校の教員免許状取得では選択となっている「〇〇科指導法BまたはC」も全て履修することを強く推奨します。
- (9) 教育実習では実際の授業の場で生徒に指導するため、十分な力量を備えて実習に臨む必要があります。本学では、以下に示す1.「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件、2.「教科に関する専門的事項」に関する条件、3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件のすべてを満たす場合に教育実習の履修を認めることにしています。

なお、オリエンテーション、事前指導、課題等への取り組みや履修カルテ等によって教育実習に向けた準備状況から、教育実習に向けた準備が不十分であると判断された学生には学科のアドバイザー教員や教職課程担当教員から、改善を促すことがあります。改善が見られない場合は履修を認めないこともあります。

1. 「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 原則として、教育実習履修前年度終了時まで、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目をすべて履修し、かつ、18単位以上取得していること。ただし、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」は、

教育実習で担当する科目に関するもののみをこの条件の対象科目とする。 ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「教職科目」（教職教養等の名称）の試験の得点が50%以上の結果を、一度以上得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。	*留学等によって、①の条件を満たすことができない学生は次のように対応する。留学へ行く場合は、4年次（薬学部6年次）卒業までに、教員免許状取得に必要な単位をすべて取得できる見込みがある場合にのみ、4年次（薬学部6年次）における教育実習履修を認めることとする。その際、原則として教育実習履修前年度末までに、「各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」と「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」を6科目以上履修し、12単位以上（〇〇科指導法Aまたは〇〇科指導法の単位を含む）を取得していることを条件とする。	2. 「教科に関する専門的事項」に関する条件 次のいずれかを満たすこと。	① 教育実習前年度終了時点における教育実習で担当する科目の「教科に関する専門的事項」のGPAが2.5以上であること。	② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「専門科目」（教育実習で担当する科目）の得点率が50%以上の結果を一度以上、得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。	③ 教科の専門的知識・技能があると認められる資格等を大学入学後に取得していること。	英語：英検2級以上、TOEIC 500点以上、TOEFL 470点（iBT 50点）以上、またはこれらと同等以上の資格のいずれか	家庭：消費者力検定「応用コース」3級以上	情報：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、マルチメディア検定エキスパートのいずれかに合格していること	音楽：音楽芸術学科が主催する定期演奏会の出場経験、またはそれと同等以上と認められる演奏会への出場経験	理科：薬学共用試験に合格していること	その他、各学科から提案のあった資格、入賞経験等を有し、教職課程委員会が認めた場合。	*学内模試を受験できない等の事情がある編入生・科目等履修生は、課題に取り組ませた上で、学力確認試験等を実施して、教育実習履修の可否を判断するものとする。	*科目等履修生は、「教科の専門的知識・技能があると求められる資格等」は科目等履修生を始める前に取得した資格等も対象とする。	*コミュニティ福祉学科の学生は、2年前期終了時のGPAが2.5以上あり、3年次に「ソーシャルワーク実習」ならびに「ソーシャルワーク実習指導(3)(4)」の単位を取得していることも条件とする。	3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件	① 教育実習の申込みは、申込み前年度の3月末までに当該学年の秋課題を提出していることを条件とする。	② 教育実習の履修は、前年度の1月第2火曜日（成人の日の翌日）までに当該学年の秋課題までの課題のすべてを提出していることを条件とする。	*留学をする学生、編入生、科目等履修生の課題の内容や提出期限は、留学する時期や教育実習の履修予定年を考慮して担当教員から指示する。
--	---	--	---	--	--	---	-----------------------------	--	---	---------------------------	--	---	--	--	--------------------------------	--	--	--

〔4〕「介護等体験」について

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、中学校教諭の免許状を取得しようとする場合に、特別支援学校および社会福祉施設等で7日間以上にわたる「介護等体験」を行うことが必要です。大学が斡旋する施設等に行って所定の活動を行う必要があります。大学による斡旋は、3年次に行く予定です。説明会等を2年次から行いますので注意してください。ただし、介護等に関する専門知識等を有する者や障害により介護等体験が困難な者は、免除される場合がありますので、履修支援センターで相談してください。

なお、3年次の夏休みを中心とした時期に介護等体験の予定が入りますが、原則として、正式な授業と認められるもの（例：集中講義、幼稚園教育実習、病院及び薬局実務実習など）及び、学科の専門領域と密接に関連があり、かつ、教育実習に向けた準備の上でも有益であると考えられる学科主催の公式行事である場合、また、履修要覧で定めている「欠席」とみなさない場合の条件、大学9頁〔5〕②eに該当する可能性があり、「配慮すべき日数」が数日に留まるものの場合には日程調整を行います。日程が明確となっている場合は、所定の期日までに申告してください。

なお、「配慮すべき日数」が数日に留まるもののうち当該学科からの要請によって教職課程委員会が承認した場合は、決められた期日までに申し出たことにより日程調整を行うことがあります。学科の行事等が予定されている場合は自学科の教員と自学科担当の教職課程担当教員に相談してください。

ただし、施設や学校の受け入れ側の都合で、希望に添う日程に調整することは保証できませんので、ご承知ください。

〔5〕教職課程関係の連絡とスケジュール

教職課程の履修に関しては、教育実習、介護等体験、教員免許状の申請、各種オリエンテーションなど、さまざまな手続きが必要です。これらについての連絡はK-PORT(学生ポータルサイト)・manaba等によって行いますので、教職課程の履修を希望する者は常に注意してください。なお、教職課程に関する質問や相談は、履修支援センターで受け付けます。

教職課程に関して、4年間の主なスケジュールは次の通りです。

1年次	4月	教職課程ガイダンス（新入生オリエンテーション内）
2年次	7月	教職課程履修申込みオリエンテーション（履修希望者全員）
	7月～9月	介護等体験申込みオリエンテーション（中学校免許状取得希望者）
	11月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
3年次	4月	教育実習履修（次年度）申込みオリエンテーション及び介護等体験日程調整
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月～6月	教育実習希望校への内諾依頼
	7月～	介護等体験事前指導（全2回）
	8月～12月	介護等体験
	8月～9月	私学適性検査（各自申込）
	9月	第1回教育実習事前指導
	11月～12月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座

4年次	4月～5月	第2～7回教育実習事前指導
	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月中旬	愛知県・名古屋市・岐阜県・三重県教育委員会採用試験説明会
	5月～6月	教育実習A（原則として3週間）、教育実習B（2週間） ＊一部の学校では9月～10月になります
	7月上旬	教育実習事後指導
	7月中旬	教員採用試験・一次試験（愛知県・名古屋市 他全員受験）
	8月	教員採用試験・二次試験（愛知県・名古屋市 他）
	8月～9月	私学適性検査（各自申込）
	9月	教員免許状一括申請学内申込み
	11月	教員免許状申請書類記入
	3月（学位記授与式当日）	免許状交付

＜教員採用試験模擬試験＞

本学では、中高免教職課程において教育実習を行う者は、教員採用試験を受験することを原則とします。これは教育委員会から、教育実習の受け入れ条件として教員になる希望を持って、採用試験を受験することが条件として示されているためです。この条件は、教育現場において授業を担当する以上、しっかりとした専門的な知識技能と教職への希望を持って子どもへの指導にあたって欲しいという教育現場からの声を反映させたものであると本学では理解しています。そのため、2年次12月から4年次5月にかけて、キャリア・アップ講座に設けられている模擬試験（学内模試）を受験することを推奨しています。教員採用試験は、試験範囲が広く、長期的な展望を持って準備しないと、合格は容易ではありません。長期的な学習計画を立て、模擬試験をペースメーカーとして、教育実習と採用試験に備えてください。

注1）教員採用試験対策講座受講者は、専門科目の模擬試験が受験できます。詳しくはキャリア・アップ講座の窓口にお問い合わせください。

＜教員採用試験＞

公立中学校・高等学校の教員採用試験は、毎年夏に行われます。前述のように、本学では、教員採用試験の受験を教育実習を行うための条件にしています。また、多くの教育委員会で、教育実習の期間前や期間中に教員採用試験受験申し込み締め切りを設定しているため、教育実習前に教員採用試験の受験申し込みを済ませてください。なお、私学の教員採用については、応募や試験の形態が様々であるため、私学教員を志す場合は、各自で情報収集をするとともに、各学部・各学科担当の教職課程委員の教員に相談をしてください。

＜教員免許状の申請＞

教員免許状の申請は、大学が一括して愛知県教育委員会に対して行います。4年次の9月に申請手続きを履修支援センター窓口で行います。なお申請時に手数料が別途必要です。期限内に手続きをしない場合は、一括申請から除外されますので、行事予定やK-PORTを十分に注意し、指示に従ってください。

〔6〕課程履修費等について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費等が必要です。課程履修費は、2,500円（3年次前期）、16,600円（4年次前期）です。なお、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

また、中学校教諭の免許状取得希望者は、介護等体験履修費として11,000円（3年次前期）、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

納入方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

2 栄養教諭について

〔1〕栄養教諭とは？

栄養教諭は、食のスペシャリストである管理栄養士・栄養士と、教育の専門家である教師の資質を合わせ持つ資格です。

栄養教諭の役割は、子どもたちが将来にわたって健康に生活できるように、学校給食を活用して栄養や食事に関して指導教育し、「食に関する望ましい習慣や自己管理能力」を身に付けさせるとともに、他の教科、家庭、地域とも連携して食に関する啓発を行うことです。そのため、栄養教諭を志す者は、管理栄養士としての専門性を確実に身につけたうえで、栄養の専門性と教員としての学識を練磨し人間性の育成を心がける必要があります。そして、児童・生徒の前に立って、自信を持って教えられるように教科と教職の専門性を伸ばす努力・自身の人格を陶冶する努力をしてください。

栄養教諭は、学校給食の管理と食に関する指導を職務とします。栄養教諭の配置については、①学校給食の実施が義務とはされていないこと、②現在の学校栄養職員も学校給食実施校のすべてに配置されていないこと、③地方の自主性を尊重するという地方分権の趣旨により、地方公共団体が地域の事情等に応じて配置しています。

栄養教諭の配置は義務的なものではありませんが、「食育基本法」の制定（平成17年）や、学校での「食育」の必要性が認知されたことにより、多くの地方公共団体で栄養教諭の採用試験が毎年実施されています。

免許法施行規則に定める科目区分等	最低修得単位数
①栄養に係る教育に関する科目	4
②教育の基礎的理解に関する科目等	18
③教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8
合 計	30

〔2〕栄養教諭の履修に必要な単位

栄養教諭の免許状を取得するためには、学士の学位（食環境栄養学科を卒業したものに授与される学位）と管理栄養士養成課程修了（＋栄養士免許）を基礎資格として必要とします。つまり、所定の単位を修得して本学を卒業することが前提となります。その上で、「栄養に係る教育に関する科目」4単位、「教育の基礎的理解に関する科目等」28単位、「教育免許法施行規則第66条に定める科目」8単位を修得することが必要です。

①栄養に係る教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
各科目に含めることが必要な事項	単位数		1年	2年	3年	4年	
栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項	4	食教育指導法			2		必修
幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項							
食生活に関する歴史的及び文化的事項							
食に関する指導の方法に関する事項		学校の食指導法			2		必修

②教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		1年	2年	3年	4年	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	8	学校と教育の歴史	2				必修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門	2				必修
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学		2			必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達と学習	2				必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育の理論と方法		2			必修
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論			2		必修
生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳、総合的な学習の時間及び総合的な探求の時間並びに特別活動に関する内容	6	道徳教育の理論と方法			2		必修
			総合的な学習の時間の指導法		2			必修
			特別活動の指導法			2		必修
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法及び情報通信技術の活用		2			必修
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導とキャリア教育の理論と方法			2		必修
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談		2			必修
教育実践に関する科目	栄養教育実習	2	栄養教育実習(事事前事後指導を含む)				2	必修
	教職実践演習	2	教職実践演習(栄養教諭)				2	必修

③教育免許法施行規則第66条の6に定める科目

施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
日本国憲法	2	日本国憲法	2				必修
体育	2	スポーツ・アンド・エクササイズ講義		1			これら7科目より1科目選択必修
		スポーツ・アンド・エクササイズA	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズB	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズC	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズD	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズE	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズF	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズG	1				
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーションA(1)	1				必修
		英語コミュニケーションA(2)	1				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報リテラシー	2				必修

〔3〕栄養教育実習

栄養教育実習に関しては、次の点に注意してください。

- (1) 栄養教諭免許取得のためには、栄養教育実習2単位（実習1週間と事前・事後指導1単位）を履修する必要があります。
- (2) 栄養教育実習先は、原則として小学校または中学校です。いずれの場合も指導者には栄養教諭が当たるため、栄養教諭配置がされていないところでは栄養教育実習はできません。
- (3) 栄養教育実習は、実習校の協力を得て行われるものです。実習生は実習校に迷惑をかけることのないよう、しっかりした決意と十分な配慮をもって取り組まなくてはなりません。
- (4) 栄養教育実習に先立って、栄養教育実習申し込みオリエンテーションを行います。このオリエンテーションで栄養教育実習についての認識を深め、慎重に検討した上で、栄養教育実習を希望する者は、所定の期間内に必要な書類を添えて履修支援センターに申し込んでください（栄養教育実習等の費用については、後日学納金の口座から引落としとなります）。ただし、下記「3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件」の①を満たさない者は栄養教育実習申込みを行うことはできません。
- (5) 栄養教育実習期間の前後に数回の事前指導・事後指導をおこないます。また、栄養教育実習後には所定のレポートを提出しなければなりません。栄養教育実習の履修には、事前指導・事後指導への出席とレポートの提出も含まれます。
- (6) 栄養教育実習は栄養教諭を志す者のみに認められます。栄養教育実習を希望する者は、教員（栄養教諭）採用試験（愛知県・名古屋市等）を受験することを原則とします。実際に、実習校が実施する事前指導で、教員採用試験を受けない学生は実習をとりやめるように言われたケースがあります。また、採用試験に欠席した学生が出た場合、教育委員会から、電話やFAXで欠席した理由の説明を求められることがありますので必ず受験してください。さらに、栄養教育実習や教員採用試験の時期は企業などへの就職活動の時期と重なりますが、企業などへの就職活動についての配慮は一切認められませんので注意してください。実習先の先生や生徒に迷惑をかけることが無いよう、教育実習を最優先させてください。
- (7) 栄養教育実習の際に必要な知識を習得しておくために、栄養教育実習履修以前に「1. 栄養に係る教育に関する科目」および「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目をすべて履修していなければなりません。
- (8) 栄養教育実習では実際の授業の場で児童・生徒を指導するため、十分な力量を備えて実習に臨む必要があります。本学では、以下に示す1.「栄養に係る教育に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件、2. 食環境栄養学科の学科基礎科目および展開科目の必修科目に関する条件、3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件のすべてを満たす場合に、栄養教育実習の履修を認めることとしています。

なお、履修カルテ等によって栄養教育実習に向けた準備等が不十分であると判断された場合には、学科のアドバイザー教員や教職課程担当教員から、改善を促すことがあります。改善が見られない場合には履修を認めないことがあります。

1. 「栄養に係る教育に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目等」に関する条件

次のいずれかを満たしていること。

- ① 原則として、教育実習履修前年度終了時まで「栄養に係る教育に関する科目」と「教育実践に関する科目」を除く「教育の基礎的理解に関する科目等」の必修科目すべてを履修しており、GPAが2.5以上である。
- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「教職科目」（教職教養等の名称）の試験の得点が50%以上の結果を、一度以上得ている（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。

2. 「学科基礎科目」および「展開科目」の必修科目に関する条件

原則として学科基礎科目および展開科目の必修科目を開講基準年次で単位修得できている。

* 学内模試を受験できない等の事情がある科目等履修生は課題に取り組ませた上で、学力試験等を実施

して、栄養教育実習履修の可否を判断するものとする。

3. 教職課程委員会が指定する課題に関する条件

①と②の両方を満たしていること。

① 栄養教育実習の申込みに関しては、2年次の3月末に当該学年の秋課題を提出していること。

② 栄養教育実習の履修は、3年次の1月第2火曜日（成人の日の翌日）まで当該学年の秋課題までの課題のすべてを提出していること。

* 留学をする学生や科目等履修生の課題の内容や提出期限は、留学する時期や教育実習の履修予定年を考慮して担当教員から指示する。

〔4〕栄養教諭教職課程関係の連絡とスケジュール

栄養教諭教職課程の履修に関しては、栄養教育実習、教員免許状の申請、各種オリエンテーションなど、さまざまな手続きが必要です。これらについての連絡はK-PORT(学生ポータルサイト)・manaba等によって行いますので、常に注意を払うようにしてください。なお、教職課程に関する質問や相談は、本部棟3階の履修支援センターで受け付けます。

栄養教諭教職課程についての4年間の主なスケジュールは次の通りです。

1年次	4月	教職課程ガイダンス（新入生オリエンテーション内）
2年次	7月 11月 12月	教職課程履修申込みオリエンテーション（履修希望者全員） 教員採用試験オリエンテーション 学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
3年次	4月 4月・5月 5月～6月 9月 11月～12月 12月	栄養教育実習（4年次）履修申込みオリエンテーション 学内模試（各自申込） 教育実習希望校への内諾依頼 第1回教育実習事前指導 教員採用試験オリエンテーション 学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
4年次	4月～5月 4月・5月 5月中旬 5月～6月 7月上旬 7月中旬 8月 9月 11月 3月	栄養教育実習事前指導 学内模試（各自申込） 愛知県・名古屋市・岐阜県・三重県教育委員会採用試験説明会 栄養教育実習（1週間） *一部の学校では9月～10月になります 教育実習事後指導 教員採用試験・一次試験（愛知県・名古屋市 他全員受験） 教員採用試験・二次試験（愛知県・名古屋市 他） 教員免許状一括申請学内申込み 教員免許状申請書類記入 免許状交付

＜教員採用試験＞

公立小・中学校の教員採用試験は、毎年夏に実施されています。栄養教育実習を行う者は、採用試験を受験することを原則とします。栄養教諭の採用試験は、自治体によっては、現在の学校栄養職員の採用を優先していることがあります。その場合は実施されている「学校栄養職員」採用試験を受けてください。

＜教員免許状の申請＞

教員免許状の申請は、大学が一括して愛知県教育委員会に対して行います。4年次の9月に申請手続きを履修支援センター窓口で行います。なお申請時に手数料が別途必要です。期限内に手続きをしない場合は、一括申請から除外されますので、行事予定やK-PORTを十分に注意し、指示に従ってください。

〔5〕 課程履修費等について

栄養教諭教職課程を履修するには学納金とは別に課程履修費等が必要です。課程履修費は、2,500円（3年次前期）、16,600円（4年次前期）です。なお、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

納入方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

1 ファイナンシャル・プランナーについて

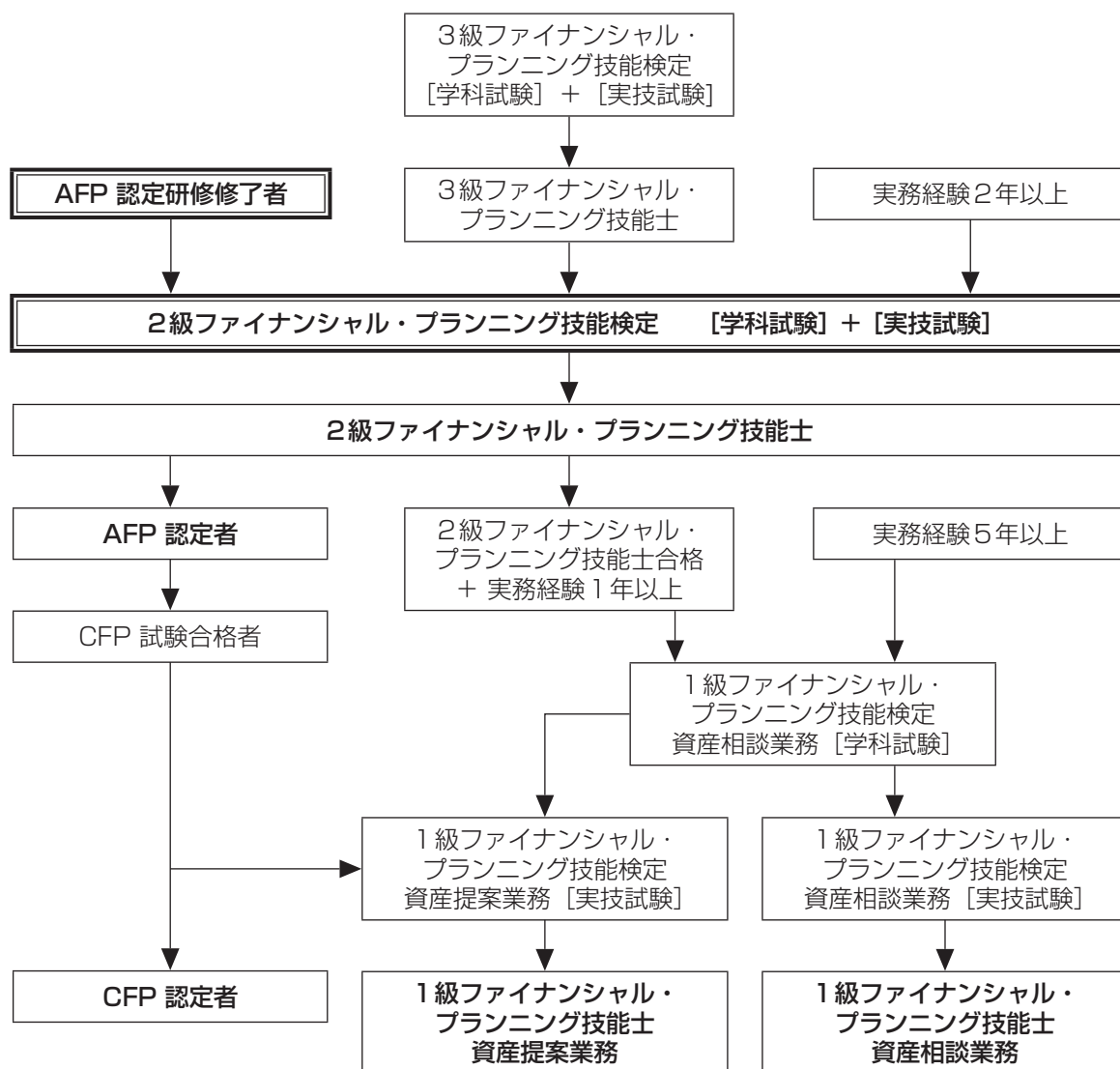
〔1〕ファイナンシャル・プランナー資格とは？

日本版金融ビッグバンに伴う金融商品や資産運用方法の多様化、終身雇用制度の崩壊、退職金や年金への不安といった諸課題を抱える今日、生活者が自己責任のもとに生涯にわたって自らのライフスタイルを実現していく上で、パーソナル・ファイナンシャル・プランニングの重要性はますます高まっています。しかし、生活者自身がパーソナル・ファイナンシャル・プランニングに必要な経済・金融・保険・不動産・税金・社会保険制度などについての知識や技術をすべてにわたって身につけることは困難です。ファイナンシャル・プランナーは、こうしたパーソナル・ファイナンシャル・プランニングに必要な包括的かつ専門的な知識・技術を身につけ、生活者の生涯にわたる夢の実現をサポートする「生活設計のアドバイザー」です。近年、銀行・証券・保険などの金融業界における必須資格となってきました。

〔2〕ファイナンシャル・プランナー資格試験の概要

ファイナンシャル・プランニングに関わる技能検定の体系は下の図に示すとおりで、NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会（AFP・CFP）および、社団法人金融財政事情研究会（3級・2級・1級FP技能士）の両機関によって運営、実施されています。

生活マネジメント学科のカリキュラムは、NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会による認証を受けているため、指定科目の履修、修了により、AFP認定研修修了者として、実務経験などの条件無しにAFP（2級FP技能検定）受験資格を取得することができます。



〔3〕AFP認定研修課程

(1) AFP認定研修課程の科目構成

AFP認定研修の修了には、指定科目の履修とともに、模擬的にライフプランを作成する「提案書」の作成と合格（60点／100点以上）を必要とします。特別認定教育機関として、生活マネジメント学科が提供する指定科目とその具体的学習内容は以下の表のとおりです。

生活マネジメント学科開講科目名称	具体的学習内容	開講 学年 学期	単位数
ファイナンシャルプランニングA	ファイナンシャルプランニング基礎 ライフプランニングとリタイアメントプランニング タックスプランニング	2年 前期	2
ファイナンシャルプランニングB	金融資産運用設計 リスクと保険	2年 前期	2
ファイナンシャルプランニングC	不動産運用設計 相続・事業承継設計	2年 後期	2
ファイナンシャルプランニングD	提案書の作成 AFP資格試験過去問題の研究 AFP資格試験受験オリエンテーション	2年 後期	2

(2) AFP認定研修課程履修上の注意

AFP認定研修課程は、2年次前期から2年次後期を通した1年間の資格課程です。指定4科目の履修においては、必ず2年次前期に「ファイナンシャルプランニングA」「ファイナンシャルプランニングB」の2科目を履修し、それに続けて2年次後期に「ファイナンシャルプランニングC」「ファイナンシャルプランニングD」を履修しなければ、AFP認定研修の修了要件を満たすことができません（3年次前期から3年次後期にかけて同様に履修しても可）。

AFP認定研修課程受講に際しては、事前にNPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会への受講者登録を必要とします。学科が事前に開催するAFP認定研修課程受講説明会に参加し、必ず協会への受講者登録をしてください。なお、学習効果の観点から、協会よりこの認定研修課程の受講者数が、上限60名と定められているため、AFP認定研修課程受講説明会において上限を超える受講希望者があった場合には、選考を行う場合がありますので注意してください。

〔4〕資格取得までのスケジュール

前年度1月～春休中 AFP認定研修受講説明会、受講者登録

当年度前期 AFP認定研修カリキュラム受講（2科目）

当年度後期 AFP認定研修カリキュラム受講（2科目）、提案書の作成



AFP認定研修修了証発行

2級ファイナンシャル・プランニング技能検定試験受験申請

2級ファイナンシャル・プランニング技能検定試験受験（1月予定）

〔5〕課程履修費について

AFP認定研修課程を履修するには学納金とは別に課程履修費が必要です。課程履修費は、7,000円（2年次）です。

納入方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

2 衣料管理士（テキスタイルアドバイザー：TA）2級について

現代のアパレル製品は、消費者ニーズの高度化、個性化にともない、多様化、複雑化が進んでいます。新しい加工技術や素材の開発は、私たちの生活を潤いある豊かなものへと導いてくれますが、一方で、品質情報の提供不足などが消費者苦情を生み出す誘因となり、経済産業省に寄せられる苦情のうち繊維製品に関するものが実に1/4以上を占めていると言われています。消費者の信頼を得ながら企業が快適で品質の高い製品を開発し、需要や販路を拡大していくためには、消費者の実態とニーズを正しくとらえ、マーケットに即した対応が必要です。こうした要求に応えるためには、アパレルの生産・流通・消費の各段階において、専門知識や技術を身につけ消費者と企業とを結びパイプ役を果たすことのできる人材が必要となります。

衣料管理士は、消費者と企業の間を円滑にする役割を担うために必要な専門知識を有する人に与えられる資格です。この資格を取得することで、テキスタイルおよびアパレル製品を扱う企業や機関において、品質管理、企画、生産、販売、仕入れ、コンサルタント、苦情処理などの分野に活躍の場があり、消費生活の向上と企業の発展に貢献することができます。

環境デザイン学科アパレル・ファッションコース所定の本資格に関する科目（2. 参照）の単位を修得後、最終試験に合格し、課程費および衣料管理士認定証交付料を納入することにより、衣料管理士（2級）の資格を卒業時に取得することができます。資格取得を希望する人は、積極的に専門知識の修得に励んでください。

1 資格認定機関

一般社団法人 日本衣料管理協会

（一社）日本衣料管理協会は、経済産業省製造産業局の所管、監督のもとに、衣料管理士養成大学、主要業界団体（テキスタイルメーカー、染色整理業、アパレルメーカー、百貨店、量販店、クリーニング業、行政、検査機関など）、学識経験者、および衣料管理士（TA）会員、繊維製品品質管理士（TES）会員によって構成されています。

2 資格要件カリキュラム

衣料管理士の資格要件のカリキュラムは、生産、流通、消費にわたる幅広いもので、アパレル製品に関して「材料」「加工・整理」「企画・設計・生産」「流通・消費」の4つの側面から学びます。

以下の表の環境デザイン学科アパレル・ファッションコース所定の開講科目は、すべて衣料管理士2級の資格を取得するための必修科目です。

グループ	環境デザイン学科 アパレル・ファッションコースの開講科目	単位数
材料	テキスタイル材料学(1)	2
	テキスタイル材料学(2)	2
	テキスタイル材料学実験	2
加工・整理	洗淨科学	2
	染色加工学	2
	洗淨・染色加工実験	2
企画・設計・生産	アパレル企画実習	2
	ファッションデザイン論	2
	アパレル構成学	2
	人体とパターンメイキング	2
	アパレル生産システム実習	2
	着心地の科学	2
	コンピュータパターンメイキング	1
流通・消費	消費科学	2
	ファッションビジネス	2
	市場調査法	2
	バーチャルファッションコーディネート	1
単 位 合 計		32

※太字はアパレル・ファッションコースの必修科目です。

3 資格の認定について

上記の所定カリキュラムの単位修得後、4年後期（12月）に行われる最終試験に合格すると、卒業時に認定証が交付されます。

衣料管理士（2級）を取得すると、繊維製品品質管理士（TES）の5つの受験科目のうち「繊維に関する一般知識」科目の免除を申請できます。

4 課程履修費について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費が必要です。課程履修費は、12,000円（2年次前期）です。

徴収方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

5 衣料管理士認定証交付料等について

衣料管理士の資格認定時（卒業時）に認定証交付料、日本衣料管理協会入会費等として15,300円（認定証交付料（税込）7,700円・協会入会費2,000円・年度会員費3,000円・ミニ情報購読料（1年間）2,600円）の納入が必要です。

消費税の変更等により変更となる場合があります。

3 インテリアプランナーについて

インテリアプランナーは、インテリアプランニングにおいて企画、設計、工事監理を行うインテリアに関する知識と技術に習熟した専門家のことであり、(公財)建築技術教育普及センター (<http://www.jaeic.or.jp>) が行う試験に合格し、登録した資格者のことです。建築界でもインテリア設計の重要性が認められるようになり、建築計画の初期段階からインテリアプランナーが参加してプロジェクトを進める必要性が高まっています。

インテリアプランナーの資格を得るためには、6月に実施される「学科試験」(年齢・学歴制限なし)に合格し、さらに11月に実施される「設計製図試験」に合格する必要があります。そして、下表に定める科目について合計36単位以上履修した者は、実務経験なしでインテリアプランナーとして登録することができます。建築士を取得している場合は「学科試験」が免除されます。また、「学科試験」に合格した段階で、アソシエイト・インテリアプランナーとして登録することができます。

科目名称	開講年次	選択・必修の別	単位数
カラーコーディネート演習	1	選択	1
インクルーシブデザイン論	1	選択	2
近代建築史	1	必修	2
インテリアデザイン史 *	1	選択	2
住生活論	3	選択	2
空間デザイン概論	1	必修	2
空間デザイン特論	2	必修	2
インテリアデザイン論 *	2	選択	2
人間工学	2	選択	2
環境工学(1)	2	必修	2
環境工学(2)	3	選択	2
建築設備	3	必修	2
建築材料学	3	必修	2
建築一般構造	1	必修	2
建築構造力学(1)	2	必修	2
建築構造力学(2)	2	選択	2
建築構造設計演習	3	選択	1
建築施工	4	必修	2
建築法規	3	必修	2
空間CAD実習(基礎)	2	必修	1
空間CAD実習(3D)	3	必修	2
住居計画	1	必修	2
建築計画学	2	必修	2
設計製図入門	1	必修	2
空間デザイン基礎実習	1	必修	2
空間デザイン実習(1)	2	必修	2
空間デザイン実習(2)	2	必修	2
インテリアデザイン実習 *	3	選択	2
インテリアプロジェクト実習 *	3	選択	2
合計36単位以上(必修科目35単位、選択科目1単位以上)			

※1 太字の科目は空間デザインコースの必修科目です。

※2 空間デザインコースの学生は、コース必修科目の他、表中の選択科目を1単位以上履修すること。

※3 履修単位数にかかわらず、*印の科目はインテリアプランナー受験のための推奨科目なので、ぜひ履修すること。

※4 インテリアプランナーに登録する際には、「インテリアプランナー登録資格に係る単位取得証明書」を大学(学生生活支援センター)で申し込むこと(一般の卒業証明書だけでは登録手続はできません)。

※5 上記の科目一覧は、現在変更申請中のため、変更になる可能性があります。決定したら、改めてお知らせします。

4 一級建築士、二級建築士、木造建築士について

〔1〕建築士資格について

建築士の資格は、建築士法に定められた国家資格です。一定の規模・構造・機能の建物になると、有資格者でなければ設計や工事監理を行うことができません。従って、住宅・建築関連の業界で活躍するためには必須の資格となります。建築士には、一級建築士、二級建築士、木造建築士、構造設計一級建築士、設備設計一級建築士の5種類があり、それぞれ業務の範囲が定められています（建築士法第三条、第二十条の二および第二十条の三）。詳しくは（公財）建築技術教育普及センターのホームページを参照してください（<http://www.jaeic.or.jp>）。

〔2〕受験資格について

環境デザイン学科で空間デザインコースを履修し卒業すると、以下の表に定める二級建築士および木造建築士試験の単位修得要件をみたすことができます。卒業後、二級建築士または木造建築士試験を受験し合格すると、二級建築士または木造建築士として登録することができます。

また、環境デザイン学科で空間デザインコースを履修し、かつ以下の表に定める一級建築士試験の単位修得要件をみたすと、卒業後、一級建築士試験を受験することができます。試験に合格したのち、修得単位の総計（60単位以上、50単位以上、40単位以上）に応じて定められた実務経験年数（2年以上、3年以上、4年以上）を経ると、一級建築士として登録することができます。なお、実務経験は、卒業後であれば、一級建築士試験受験の前でも、後でも、また前と後に分割して積むこともできます。

指定科目の分類	指 定 科 目	単位数	単位修得要件	
			一級建築士	二級・木造
①建築設計製図	設計製図入門	2	7単位以上	5単位以上
	空間デザイン基礎実習	2		
	空間デザイン実習(1)	2		
	空間デザイン実習(2)	2		
	空間デザイン実習 A	2		
	空間デザイン実習 B	2		
	インテリアデザイン実習	2		
②建築計画	住居計画	2	7単位以上	7単位以上
	住生活論	2		
	建築計画学	2		
	居住福祉論	2		
	近代建築史	2		
	日本建築史	2		
	西洋建築史	2		
③建築環境工学	環境工学(1)	2	2単位以上	6単位以上
	環境工学(2)	2		
④建築設備	建築設備	2	2単位以上	
⑤構造力学	建築構造力学(1)	2	4単位以上	
	建築構造力学(2)	2		
	建築構造力学演習	1		
⑥建築一般構造	建築一般構造	2	3単位以上	
	建築構造設計演習	1		
⑦建築材料	建築材料学	2	2単位以上	
	建築材料学実験	2		

指定科目の分類	指 定 科 目	単位数	単位修得要件	
			一級建築士	二級・木造
⑧建築生産	建築施工	2	2単位以上	1単位以上
⑨建築法規	建築法規	2	1単位以上	1単位以上
⑩その他	空間デザイン概論	2		
	空間デザイン特論	2		
	都市計画学	2		
	都市設計論	2		
	インクルーシブデザイン論	2		
	建築測量	1		
	空間CAD実習(基礎)	1		
	空間CAD実習(3D)	2		
	インテリアデザイン論	2		
	造園学	2		
	建築プロデュース論	2		
	インテリアデザイン史	2		
	建築構造力学基礎	2		
	まちづくりプロジェクト実習	2		
総計 (一級建築士は修得単位の総計に応じて必要な実務経験年数が異なる)			60単位以上 ＝実務経験2年 50単位以上 ＝実務経験3年 40単位以上 ＝実務経験4年	40単位以上

※1 太字の科目は空間デザインコースの必修科目です。

※2 一級建築士の受験資格を得るためには、「②建築計画」の中からさらに1科目、「⑤構造力学」の中の「建築構造力学(2)」、「⑥建築一般構造」の中の「建築構造設計演習」を必ず履修し、かつ修得単位の総計が表の条件を満たさなくてはならない。

※3 上記の建築士試験指定科目の一覧は、現在変更申請中のため、変更になる可能性があります。決定したら、改めてお知らせします。

〔3〕受験資格について

受験資格を得ると、国土交通大臣が行う一級建築士試験、都道府県知事が行う二級建築士試験または木造建築士試験を受験することができます。受験の際には「一級建築士試験指定科目修得単位証明書・卒業証明書」または、「二級建築士試験指定科目修得単位証明書・卒業証明書」を大学(学生生活支援センター)でお申込みください。(一般の卒業証明書での受験手続きはできません)

5 商業施設士について

商業施設士の資格は（公社）商業施設技術団体連合会が認定する民間資格で、商業施設の運営管理システムや店舗の構成・デザインなどを総合的に計画し、監理まで行うことのできる技能を保証するものです。

環境デザイン学科に在籍し、単位修得要件をみたした者は、その年度の10月もしくは2月に実施される講習会を受けると商業施設士補となることができます。さらに商業施設士補となった者は、1月か6月に実施される試験に合格すれば、商業施設士になることができます。その際、「学科試験」は免除され、「構想表現（実技）試験」のみの受験となります。

修得しなくてはならない科目は以下の表のとおりです。

区 分	指 定 科 目 名	単位数	単位修得要件
商業一般	ファッションビジネス	2	4単位以上
	消費科学	2	
	住生活論	2	
	空間デザイン概論	2	
	インテリアデザイン論 *	2	
商業施設 構成計画	カラーコーディネート演習	1	10単位以上
	人間工学	2	
	インクルーシブデザイン論	2	
	インクルーシブデザイン特論	2	
	住居計画	2	
	建築計画学	2	
	居住福祉論	2	
	空間デザイン特論	2	
	インテリアデザイン史	2	
	環境工学(1)	2	
	環境工学(2)	2	
	都市計画学	2	
	都市設計論	2	
	造園学	2	
建築一般及び 工事監理・施工	日本建築史	2	4単位以上
	西洋建築史	2	
	近代建築史	2	
	建築設備	2	
	建築一般構造	2	
	建築構造力学(1)	2	
	建築構造力学(2)	2	
	建築構造設計演習	1	
	建築材料学	2	
	建築法規	2	
	建築施工	2	
	建築材料学実験	2	
設計製図	建築測量	1	12単位以上
	設計製図入門	2	
	空間デザイン基礎実習	2	
	空間デザイン実習(1)	2	
	空間デザイン実習(2)	2	
	空間デザイン実習A	2	
	空間デザイン実習B	2	
	インテリアデザイン実習 *	2	
	インテリアプロジェクト実習 *	2	
	空間CAD実習（基礎）	1	
	空間CAD実習（3D）	2	

※1 **太字**は空間デザインコース必修科目です。

※2 履修上の注意

①空間デザインコースの学生は、コース必修科目と「インテリアデザイン論」を履修し、3年前期に「設計製図」の中の「建築測量」「空間デザイン実習A」「インテリアプロジェクト実習」のいずれかを履修すれば、3年次の10月に商業施設士補になるための講習会を受講することができます。

②*印の科目は商業施設士を受験するための推奨科目です。

※3 上記の科目一覧は、現在変更申請中のため、変更になる可能性があります。決定したら、改めてお知らせします。

6 管理栄養士について

管理栄養士は、厚生労働大臣の許可を受けて1) 傷病者に対して療養のために必要な栄養の指導（臨床栄養領域）、2) 個人の身体の状態、栄養状態などに応じた高度の専門的知識及び技能を要する健康の保持・増進のための栄養の指導（公衆栄養領域）、3) 特定多数の人に対して継続的に食事を供給する施設における利用者の身体状況、栄養状態、利用の状況などに応じた給食管理及びこれらの施設に対する栄養改善上必要な指導など（給食経営管理領域）を行う職業です。管理栄養士国家試験に合格する必要があります。

卒業までに修得しなくてはならない科目は、次の表のとおりです。

指定教育内容		単位数		本学開講科目	科目形態と単位数の必修・選択の別			開講基準年次及び単位数				
		講義又は演習	実験又は実習		形態	必修	選択	1年	2年	3年	4年	
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	社会保健学	講義	2				2		
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	公衆衛生学(1)		講義	2			2				
		公衆衛生学(2)		講義	2			2				
		病原微生物学		講義	2			2				
		解剖生理学(1)		講義	2		2					
		解剖生理学(2)		講義	2				2			
		解剖生理学実験(1)		実験	1			1				
		解剖生理学実験(2)		実験	1				1			
		病理学総論		講義	2			2				
		病理学各論		講義	2				2			
		生化学(1)		講義	2		2					
		生化学(2)		講義	2			2				
		生化学実験(1)		実験	1			1				
		生化学実験(2)		実験	1				1			
		食べ物と健康		食品学(1)	講義	2		2				
	食品学(2)			講義	2		2					
	食品学実験(1)			実験	1		1					
	食品学実験(2)			実験	1			1				
	食品衛生学			講義	2				2			
	食品衛生学実験			実験	1				1			
	調理学		講義	2		2						
	調理学実習(1)		実習	1		1						
	小計	調理学実習(2)	実習	1		1						
		調理学実習(3)	実習	1			1					
小計		28	10	小計		38						
専門分野		基礎栄養学	2	8	基礎栄養学	講義	2		2			
		栄養学実習	実習		1		1					
		応用栄養学	応用栄養学総論		講義	2			2			
			母子栄養学		講義	2			2			
			加齢栄養学		講義	2			2			
	応用栄養学実習		実習		1				1			
	栄養教育論		栄養教育原論		講義	2			2			
		栄養教育各論	講義		2				2			
		栄養教育論実習	実習		1				1			
		栄養カウンセリング論	講義		2				2			
		栄養カウンセリング実習	実習		1				1			
	臨床栄養学	疾病別栄養管理論	講義		2			2				
		臨床栄養学	講義		2				2			
		栄養アセスメント論	講義		2			2				
		臨床栄養管理論	講義		2			2				
		疾病別栄養管理実習	実習		1			1				
	公衆栄養学	臨床栄養学実習	実習		1				1			
		公衆栄養学(1)	講義		2			2				
		公衆栄養学(2)	講義		2				2			
	給食経営管理論	公衆栄養学実習	実習		1					1		
給食経営管理論		講義	2				2					
フードマネージメント論		講義	2					2				
総合演習	給食経営管理実習	実習	1						1			
	栄養総合演習	講義	2				2					
	臨地実習		4	臨地実習	実習	4				4		
小計		32	12	小計		44						
合計		60	22	合計		82						

※課程履修費等について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費等が必要です。課程履修費は、35,000円（1年次前期）、50,000円（2年次前期）、79,600円（3年次前期）、74,600円（4年次前期）です。

納入方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

なお、臨地実習の際には感染症対応、怪我や事故等に対応する保険料3,000円程度が別途必要です。

こちらも学納金口座から引き落としとなります。詳しくは入学年次並びに2年次の臨地実習オリエンテーションで説明します。（金額は前年度の実績です。変更になる場合もあります）

7 食品衛生監視員及び食品衛生管理者について

食品衛生監視員について

食品衛生法に規定された職務及び食品衛生に関する指導を行う技術系公務員で、主に国の検疫所と地方自治体の保健所に所属し、食品の検査や食中毒の調査、食品製造業や飲食店の衛生監視、指導及び教育を行います。本学では食品衛生監視員任用資格を取得できます。

食品衛生管理者について

食品衛生法により食品衛生法施行令に指定のある食肉製品製造業など衛生上の考慮を必要とする一定の食品又は食品添加物の製造又は加工を行う営業所で、食品衛生法第48条の規定により、施設における製造もしくは加工の段階で衛生上の考慮を必要とする食品や添加物などにおいて衛生管理を行います。

* 食品衛生監視員任用資格ならびに食品衛生管理者資格は、学科必修科目に加えて指定された化学関連の1科目を履修することが取得要件です。

区 分	単位修得要件	授 業 科 目	形態	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
A 群：化学関係	A 群からD 群までそれぞれ1科目以上 合計22単位以上 A 群からE 群までの総単位数 合計40単位以上	★ 基礎化学	講義	2			
		○ 基礎有機化学	講義	2			
		○ 分析化学 *	講義		2		
B 群：生物化学関係		★ 生化学(1)	講義	2			
		★ 生化学(2)	講義		2		
		★ 生化学実験(1)	実験		1		
		★ 生化学実験(2)	実験			1	
		★ 解剖生理学(1)	講義	2			
		★ 解剖生理学(2)	講義			2	
		★ 解剖生理学実験(1)	実験		1		
		★ 解剖生理学実験(2)	実験			1	
		★ 食品学(1)	講義	2			
		★ 食品学(2)	講義	2			
		★ 食品学実験(1)	実験	1			
		★ 食品学実験(2)	実験		1		
		C 群：微生物学関係	★ 病原微生物学	講義		2	
D 群：公衆衛生学関係		★ 食品衛生学	講義			2	
		★ 食品衛生学実験	実験			1	
		★ 公衆衛生学(1)	講義		2		
		★ 社会保健学	講義			2	
		★ 公衆衛生学(2)	講義		2		
		★ 公衆栄養学(1)	講義		2		
		★ 給食経営管理論	講義		2		
		★ 病理学総論	講義		2		
E 群：その他関連科目		★ 病理学各論	講義			2	
		★ 基礎栄養学	講義	2			
		★ 応用栄養学総論	講義		2		
		★ 母子栄養学	講義		2		
		★ 加齢栄養学	講義		2		
		★ 疾病別栄養管理論	講義		2		
		★ 臨床栄養学	講義			2	
		★ 臨床栄養管理論	講義		2		
		★ 栄養学実習	実習	1			
		★ 応用栄養学実習	実習			1	

備考：★ 印は、必修科目 ○印の内 1 科目を履修
* 履修するのが望ましい。



**UNIVERSITY
ACCREDITED
2022.4～2029.3**

本学は、2014年度に実施された公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受けた結果、大学基準に適合しているとの認定を受けました。このマークは、それを証するものです。

公益財団法人大学基準協会とは：

1947年に、「内外の大学に関する調査研究を行い、会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学教育の国際的協力に貢献することを目的とする。」として創設された、国・公・私立の大学を会員校とする団体で、2015年度現在正会員として352校が加盟しています。

履 修 要 覧

2023年度

2023年4月 発行

編集／発行 金城学院大学履修支援センター
〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地
TEL (052) 798-0180
URL <http://www.kinjo-u.ac.jp>

2023

履修要覧

生活環境学部

生